三　重　地　方　最　低　賃　金　審　議　会
令和３年度 第２回 三重県電線・ケーブル製造業最低賃金専門部会

日　時　令和３年 10 月４日（月）
午後１時 30 分～
場　所　津第二地方合同庁舎　地下共用会議室

１　開　会

２　議　事
(1)資 料 説 明

(2)金 額 検 討

３　閉　会

【資料目次】
(1)三重県の一般職業紹介状況
(2)最近の東海財務局管内の経済情勢
(3)経済調査月報（2021 年９月）
(4)東海３県の金融経済動向(2021 年９月)
(5)三重県電線・ケーブル製造業最低賃金 年次別決定状況
(6)最低賃金の金額改正の必要性についての参考人意見聴取原票写し
(7)中央最低賃金審議会産業別最低賃金制度全員協議会報告
(8)令和３年度最低賃金に関する基礎調査の「概要」、「調査区分母集団数、調査数及び調査率表」、「調査結果表」

厚生労働省
三重労働局　**Press Release**

厚生労働省　三重労働局発表 令和3年10月1日（金） 午前8時30分　解禁

担当	厚生労働省三重労働局職業安定部 職業安定課長　藤木　真保 職業安定課長補佐　堀　保 地方労働市場情報官　辻村　尚人 電 話　059-226-2305

報道関係者　各位

三 重 県 の 一 般 職 業 紹 介 状 況

《令和3年8月内容》

○ 有効求人倍率（季節調整値）は1.27倍で、前月を0.01ポイント上回った。
全国の有効求人倍率は1.14倍。三重の順位は全国第23位。
就業地別有効求人倍率（季節調整値）は1.44倍で、前月を0.02上回る。三重の順位は全国第13位。

○ 新規求人倍率（季節調整値）は2.10倍で、前月を0.16ポイント上回る。
就業地別新規求人倍率（季節調整値）は2.36倍で、前月を0.10ポイント上回る。

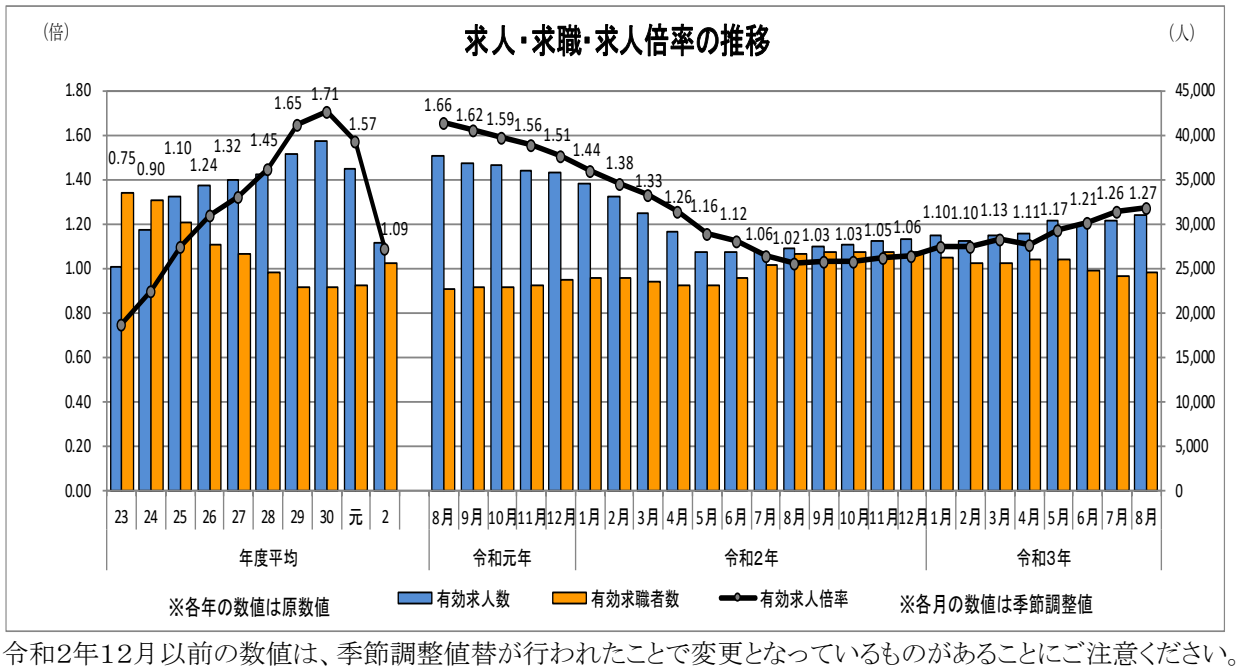
○ 県内の雇用情勢は、一部に持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に注意する必要がある。

※就業地別求人倍率とは、三重県内を就業地とする求人数を用いて算出した求人倍率。

《概要》

○ 有効求人数（季節調整値）は31,076人で前月に比べ2.4％（733人）増加し、有効求職者数（季節調整値）は24,437人で同1.1％（264人）増加した結果、有効求人倍率は1.27倍となり前月を0.01ポイント上回った。

○ 新規求人数（季節調整値）は11,452人で前月に比べ11.8％（1,206人）増加し、新規求職者数（季節調整値）は5,443人で同3.2％（169人）増加した結果、新規求人倍率は2.10倍となり前月を0.16ポイント上回った。



※令和2年12月以前の数値は、季節調整値替が行われたことで変更となっているものがあることにご注意ください。

○ **正社員有効求人倍率（原数値）は0.93倍で、前年同月（0.74倍）を0.19ポイント上回った。**

前年同月比で有効求人数は前年同月より増加し、有効求職者数は前年同月より減少した結果、有効求人倍率は前年同月を上回った。全国の正社員有効求人倍率（原数値）は0.88倍。

○ **新規求人数（原数値）は10,457人で、前年同月より21.5%（1,850人）増加し、6か月連続の増加。**

○ **パートを除く一般の新規求人数は6,223人で、前年同月より25.5%（1,266人）増加し、6か月連続の増加。**

パートの新規求人数は4,234人で、前年同月より16.0%（584人）増加し、2か月ぶりの増加。

○ **有効求人数（原数値）は30,019人で、前年同月より14.7%（3,842人）増加し、4か月連続の増加。**

○ **新規求職申込件数（原数値）は4,966件で、前年同月より3.9%（188人）増加、4か月ぶりの増加。**

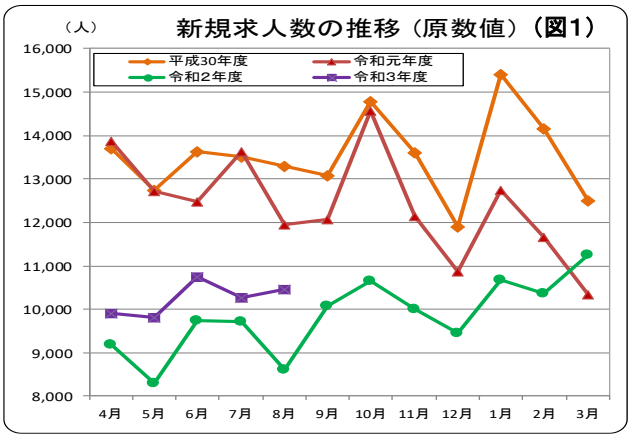
○ **有効求職者数（原数値）は24,351人で、前年同月より7.2%（1,902人）減少、2か月連続の減少。**

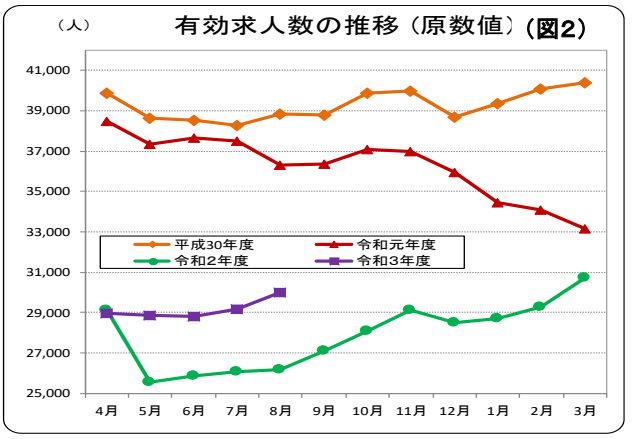
○ **新規常用求職者4,904人（パートタイムを含む）の態様別状況（前年同月比）**

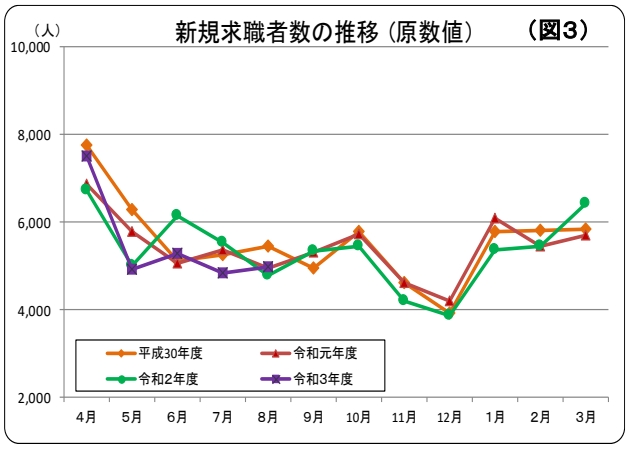
※ ＋3.7%（4か月ぶりの増加）

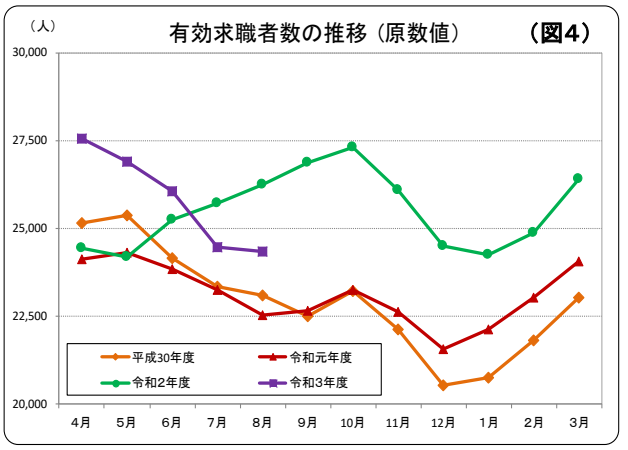
「在職者」は1,360人（＋16.3%）で6か月連続の増加、「無業者」は425人（▲11.3%）で3か月連続の減少、「離職者」は3,119人（＋1.2%）で4か月ぶりの増加。

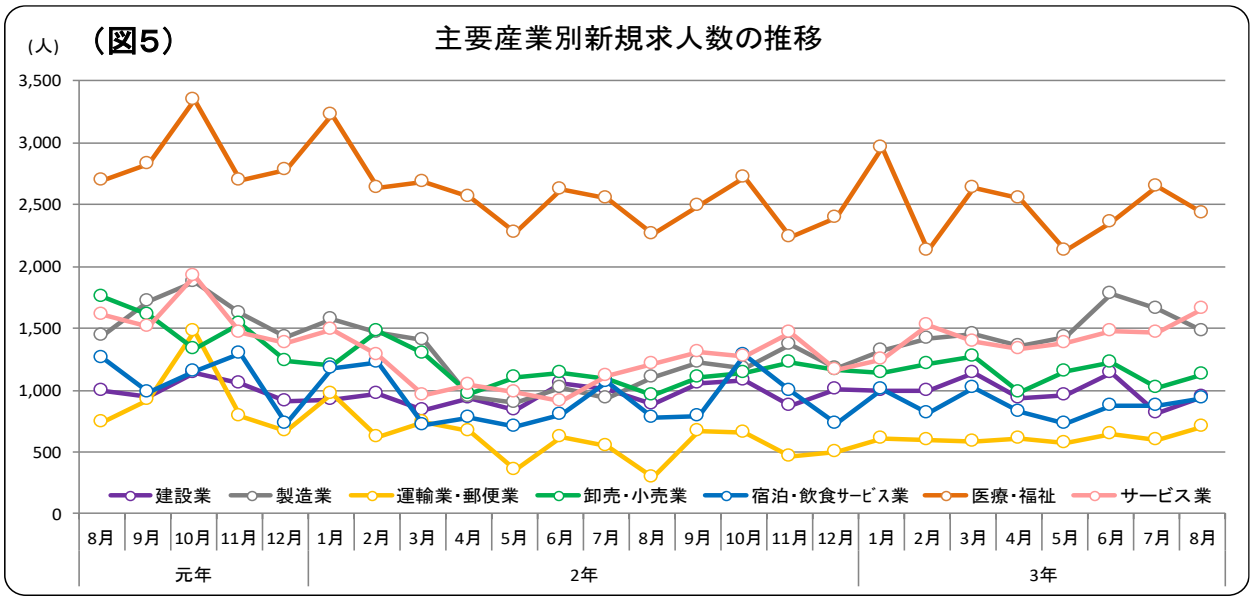
離職者の内訳をみると「事業主都合離職者」は644人（▲30.9%）で4か月連続の減少、「自己都合離職者」は2,253人（＋15.2%）で4か月ぶりの増加、「定年退職者」は144人（＋5.1%）で2か月連続の増加。

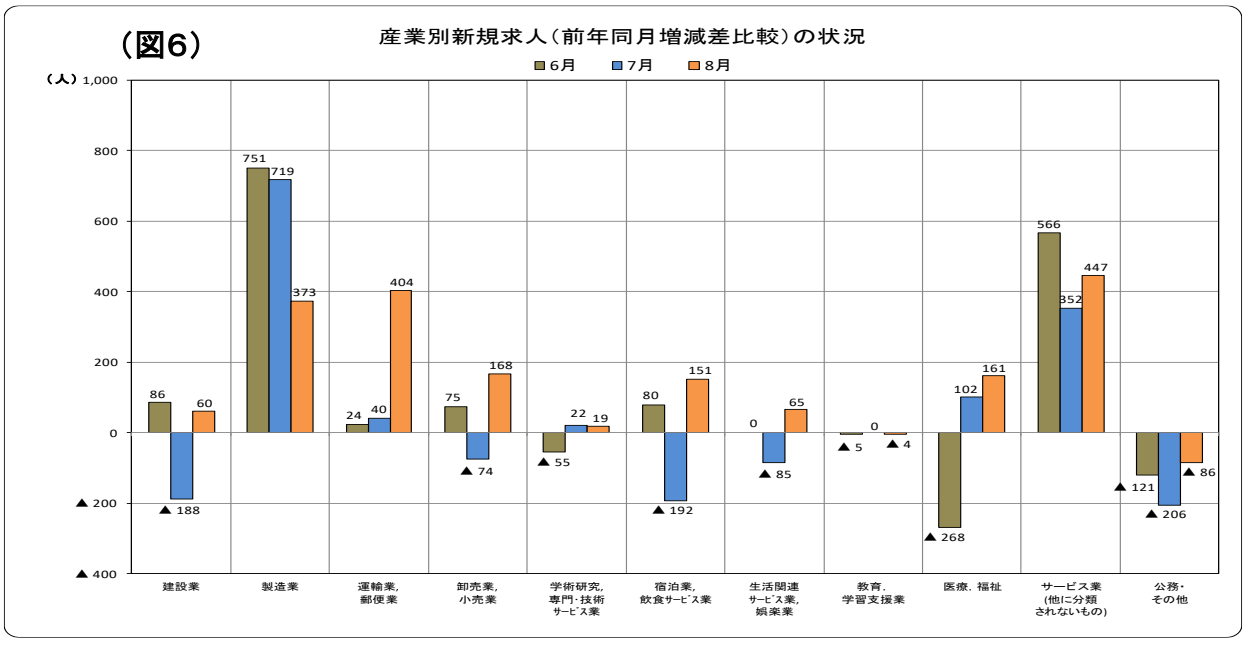


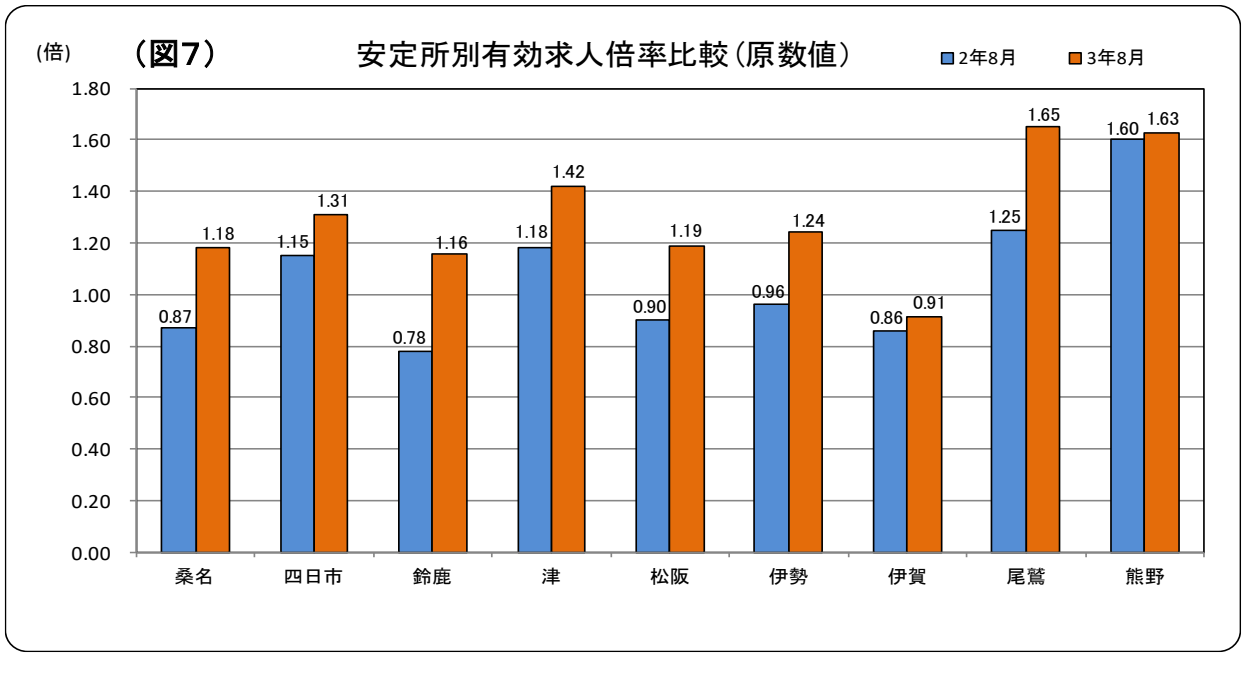







（図5）
主要産業別新規求人数の推移
(人)
3,500
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
建設業
製造業
運輸業・郵便業
卸売・小売業
宿泊・飲食サービス業
医療・福祉
サービス業
8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月
元年
2年
3年


（図6）
産業別新規求人（前年同月増減差比較）の状況
6月
7月
8月
(人) 1,000
800
600
400
200
0
▲ 200
▲ 400
86 ▲188 60
751 719 373
24 40 404
75 ▲74 168
▲55 22 19
80 ▲192 151
0 ▲85 65
▲5 0 ▲4
▲268 102 161
566 352 447
▲121 ▲206 ▲86
建設業
製造業
運輸業，郵便業
卸売業，小売業
学術研究，専門・技術サービス業
宿泊業，飲食サービス業
生活関連サービス業，娯楽業
教育，学習支援業
医療，福祉
サービス業（他に分類されないもの）
公務・その他


(倍)
（図7）
安定所別有効求人倍率比較（原数値）
2年8月
3年8月
1.80
1.60
1.40
1.20
1.00
0.80
0.60
0.40
0.20
0.00
0.87 1.18
1.15 1.31
0.78 1.16
1.18 1.42
0.90 1.19
0.96 1.24
0.86 0.91
1.25 1.65
1.60 1.63
桑名
四日市
鈴鹿
津
松阪
伊勢
伊賀
尾鷲
熊野

（表１）産業別新規求人の状況（パートを含む全数）

三重労働局計

産業	3年8月	前年同月	対前年同月		前月
			増減率	増減差	
AB 農，林，漁業	112	81	38.3	31	79
C 鉱業，採石業，砂利採取業	57	53	7.5	4	11
D 建設業	946	886	6.8	60	813
E 製造業	1,477	1,104	33.8	373	1,654
09 食料品	241	268	▲ 10.1	▲ 27	276
10 飲料・たばこ・飼料	13	12	8.3	1	1
11 繊維工業	55	45	22.2	10	8
12 木材・木製品	19	11	72.7	8	20
13 家具・装備品	23	17	35.3	6	25
14 パルプ・紙・紙加工品	20	12	66.7	8	30
15 印刷・同関連業	22	11	100.0	11	4
16 化学工業	51	42	21.4	9	62
17 石油製品・石炭製品	3	5	▲ 40.0	▲ 2	0
18 プラスチック製品	140	43	225.6	97	81
19 ゴム製品	26	15	73.3	11	72
21 窯業・土石製品	47	47	0.0	0	58
22 鉄鋼業	49	21	133.3	28	24
23 非鉄金属	16	6	166.7	10	53
24 金属製品	170	71	139.4	99	174
25 はん用機械器具	115	86	33.7	29	144
26 生産用機械器具	89	57	56.1	32	98
27 業務用機械器具	22	33	▲ 33.3	▲ 11	73
28 電子部品・デバイス・電子回路	58	53	9.4	5	36
29 電気機械器具	82	105	▲ 21.9	▲ 23	140
30 情報通信機械器具	0	5	▲ 100.0	▲ 5	4
31 輸送用機械器具	180	113	59.3	67	251
20,32 その他の製造業	36	26	38.5	10	20
F 電気・ガス・熱供給・水道業	12	25	▲ 52.0	▲ 13	17
G 情報通信業	71	43	65.1	28	68
H 運輸業，郵便業	703	299	135.1	404	593
I 卸売業，小売業	1,123	955	17.6	168	1,018
（50～55 卸売業）	246	197	24.9	49	216
（56～61 小売業）	877	758	15.7	119	802
J 金融業，保険業	83	96	▲ 13.5	▲ 13	31
K 不動産業，物品賃貸業	106	69	53.6	37	189
L 学術研究，専門・技術サービス業	137	118	16.1	19	188
M 宿泊業，飲食サービス業	930	779	19.4	151	876
N 生活関連サービス業，娯楽業	253	188	34.6	65	298
O 教育，学習支援業	69	73	▲ 5.5	▲ 4	120
P 医療，福祉	2,428	2,267	7.1	161	2,651
（83 医療業）	697	703	▲ 0.9	▲ 6	917
（85 社会保険・社会福祉・介護事業）	1,720	1,553	10.8	167	1,732
Q 複合サービス事業	76	58	31.0	18	57
R サービス業（他に分類されないもの）	1,658	1,211	36.9	447	1,464
（91 職業紹介・労働者派遣業）	633	369	71.5	264	645
ST 公務・その他	216	302	▲ 28.5	▲ 86	131
合計	10,457	8,607	21.5	1,850	10,258

（表２）

職業安定業務速報　（令和３年８月）

（三重労働局職業安定課）

項目	新規求人・求職				有効求人・求職				求人倍率					中高年齢者				就職件数		
									新規		有効									
									三重県		三重県		全国							
	求人数	前年同月比	求職者数	前年同月比	求人数	前年同月比	求職者数	前年同月比						新規求職者数	前年同月比	有効求職者数	前年同月比	全数	前年同月比	就職率
年月	（人）	（%）	（人）	（%）	（人）	（%）	（人）	（%）	倍	TCI倍	倍	TCI倍	TCI倍	（人）	（%）	（人）	（%）	（件）	（%）	（%）
29 年	13,031	4.1	5,789	▲ 6.3	37,151	4.9	23,282	▲ 6.8	2.25	——	1.60	——	1.50	2,616	▲ 1.1	11,074	▲ 3.3	1,994	▲ 4.1	34.4
30 平	13,602	4.4	5,606	▲ 3.2	39,170	5.4	22,953	▲ 1.4	2.43	——	1.71	——	1.61	2,666	1.9	11,387	2.8	1,881	▲ 5.7	33.6
1 均	13,033	▲ 4.2	5,441	▲ 3.0	37,800	▲ 3.5	22,807	▲ 0.6	2.40	——	1.66	——	1.60	2,717	1.9	11,802	3.6	1,755	▲ 6.7	32.3
2	10,037	▲ 23.0	5,358	▲ 1.5	28,953	▲ 23.4	24,984	9.5	1.87	——	1.16	——	1.18	2,820	3.8	13,587	15.1	1,569	▲ 10.6	29.3
29 年	13,315	6.3	5,682	▲ 6.4	37,843	6.5	22,948	▲ 6.6	2.34	——	1.65	——	1.54	2,587	▲ 2.3	10,956	▲ 3.6	1,943	▲ 6.3	34.2
30 度	13,530	1.6	5,550	▲ 2.3	39,292	3.8	22,921	▲ 0.1	2.44	——	1.71	——	1.62	2,691	4.0	11,531	5.2	1,862	▲ 4.2	33.5
1 平	12,418	▲ 8.2	5,423	▲ 2.3	36,289	▲ 7.6	23,109	0.8	2.29	——	1.57	——	1.55	2,754	2.3	12,132	5.2	1,742	▲ 6.4	32.1
2 均	9,837	▲ 20.8	5,359	▲ 1.2	27,874	▲ 23.2	25,510	10.4	1.84	——	1.09	——	1.10	2,845	3.3	13,985	15.3	1,564	▲ 10.2	29.2
													（原数値）							
30 7	13,516	4.5	5,256	0.5	38,289	5.0	23,352	1.0	2.57	2.42	1.64	1.70	1.63	2,487	6.7	11,766	6.6	1,772	▲ 3.6	33.7
8	13,303	5.8	5,462	▲ 3.8	38,870	5.2	23,080	▲ 0.4	2.44	2.44	1.68	1.72	1.64	2,527	3.7	11,563	5.3	1,640	▲ 6.4	30.0
9	13,073	▲ 5.1	4,958	▲ 13.3	38,812	2.6	22,511	▲ 3.1	2.64	2.51	1.72	1.73	1.64	2,320	▲ 8.0	11,267	3.1	1,566	▲ 22.3	31.6
10	14,781	2.3	5,783	6.3	39,874	1.8	23,212	0.4	2.56	2.47	1.72	1.72	1.63	2,749	13.1	11,534	6.1	2,022	2.8	35.0
11	13,606	9.4	4,615	▲ 4.5	40,003	2.5	22,116	1.1	2.95	2.51	1.81	1.71	1.63	2,148	▲ 2.0	11,010	6.5	1,710	▲ 0.9	37.1
12	11,902	▲ 4.2	3,927	▲ 3.6	38,714	2.2	20,525	0.7	3.03	2.39	1.89	1.71	1.62	1,904	▲ 1.1	10,261	4.7	1,643	3.3	41.8
31 1	15,416	9.1	5,787	1.7	39,360	5.1	20,739	0.8	2.66	2.53	1.90	1.74	1.64	2,880	15.8	10,481	7.2	1,478	1.9	25.5
2	14,171	▲ 2.9	5,811	▲ 4.1	40,087	1.0	21,802	▲ 0.3	2.44	2.45	1.84	1.72	1.62	2,897	2.5	11,106	6.0	1,743	▲ 6.9	30.0
3	12,510	▲ 12.1	5,842	▲ 8.2	40,388	▲ 2.1	23,044	▲ 2.0	2.14	2.38	1.75	1.71	1.63	2,844	▲ 5.7	11,712	3.5	2,418	▲ 5.3	41.4
4	13,861	1.2	6,869	▲ 11.4	38,483	▲ 3.6	24,112	▲ 4.2	2.02	2.58	1.60	1.70	1.62	3,776	▲ 9.1	12,647	0.1	1,971	▲ 8.5	28.7
1 5	12,725	▲ 0.2	5,784	▲ 7.8	37,370	▲ 3.4	24,299	▲ 4.2	2.20	2.44	1.54	1.70	1.61	2,852	▲ 5.1	12,853	0.3	1,829	▲ 18.9	31.6
6	12,479	▲ 8.5	5,052	▲ 1.5	37,686	▲ 2.2	23,842	▲ 1.3	2.47	2.40	1.58	1.71	1.61	2,420	1.8	12,597	3.1	1,769	▲ 8.8	35.0
7	13,627	0.8	5,362	2.0	37,518	▲ 2.0	23,240	▲ 0.5	2.54	2.49	1.61	1.69	1.60	2,698	8.5	12,074	2.6	1,866	5.3	34.8
8	11,945	▲ 10.2	4,942	▲ 9.5	36,314	▲ 6.6	22,541	▲ 2.3	2.42	2.37	1.61	1.66	1.60	2,318	▲ 8.3	11,591	0.2	1,512	▲ 7.8	30.6
9	12,059	▲ 7.8	5,305	7.0	36,350	▲ 6.3	22,648	0.6	2.27	2.17	1.60	1.62	1.59	2,540	9.5	11,582	2.8	1,579	0.8	29.8
10	14,578	▲ 1.4	5,728	▲ 1.0	37,069	▲ 7.0	23,240	0.1	2.55	2.32	1.60	1.59	1.58	2,875	4.6	11,924	3.4	1,776	▲ 12.2	31.0
11	12,150	▲ 10.7	4,617	0.0	37,002	▲ 7.5	22,616	2.3	2.63	2.21	1.64	1.56	1.57	2,351	9.5	11,725	6.5	1,552	▲ 9.2	33.6
12	10,869	▲ 8.7	4,192	6.7	35,976	▲ 7.1	21,558	5.0	2.59	2.13	1.67	1.51	1.55	2,156	13.2	11,327	10.4	1,567	▲ 4.6	37.4
2 1	12,735	▲ 17.4	6,081	5.1	34,452	▲ 12.5	22,130	6.7	2.09	1.99	1.56	1.44	1.51	3,205	11.3	11,797	12.6	1,344	▲ 9.1	22.1
2	11,650	▲ 17.8	5,445	▲ 6.3	34,108	▲ 14.9	23,022	5.6	2.14	2.05	1.48	1.38	1.45	2,833	▲ 2.2	12,390	11.6	1,725	▲ 1.0	31.7
3	10,335	▲ 17.4	5,704	▲ 2.4	33,145	▲ 17.9	24,058	4.4	1.81	2.05	1.38	1.33	1.40	3,021	6.2	13,082	11.7	2,409	▲ 0.4	42.2
4	9,196	▲ 33.7	6,721	▲ 2.2	29,153	▲ 24.2	24,425	1.3	1.37	1.80	1.19	1.26	1.30	3,865	2.4	13,557	7.2	1,685	▲ 14.5	25.1
5	8,297	▲ 34.8	5,013	▲ 13.3	25,575	▲ 31.6	24,190	▲ 0.4	1.66	1.86	1.06	1.16	1.18	2,639	▲ 7.5	13,356	3.9	1,294	▲ 29.3	25.8
6	9,733	▲ 22.0	6,141	21.6	25,869	▲ 31.4	25,259	5.9	1.58	1.60	1.02	1.12	1.12	3,145	30.0	13,882	10.2	1,535	▲ 13.2	25.0
7	9,717	▲ 28.7	5,538	3.3	26,100	▲ 30.4	25,718	10.7	1.75	1.64	1.01	1.06	1.09	2,808	4.1	13,842	14.6	1,585	▲ 15.1	28.6
8	8,607	▲ 27.9	4,778	▲ 3.3	26,177	▲ 27.9	26,253	16.5	1.80	1.77	1.00	1.02	1.05	2,456	6.0	14,100	21.6	1,297	▲ 14.2	27.1
9	10,071	▲ 16.5	5,345	0.8	27,116	▲ 25.4	26,856	18.6	1.88	1.86	1.01	1.03	1.04	2,763	8.8	14,496	25.2	1,492	▲ 5.5	27.9
10	10,648	▲ 27.0	5,454	▲ 4.8	28,108	▲ 24.2	27,321	17.6	1.95	1.84	1.03	1.03	1.04	2,910	1.2	14,850	24.5	1,668	▲ 6.1	30.6
11	10,010	▲ 17.6	4,204	▲ 8.9	29,107	▲ 21.3	26,083	15.3	2.38	1.95	1.12	1.05	1.05	2,176	▲ 7.4	14,253	21.6	1,426	▲ 8.1	33.9
12	9,443	▲ 13.1	3,866	▲ 7.8	28,522	▲ 20.7	24,498	13.6	2.44	1.97	1.16	1.06	1.05	2,015	▲ 6.5	13,439	18.6	1,370	▲ 12.6	35.4
3 1	10,684	▲ 16.1	5,377	▲ 11.6	28,721	▲ 16.6	24,254	9.6	1.99	1.90	1.18	1.10	1.10	2,955	▲ 7.8	13,405	13.6	1,256	▲ 6.5	23.4
2	10,374	▲ 11.0	5,449	0.1	29,300	▲ 14.1	24,861	8.0	1.90	1.84	1.18	1.10	1.09	2,891	2.0	13,800	11.4	1,587	▲ 8.0	29.1
3	11,262	9.0	6,422	12.6	30,740	▲ 7.3	26,396	9.7	1.75	2.04	1.16	1.13	1.10	3,514	16.3	14,837	13.4	2,575	6.9	40.1
4	9,900	7.7	7,520	11.9	28,975	▲ 0.6	27,566	12.9	1.32	1.77	1.05	1.11	1.09	4,371	13.1	15,681	15.7	1,887	12.0	25.1
5	9,805	18.2	4,927	▲ 1.7	28,855	12.8	26,900	11.2	1.99	2.27	1.07	1.17	1.09	2,674	1.3	15,254	14.2	1,594	23.2	32.4
6	10,739	10.3	5,297	▲ 13.7	28,837	11.5	26,068	3.2	2.03	2.08	1.11	1.21	1.13	2,751	▲ 12.5	14,732	6.1	1,694	10.4	32.0
7	10,258	5.6	4,833	▲ 12.7	29,178	11.8	24,473	▲ 4.8	2.12	1.94	1.19	1.26	1.15	2,696	▲ 4.0	13,730	▲ 0.8	1,480	▲ 6.6	30.6
8	10,457	21.5	4,966	3.9	30,019	14.7	24,351	▲ 7.2	2.11	2.10	1.23	1.27	1.14	2,630	7.1	13,065	▲ 7.3	1,332	2.7	26.8
9																				

※求人数、求職者数、就職件数、求人倍率は、学卒を除きパートを含む。TCIは季節調整値を示す。rは数値を補正したもの。
※就職率は、新規求職者数に対する就職件数の割合。

最近の東海財務局管内の経済情勢

令　和　３　年　８　月
財 務 省 東 海 財 務 局

1．本調査結果に関する問い合わせは下記へお願いします。

財務省　東海財務局　経済調査課
TEL(052)951-2632(ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ)

2．本調査結果の概要は下記ホームページでもご覧頂けます。

http://tokai.mof.go.jp/

最近の東海財務局管内の経済情勢

項目	前回（3年4月判断）	今回（3年7月判断）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している	**新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況が残るものの、緩やかに回復しつつある** 【令和2年10月判断以来、3期ぶり上方修正】	⇧	個人消費は感染症の影響により、サービス消費に弱さがあるものの、コンビニエンスストア販売や百貨店販売では緩やかに持ち直している。生産活動は一部に弱い動きがあるものの、自動車関連産業を中心に回復している。こうしたなか、雇用情勢は弱い動きが続いている。

〔先行き〕

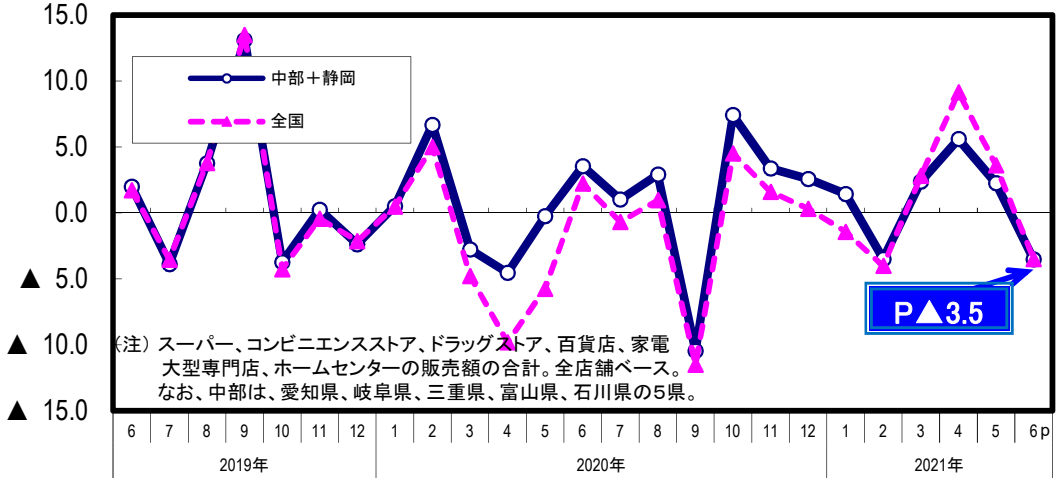
先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。

項目	前回（3年4月判断）	今回（3年7月判断）	前回比較
個人消費	感染症の影響により、持ち直しの動きに一服感がみられる	**感染症の影響により、一部に弱さがあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる**	→
生産活動	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復している	**一部に弱い動きがみられるものの、回復している**	↗
雇用情勢	一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている	**一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている**	→
設備投資	2年度は増加見込み	**3年度は増加見込み**	→
企業収益	2年度は減益見込み	**3年度は増益見込み**	↗
住宅建設	弱い動きとなっている	**下げ止まりの動きがみられる**	↗

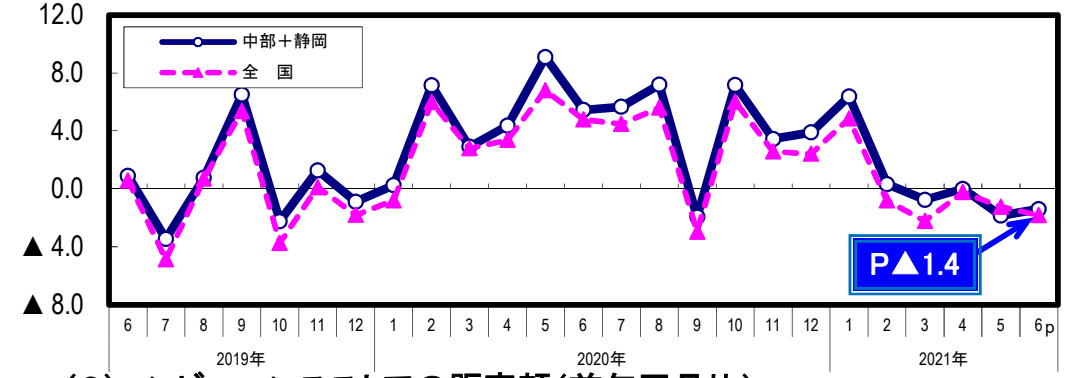
※令和3年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

1. 個人消費　～感染症の影響により、一部に弱さがあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる～
【据え置き】令和3年1月判断以来、3期連続

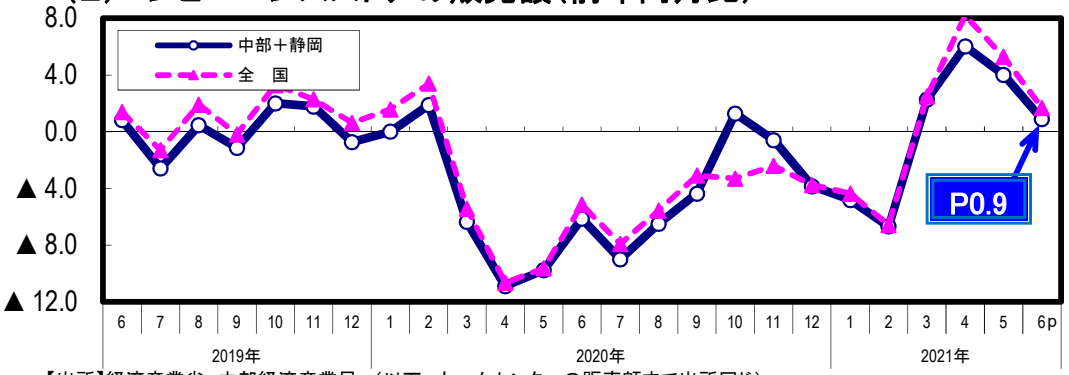
（%）〔商業動態統計 6業態の販売額合計（前年同月比）〕



（%）（1）スーパーの販売額（前年同月比）



（%）（2）コンビニエンスストアの販売額（前年同月比）



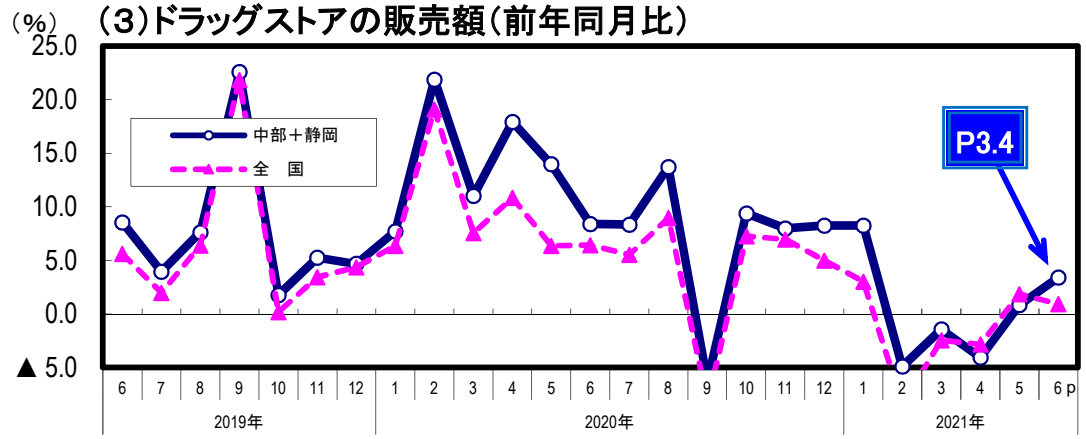
【出所】経済産業省、中部経済産業局　（以下、ホームセンターの販売額まで出所同じ）

- スーパー販売は、内食需要により、主力の食料品を中心に堅調となっている。
- コンビニエンスストア販売は、オフィス街における入店客数が回復しつつあることから、緩やかに持ち直している。
- ドラッグストア販売は、衛生用品などが引き続き堅調であるほか、新規出店効果もあって、増加している。
- 百貨店販売は、入店客数が回復しつつあることから緩やかに持ち直している。
- 家電大型専門店販売は、テレビなどを中心に堅調となっている。
- ホームセンター販売は、園芸用品が堅調である中、DIY用品が落ち着き始めているものの、アウトドア関連が好調であることから、全体として堅調となっている。
- 乗用車販売は、新型車効果等により持ち直している。
- 旅行取扱高は、国内の一部に動きがみられるものの、依然として厳しい状況が続いている。

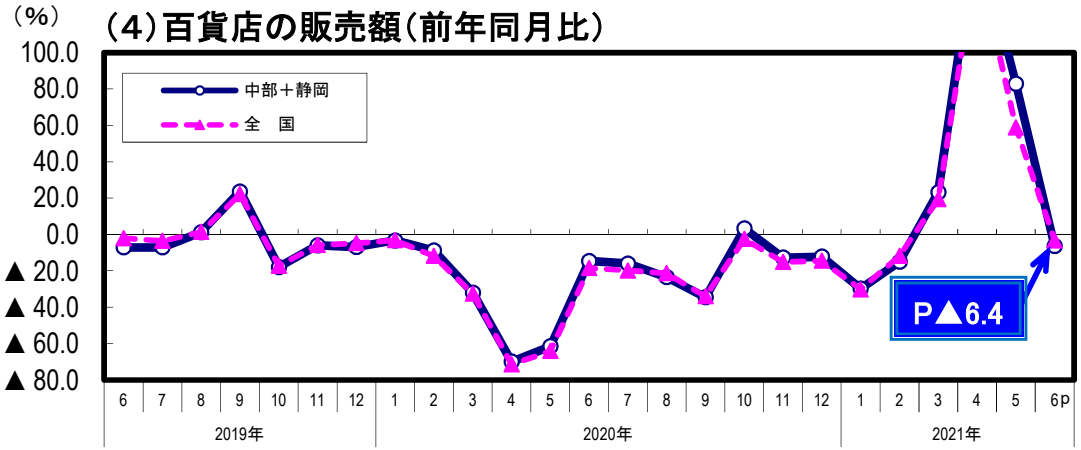
- 6月まではオフィス街や観光地で特に厳しい状況が続いていたものの、緊急事態宣言が明けた週から都心部における夜の売上が伸びている。　【コンビニ：大企業】
- 緊急事態宣言の解除やワクチン接種が進んでいることもあり、入店客数が回復している。　【百貨店：大企業】
- 新型車効果等により、受注ベースでは好調を維持しているが、車やカーナビなどの付属品に半導体不足の影響が徐々に出ており、今後販売ベースでは厳しい状況となる見込み。　【乗用車：中堅企業】
- ゴールデンウイークの観光客数は昨年度よりは増加したものの、例年比では大幅に減少している。東京で4度目の緊急事態宣言が発令されるなど、都市部からの観光客の回復が見込めず厳しい状況が続くとみている。　【自治体】
- まん延防止等重点措置が解除されたものの、県による時短要請が続いており、来店客数、客単価ともに低調なままである。　【飲食サービス：中堅企業】

1. 個人消費

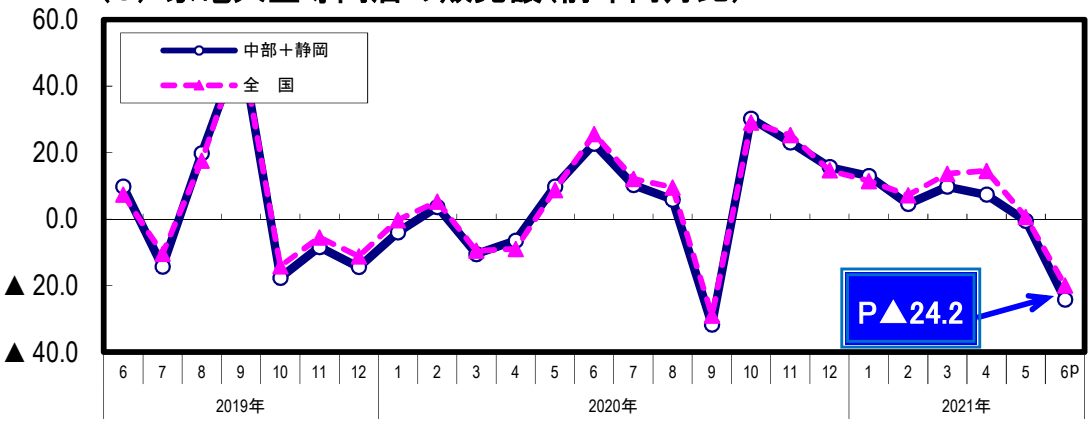
(3)ドラッグストアの販売額(前年同月比)



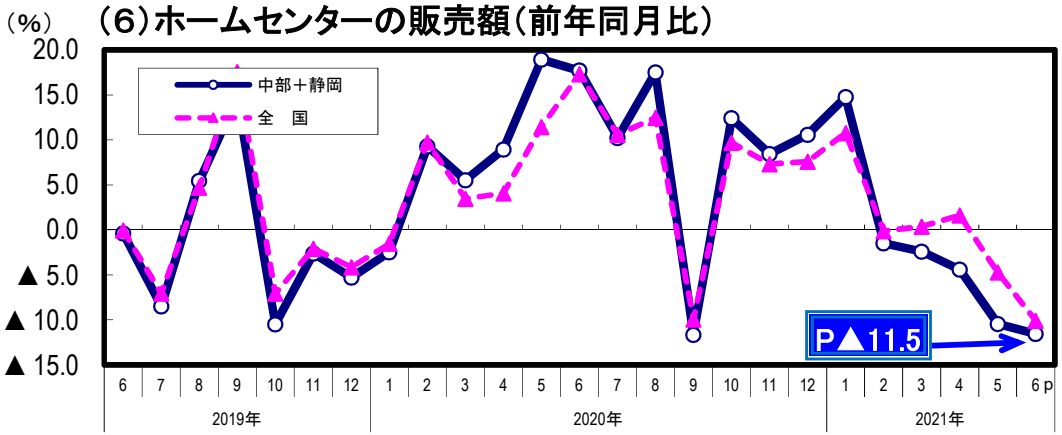
(4)百貨店の販売額(前年同月比)



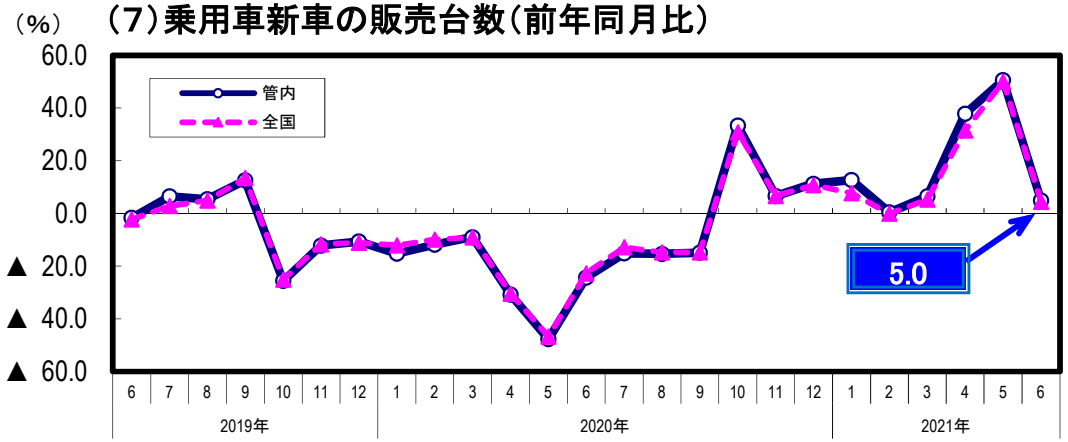
(5) 家電大型専門店の販売額(前年同月比)



(6)ホームセンターの販売額(前年同月比)

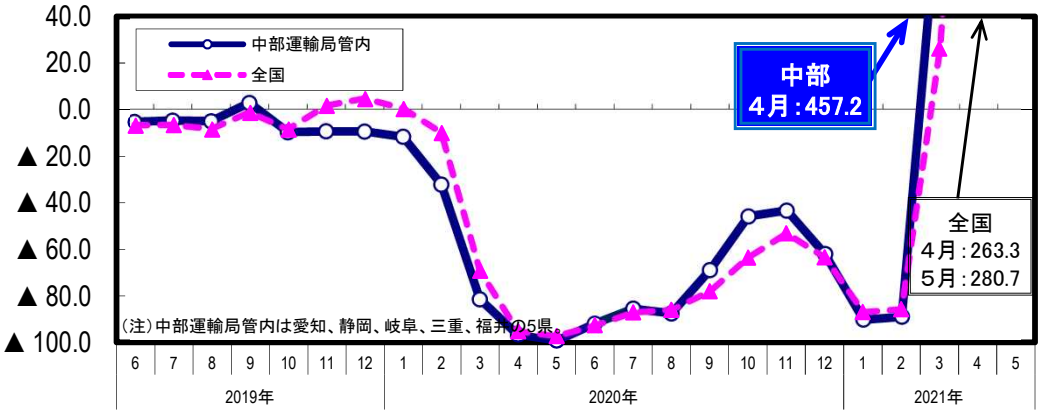


(7)乗用車新車の販売台数(前年同月比)



(注)普通乗用車＋小型乗用車＋軽四輪乗用車の合計。【出所】日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

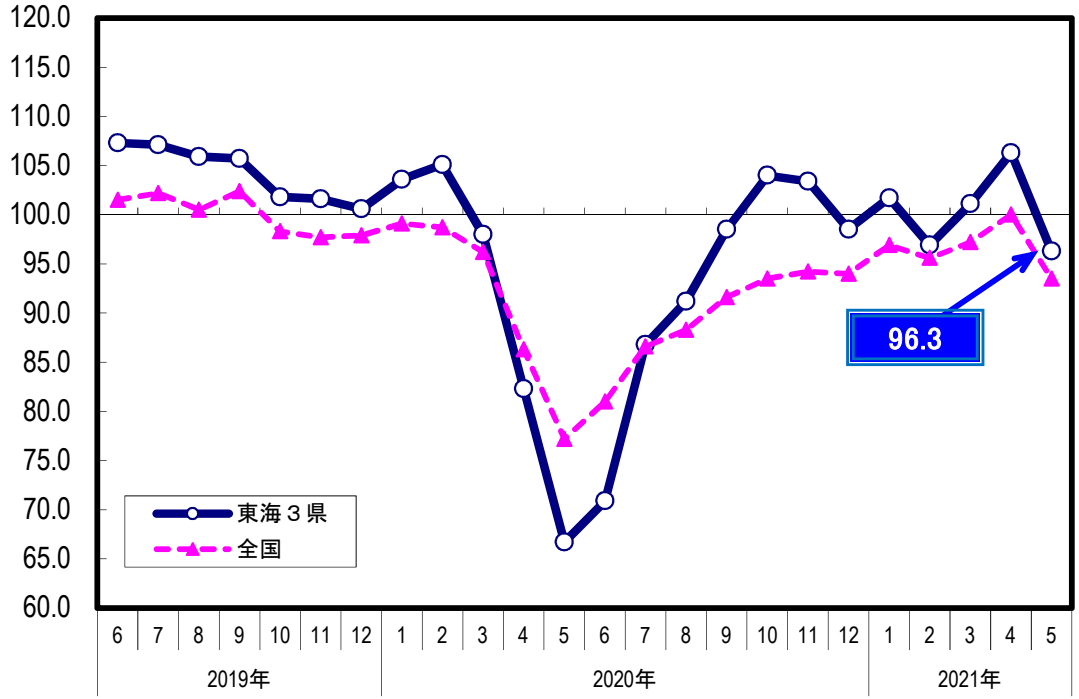
(8)旅行取扱高(前年同月比)



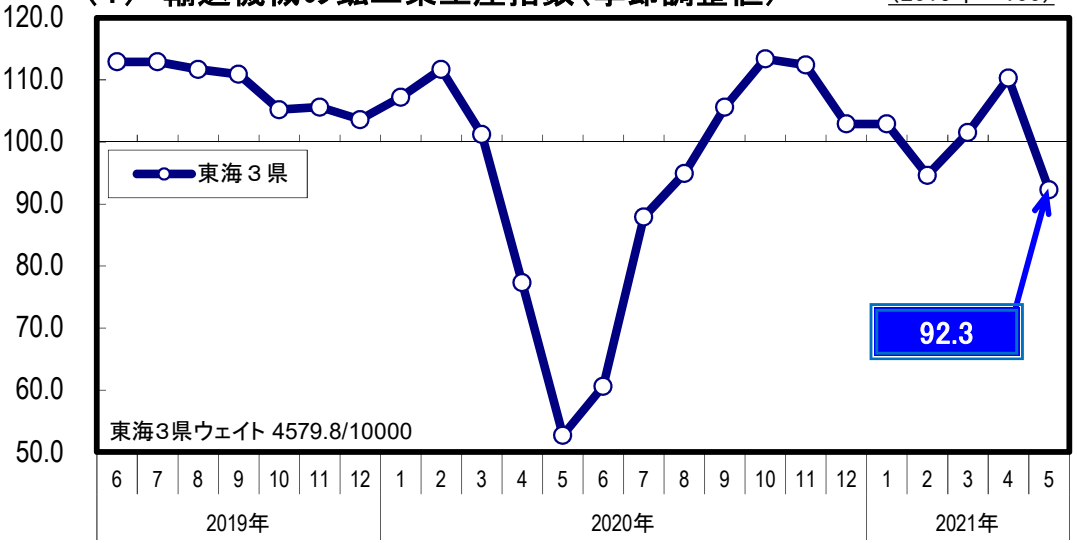
【出所】中部運輸局、観光庁

2. 生産活動　～一部に弱い動きがみられるものの、回復している～　【上方修正】令和3年1月判断以来、2期ぶり

〔鉱工業生産指数（季節調整値）〕　（2015年＝100）



（1）　輸送機械の鉱工業生産指数（季節調整値）　（2015年＝100）



（注）東海3県は、愛知、岐阜、三重の3県。

【出所】経済産業省、中部経済産業局

（輸送機械）

- 自動車関連は、一部に弱い動きがみられるものの、国内外の需要回復を受け増加している。
- オートバイは、輸出向けを中心に緩やかに回復しつつある。
- 航空機体部品は、海外航空機メーカーが大幅に減産したことから、悪化している。

（生産用機械）

- 金属工作機械は、海外受注を中心に増加していることから、生産は着実に持ち直している。

（電子部品・デバイス）

- 半導体集積回路は、増加している。
- 液晶は、弱い動きとなっている。

（電気機械）

- プラグは、増加の動きに一服感がみられる。開閉機器、電動機ともに、緩やかに回復している。

（鉄鋼）

- 普通鋼、特殊鋼ともに、増加している。

➢ 半導体不足の影響が懸念されるものの、完成車メーカーからの受注が高水準で推移しているため稼働率が高くなっている。　【輸送機械：大企業】

➢ 半導体不足の影響により、主力の自動車向けの需要がやや落ち込んでいることから、昨年末の高い生産水準と比べ生産水準はやや落ち着いた状態が続いている。　【電気機械：大企業】

➢ 半導体製造装置向けを中心に国内外の受注は着実に増加しつつある。特に、海外受注では、中国向けが過去最高の受注であったほか、北米や欧州の受注も戻っていることから、今後の生産は高水準となる見込み。　【生産用機械：大企業】

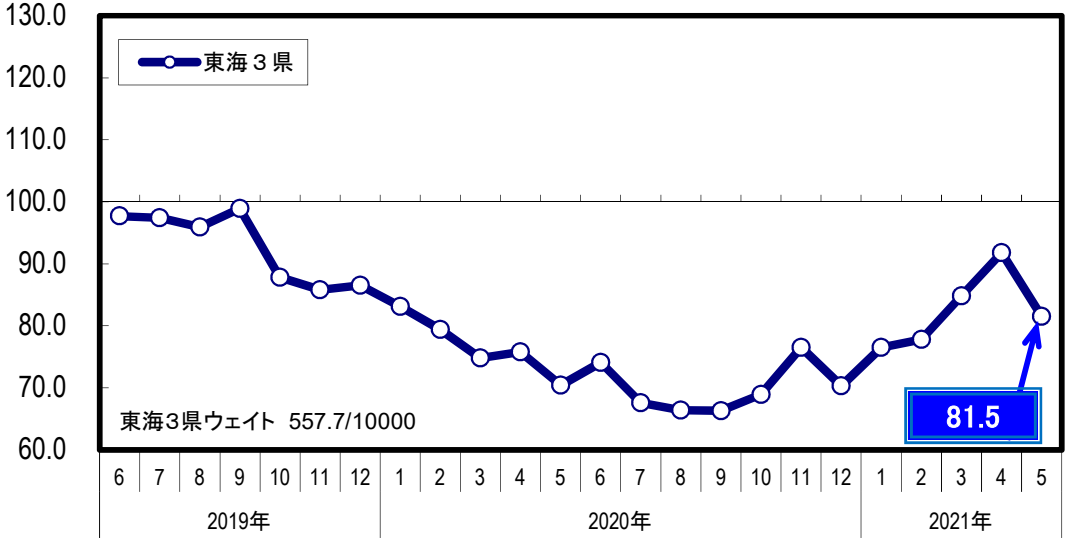
➢ スマートフォン向けのほか、パソコン向けもリモート需要等により受注が増加していることから、生産はフル稼働となっている。　【電子部品・デバイス：大企業】

➢ 自動車向けの受注が好調であり、生産はフル稼働となっている。今後も生産はフル稼働が続くと見込んでいる。　【鉄鋼：大企業】

2. 生産活動

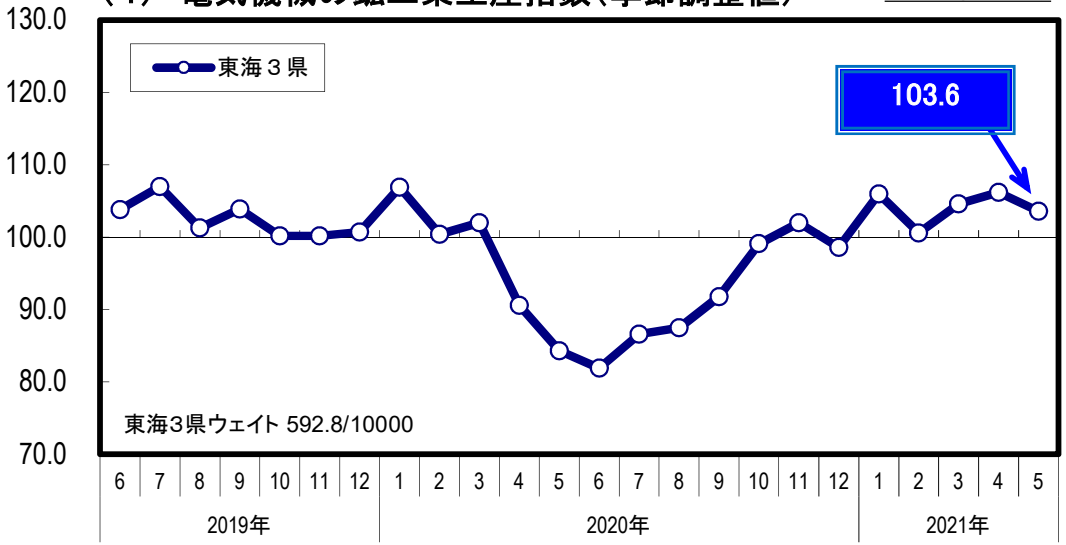
（2） 生産用機械の鉱工業生産指数（季節調整値）

（2015年＝100）



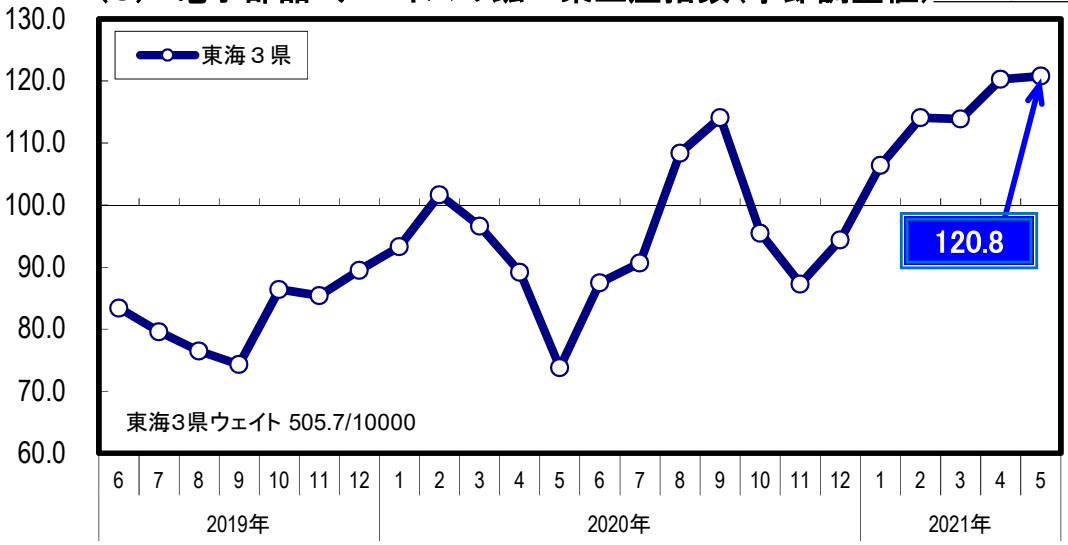
（4） 電気機械の鉱工業生産指数（季節調整値）

（2015年＝100）



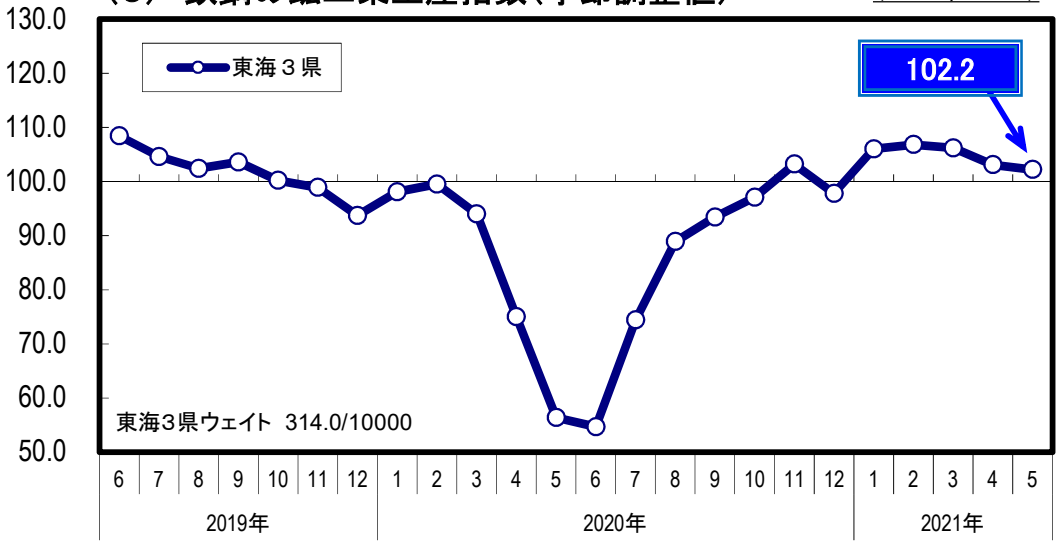
（3） 電子部品・デバイスの鉱工業生産指数（季節調整値）

（2015年＝100）



（5） 鉄鋼の鉱工業生産指数（季節調整値）

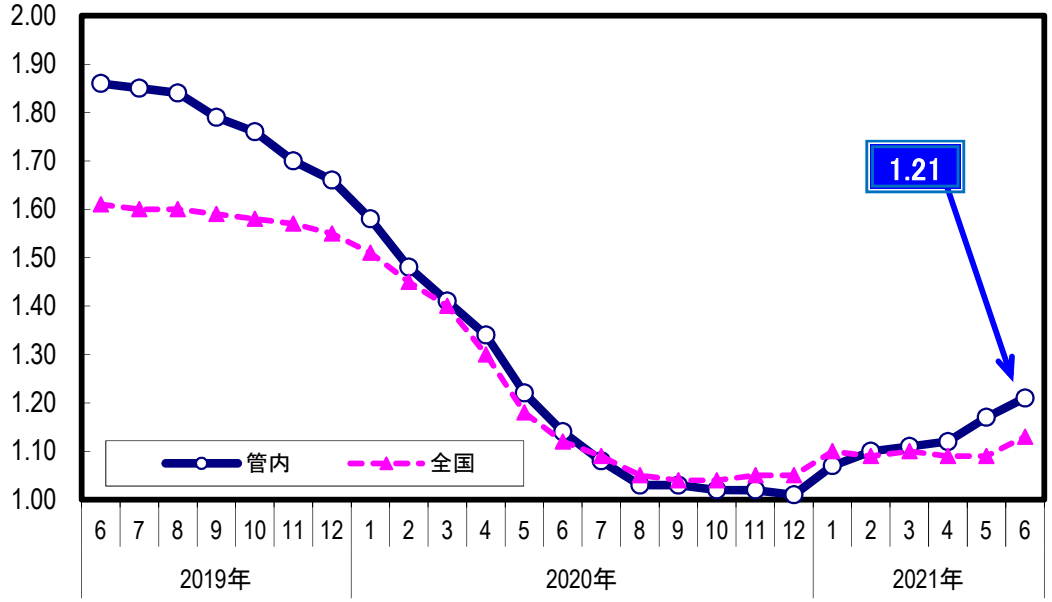
（2015年＝100）



【出所】経済産業省、中部経済産業局

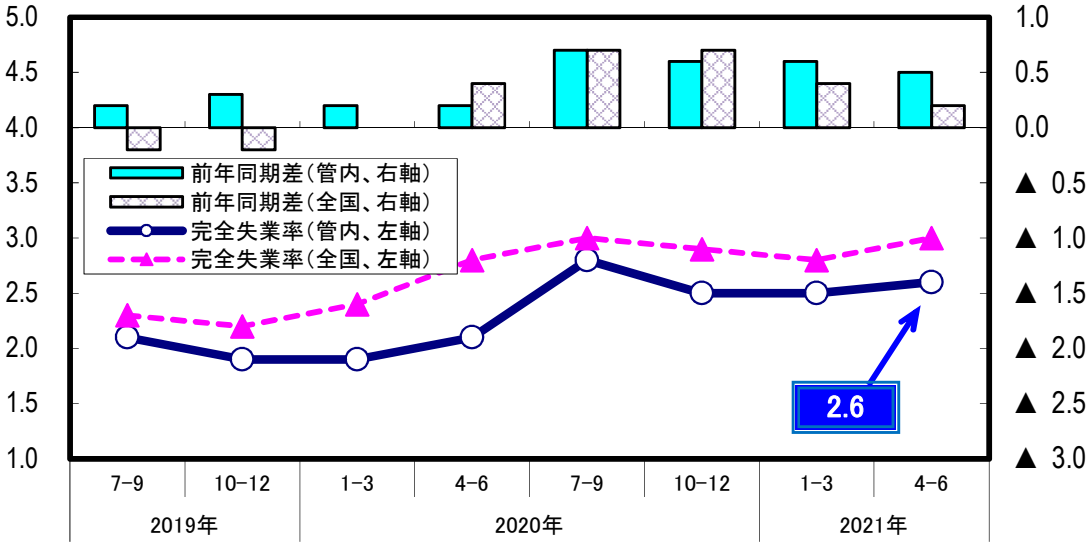
3. 雇用情勢　～一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている～
【据え置き】令和2年4月判断以来、6期連続で同じ判断

（倍）〔有効求人倍率（季節調整値）〕



【出所】厚生労働省

（%）〔完全失業率（原数値、前年同期差）〕　（%ポイント）



【出所】総務省

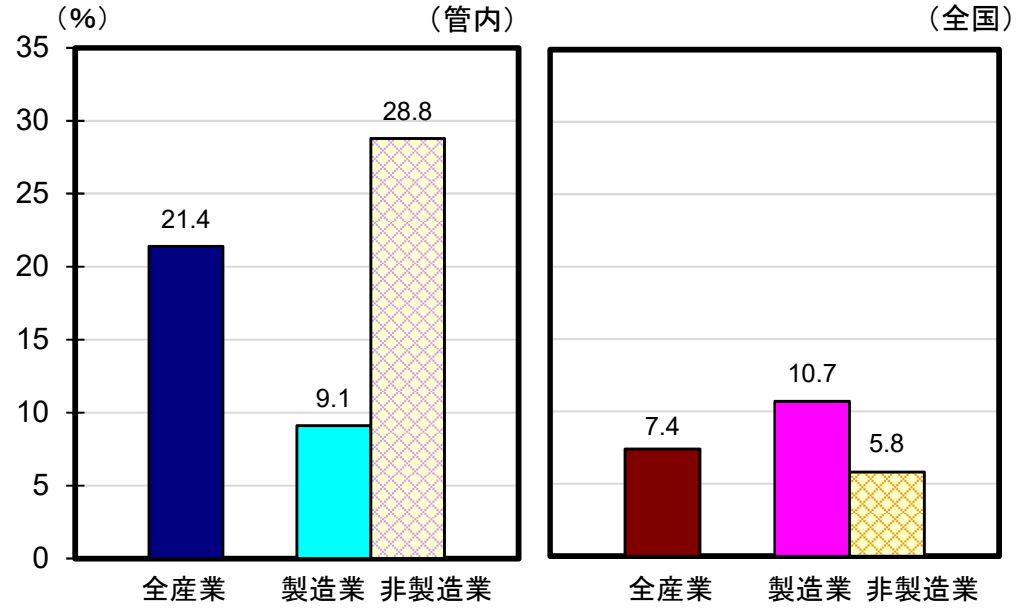
輸送用機械などで引き続き求人が緩やかに増加していることから、有効求人倍率は緩やかに上昇しているものの、全体では弱い動きが続いている。

なお、完全失業率は低水準である。

- これまでは残業時間の増加によって対応していたものの、今後は挽回生産により生産レベルが上昇していくことが見込まれることから、期間工の募集を行っている。【輸送用機械：大企業】
- 輸送用機械向けの工作機械を扱う企業のほか、半導体製造装置向けの部品を扱う企業からの求人がでてきている。【労働局】
- 航空機需要の低迷が続いていることから、自動車産業などに出向を行っている。【その他輸送用機械：大企業】
- 飲食サービス業では、感染拡大があると規制が強くかかることから企業側が慎重になっており、求人がなかなか戻ってこない。【労働局】
- 5月に緊急事態宣言が発令されて以降、すべての店舗で臨時休業したため、雇用調整助成金を活用しながら従業員を休業させた。【旅行：中堅企業】

4. 設備投資　～3年度は増加見込み～

〔3年度見込み：設備投資額（前年度比）〕



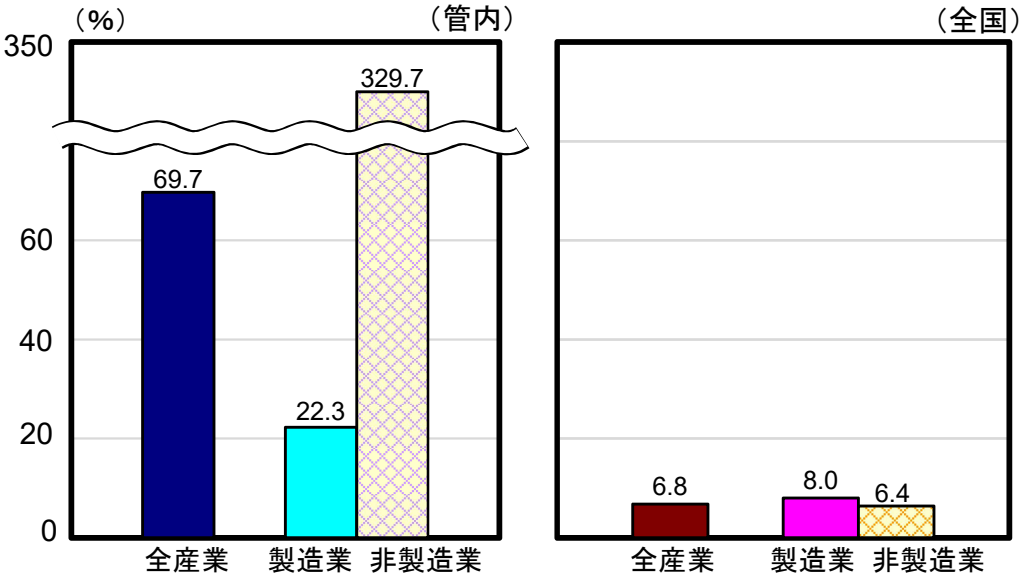
【出所】財務省、東海財務局

3年度の全産業の設備投資は、法人企業景気予測調査（3年4－6月期〈調査時点・3年5月15日〉）でみると、21.4%の増加見込みとなっている。

- 感染症による先行き不透明感はあるものの、継続的な需要の高まりが見込まれる半導体関連等の分野への投資は積極的に行っていく。　【電気機械：大企業】
- CASE関連の投資を引き続き行っていくことに加え、2年度に感染症の影響で減収減益となったことから見送っていた投資を実施する。　【輸送用機械：大企業】
- 輸送サービスの充実に向けた施設整備や安全・安定輸送の確保のためのインフラ整備などを予定している。　【運輸：大企業】
- カーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギー関連事業を拡大するための投資を行う。　【電気・ガス：大企業】

5. 企業収益　～3年度は増益見込み～

〔3年度見込み：経常利益（前年度比）〕



（注）管内は電気・ガス、金融・保険業を除く。

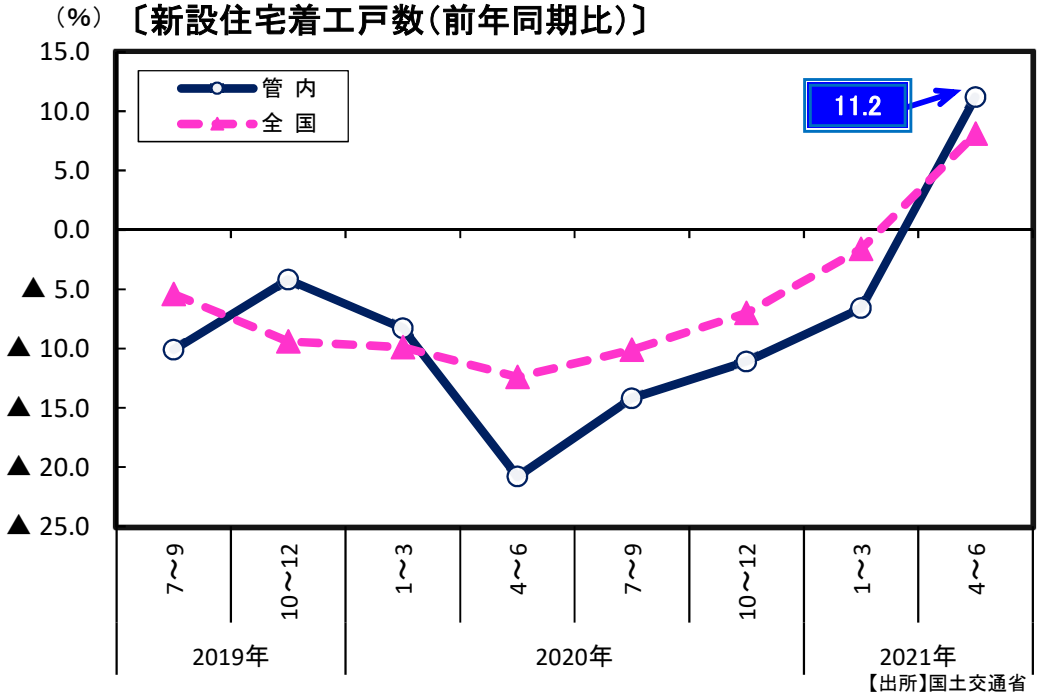
【出所】財務省、東海財務局

3年度の全産業の企業収益は、法人企業景気予測調査（3年4－6月期〈調査時点・3年5月15日〉）の経常利益でみると、69.7%の増益見込みとなっている。

- 2年度は上期に完成車メーカーの減産等により業績が大きく落ち込んだが、3年度は自動車生産が堅調に推移し感染拡大前の水準まで戻ってきているほか、海外出張を控えるなど費用も減少していることから増益見込み。　【輸送用機械：大企業】
- 海外において郊外への移住や一戸建ての需要が急増していることに加え、コンテナ不足に伴う海上物流の停滞により木材輸入量の減少及び価格の高騰が発生している影響から今年度は減益見込み。　【木材・木製品：中堅企業】
- 2年度は休校要請や出勤抑制の影響から大きく業績が落ち込んだ。3年度は2年度に比べると影響は小さくなっているものの、感染拡大前と比較して7割程度の水準にとどまっている。　【運輸：大企業】
- テイクアウトの強化等により2年度と比較して赤字幅は縮小する見込みだが、緊急事態宣言の発令など下振れリスクが存在する。大人数での会食自粛や酒類の提供停止により客単価が下がっており利益率が悪くなっている。　【サービス：大企業】

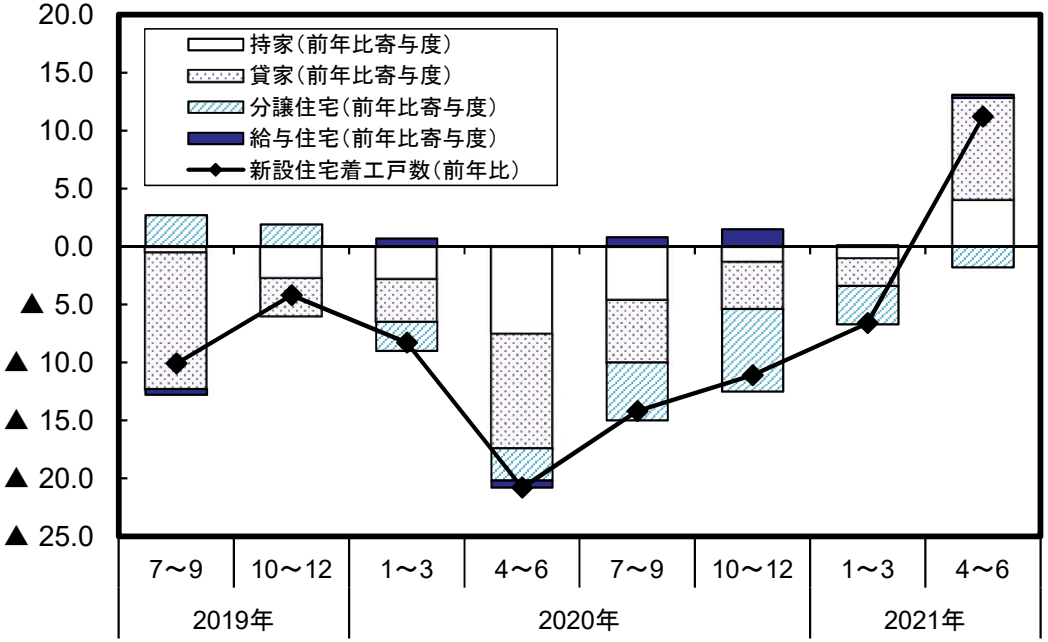
6. 住宅建設　～下げ止まりの動きがみられる～　【上方修正】平成30年10月判断以来、11期ぶり

〔新設住宅着工戸数（前年同期比）〕



【出所】国土交通省

〔新設住宅着工戸数・利用関係別（前年同期比）〕



【出所】国土交通省

住宅建設は、分譲住宅が引き続き減少しているものの、貸家、持家が前年を上回っていることなどから、下げ止まりの動きがみられる。

- 分譲戸建については、感染拡大の影響によるマインド低下も一部にみられるなか、好条件の分譲用地の確保が引き続き難しいことや木材価格の高騰もあり、着工は引き続き減少している。【建設：大企業】
- 分譲マンションについては、販売価格上昇により買手が選別色を強め、購入に慎重となり、販売状況が鈍く供給過剰感もあることから、当面は前年を下回る水準と考えている。【マーケティングリサーチ：中小企業】
- 貸家については、新型コロナの影響やサブリースのイメージダウンによる影響も薄れてきたことから、水準は高くないものの2年前の水準まで戻ってきている。【建設：大企業】
- 持家については、展示場の入場者数も例年以下の状況が続いていることなどから、受注状況も弱い動きが続いている。【建設：大企業】

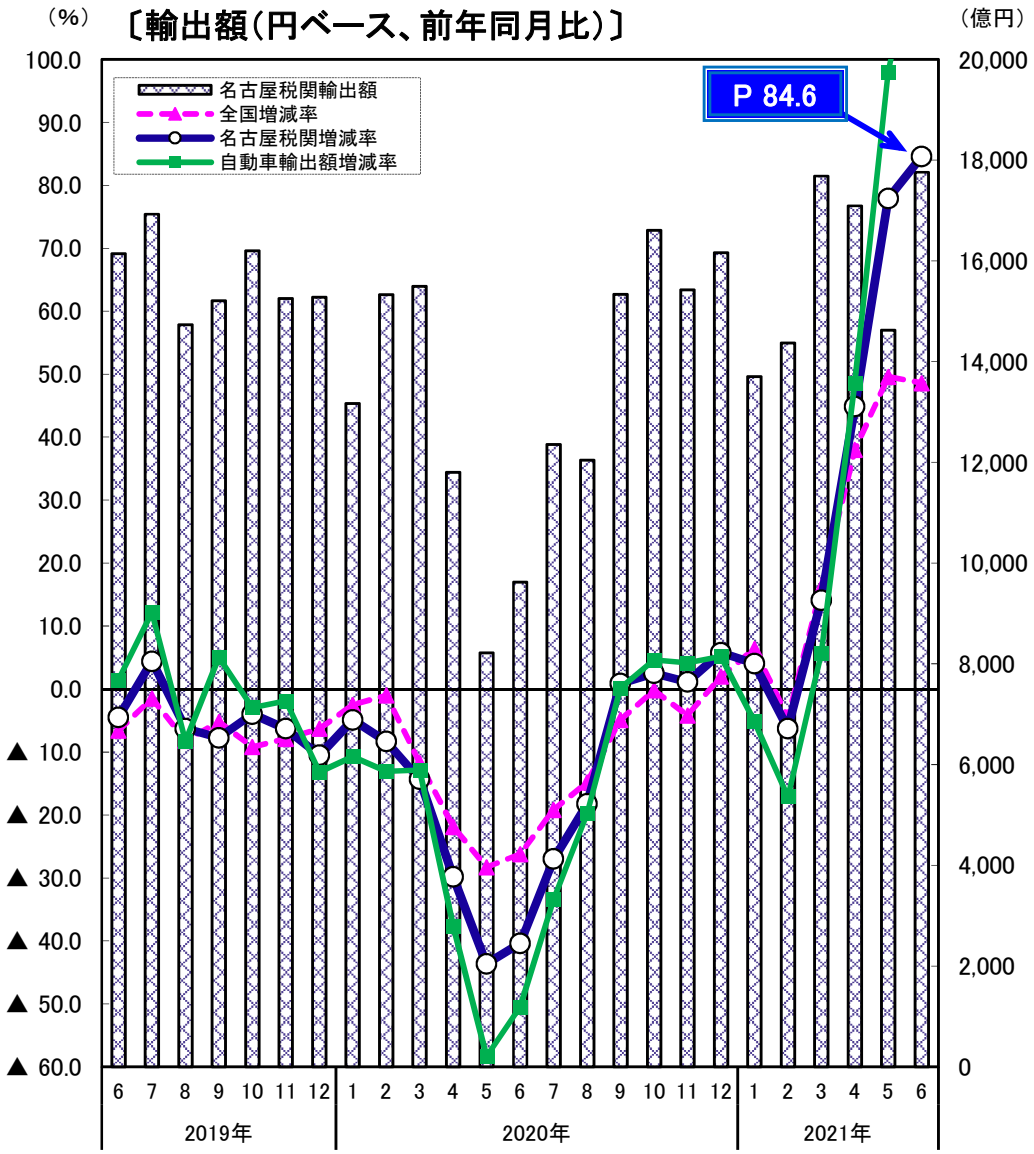
7. 輸出　～増加している～

【据え置き】令和3年1月判断以来、3期連続で同じ判断

輸出（円ベース）は、自動車関連を中心に増加している。

輸入（円ベース）は、前年を上回っている。

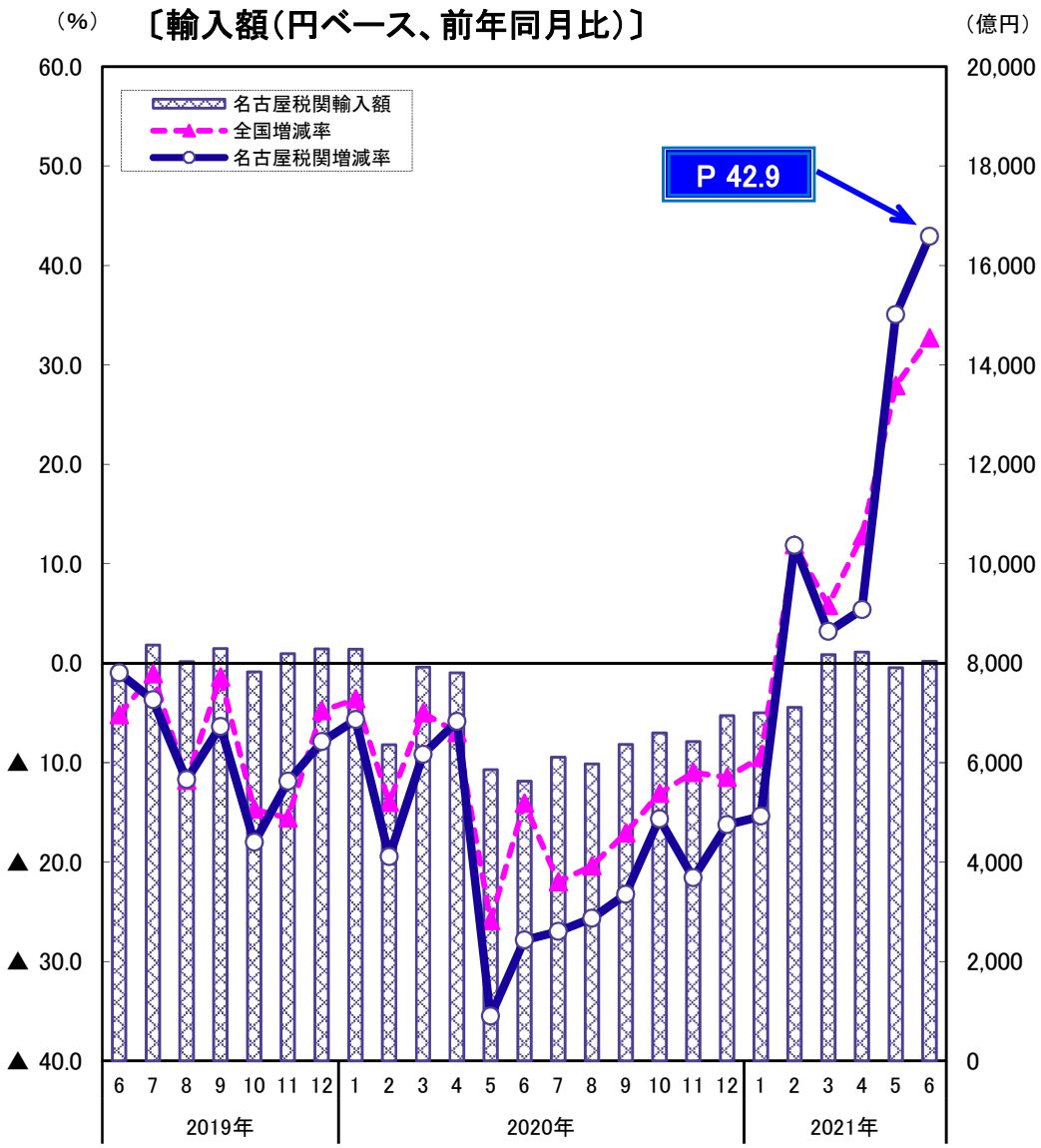
〔輸出額（円ベース、前年同月比）〕



（注）自動車輸出額増減率については各月とも速報値ベース。

【出所】財務省、名古屋税関

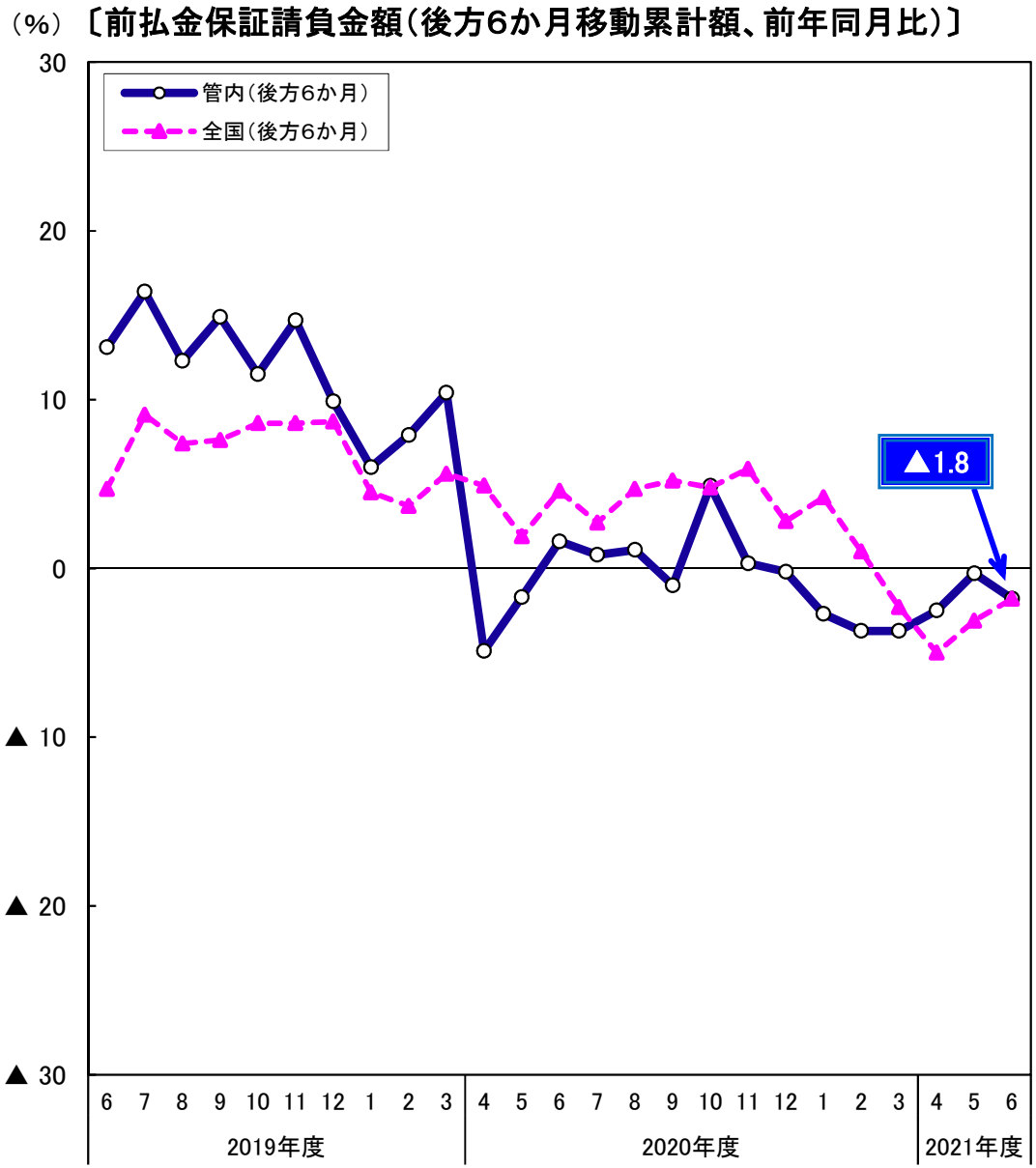
〔輸入額（円ベース、前年同月比）〕



【出所】財務省、名古屋税関

8. 公共事業　～前年並みとなっている～

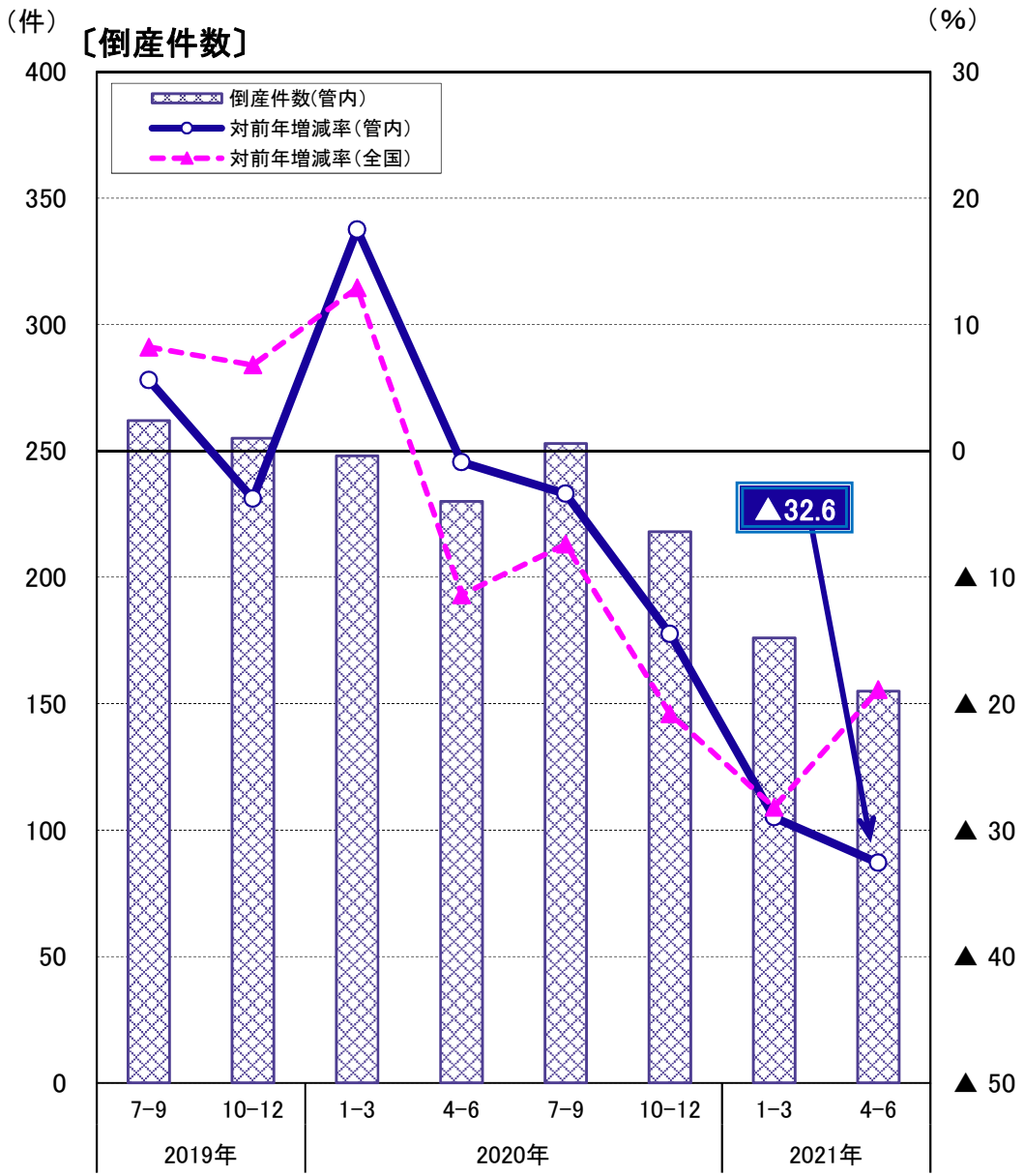
前払金保証請負金額でみると、県は増加しているものの、市町村、独立行政法人等が減少していることなどから、前年並みとなっている。



【出所】北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱

9. 企業倒産　～件数は前年を下回っている～

企業倒産件数は、前年を下回っている。



【出所】㈱東京商エリサーチ

2021 年 9 月 6 日

一般社団法人中部経済連合会

経済調査月報（2021 年 9 月）

≪ 内 容 ≫

Ⅰ　概況
　１．全体感
　２．要点総括
Ⅱ　主要経済指標
　１．生産等
　２．消費等
　３．設備投資等
　４．輸出入
　５．雇用
　６．企業倒産件数
　７．物価
　８．エネルギー需要
　９．為替相場の推移
　１０．日経平均株価の推移
　１１．原油価格の推移
　１２．長短金利の推移
Ⅲ　国内各地域の概況
　１．地域別業況判断ＤＩ
　２．鉱工業生産指数
　３．有効求人倍率
Ⅳ　中部圏各県の経済概況
　１．景気動向と主なトピックス
　２．各県主要経済指標
Ⅴ　海外主要経済動向
　１．実質ＧＤＰ成長率
　２．鉱工業生産
　３．失業率
Ⅵ　トピックス
　１．最近の主な動き
　２．今後の公表予定
Ⅶ　特集
　１．2021 年 4-6 月期ＧＤＰについて
　２．内閣府「年央試算」について
　３．内閣府「中長期の財政試算」について

Ⅰ　概況　（注：情勢認識は、依拠する資料の公表時点に基づく。）

１．全体感

当地域の景気は、**緩やかに持ち直している**。

生産動向は、輸送機械が高水準で推移すると共に、生産用機械、電気機械の生産が緩やかに持ち直していること等から、全体においても**増加している**。

需要動向は、**個人消費が緩やかに持ち直している**。設備投資は概ね横ばいとなっている。住宅投資は下げ止まりの動きがみられ、輸出は、「自動車」「自動車部品」等が前年を上回るなど、増加している。雇用は需給の緩和に引き締まりの動きが見られる。

先行きについては、**景気は緩やかな回復基調をたどる**ものと考えられる。今後注視すべき点として、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国内外の経済の下振れリスクや金融市場の動向、中東・北朝鮮等の地政学リスク、およびバイデン政権下における米国の政策や米中対立の行方等の政治的要因などがあげられる。

２．要点総括（7 月）

項目	中部		全国		関東		関西	
	判断変化	基調判断	判断変化	基調判断	判断変化	基調判断	判断変化	基調判断
景気全般	→	緩やかに持ち直している	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している	→	厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	↗	**厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる**
生産	→	増加している	→	持ち直している	→	持ち直している	→	回復を続ける
設備投資	→	おおむね横ばいとなっている	→	持ち直している	→	前年度を上回る見込み	↗	**緩やかに増加している**
個人消費	→	緩やかに持ち直している	→	サービス支出を中心に弱い動きとなっている	→	持ち直しの動きで推移しているものの、弱い動きがみられる	→	一部に持ち直しの動きが続いているものの、弱含んでいる
住宅投資	→	下げ止まりの動きがみられる	→	底堅い動きとなっている	→	2 カ月連続で前年同月を下回った	↗	**持ち直しの動きがみられる**
輸出	→	増加している	→	緩やかな増加が続いている	→	4 カ月連続で前年同月を上回った	→	前年同月を上回った
雇用	→	需給の緩和に引き締まりの動きがみられる	→	感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人等の動きに底堅さもみられる	→	弱い動きとなっている	→	弱い動きとなっている

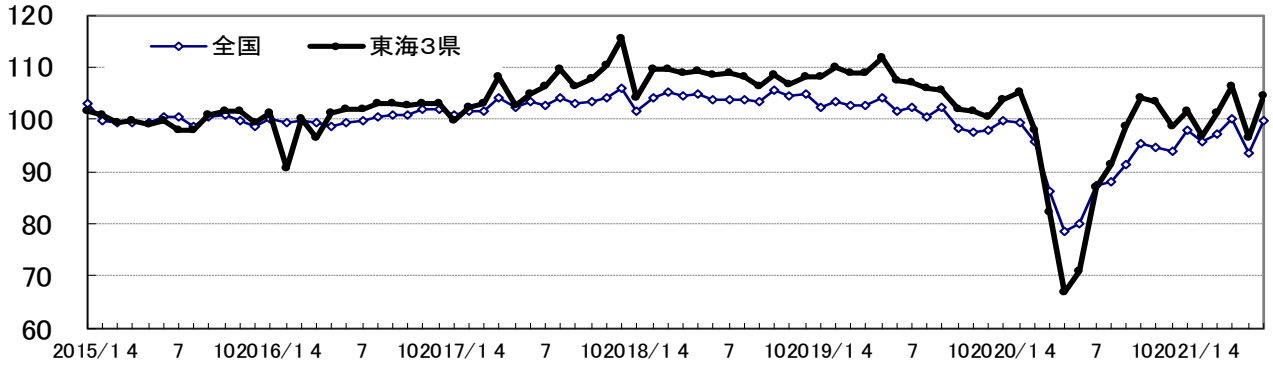
＊判断変化：基調判断の前回月報からの変化の方向を示す
↗：上方修正　　→：前回と同じ　　↘：下方修正

（資料）中部：中部経済産業局「最近の管内総合経済動向」（8 月 18 日）
全国：内閣府「月例経済報告」（8 月 26 日）
関東：関東経済産業局「管内の経済動向」（8 月 18 日）
関西：近畿経済産業局「近畿経済の動向」（8 月 25 日）

Ⅱ　主要経済指標

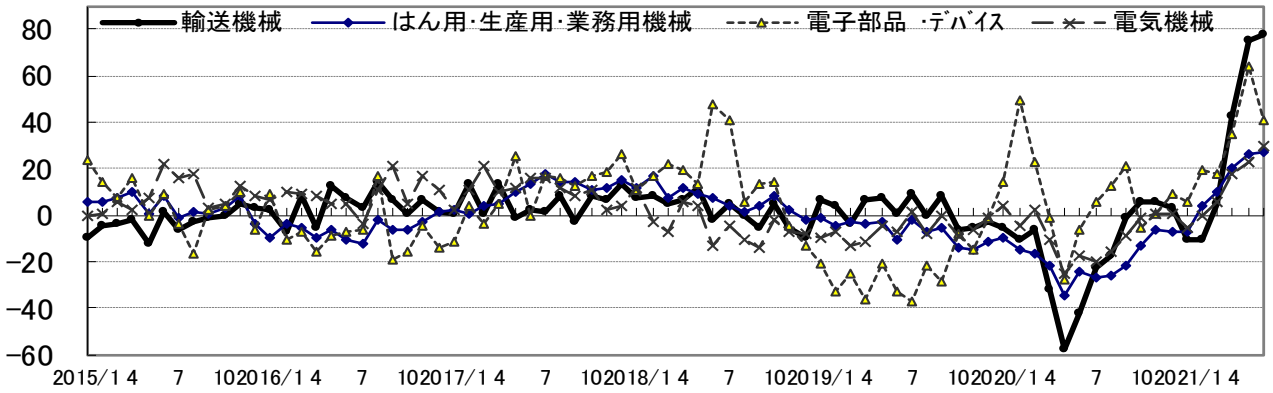
１．生産等

① 鉱工業生産指数（2015 年＝100）　　８月１８日



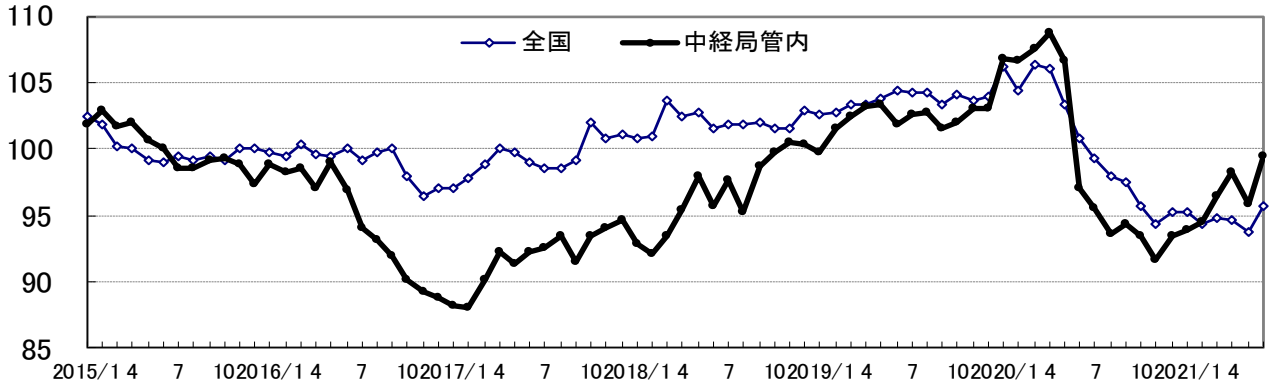
（資料）「管内鉱工業の動向」（中部経済産業局）、東海３県：愛知、岐阜、三重
「鉱工業生産・出荷・在庫指数」（経済産業省）

② 鉱工業生産指数 ≪主要業種≫　（東海３県、対前年同月比、％）　　８月１８日



（資料）「管内鉱工業の動向」（中部経済産業局）

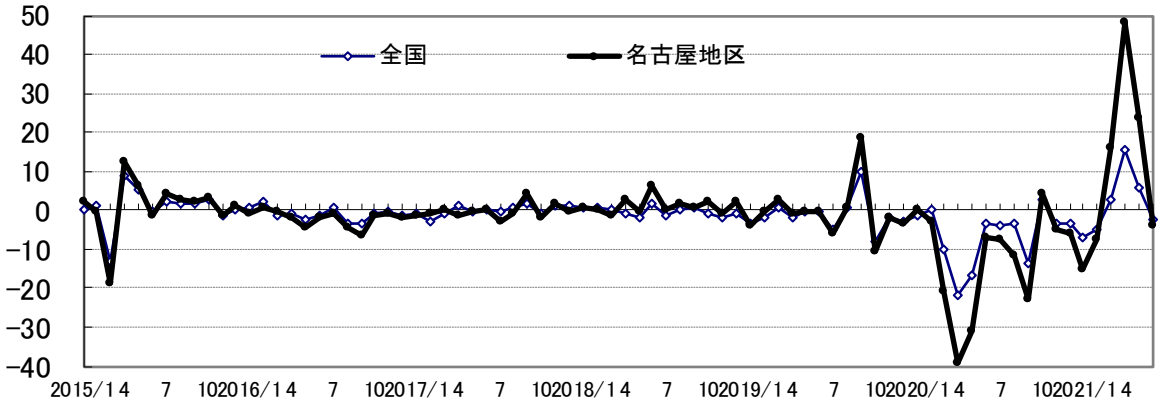
③ 鉱工業生産在庫指数（2015 年＝100）　　８月１８日



（資料）「管内鉱工業の動向」（中部経済産業局）、中経局管内：東海３県、富山、石川
「鉱工業生産・出荷・在庫指数」（経済産業省）

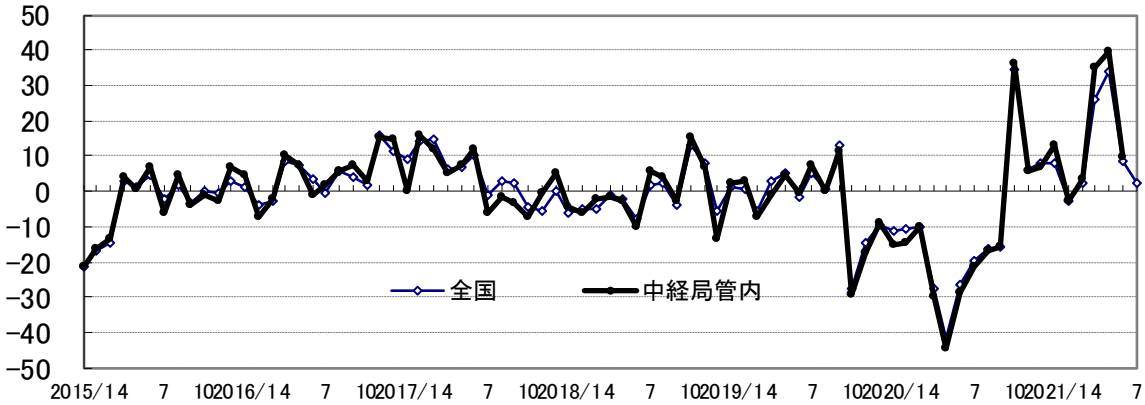
２．消費等

① 大型小売店販売[百貨店＋ｽｰﾊﾟｰ]（既存店、前年同月比、%）　　８月１８日



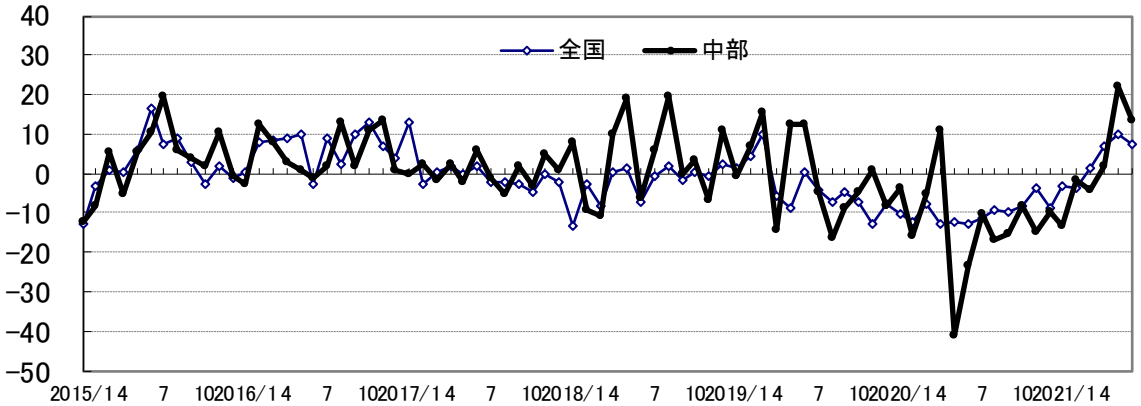
（資料）「管内大型小売店販売概況」（中部経済産業局）
「商業動態統計調査」（経済産業省）

② 乗用車新規登録台数（除く軽、前年同月比、%）　　８月２０日



（資料）中部経済産業局資料

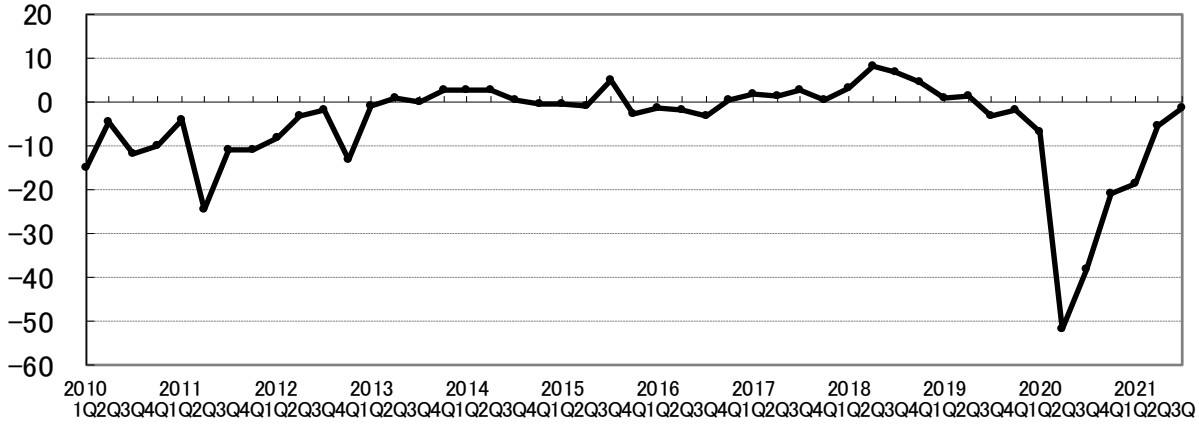
③ 新設住宅着工戸数（前年同月比、%）　　７月３０日



（資料）「建築着工統計調査報告」（国土交通省）
中部：岐阜、静岡、愛知、三重

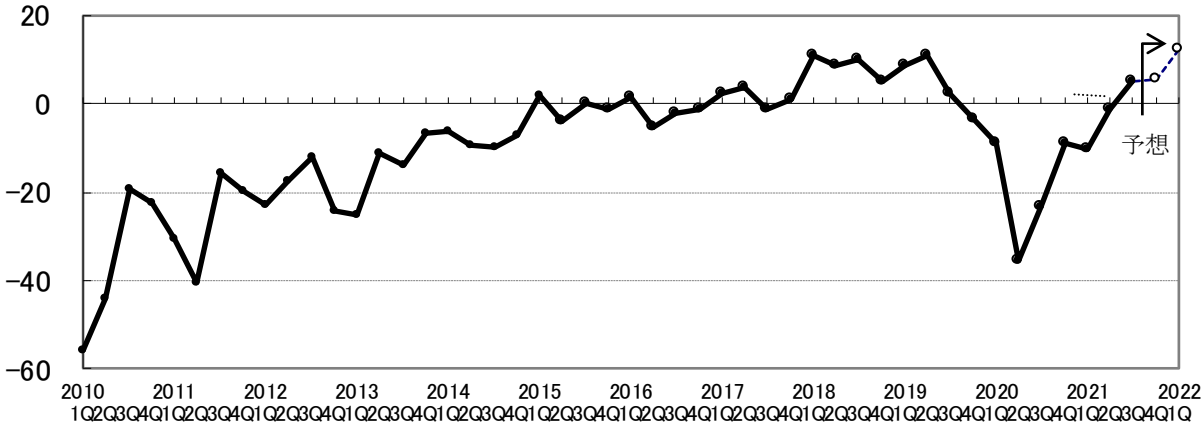
３．設備投資等

① 設備投資計画判断　（「積み増し」－「縮小･繰り延べ」社数構成比）　９月２日



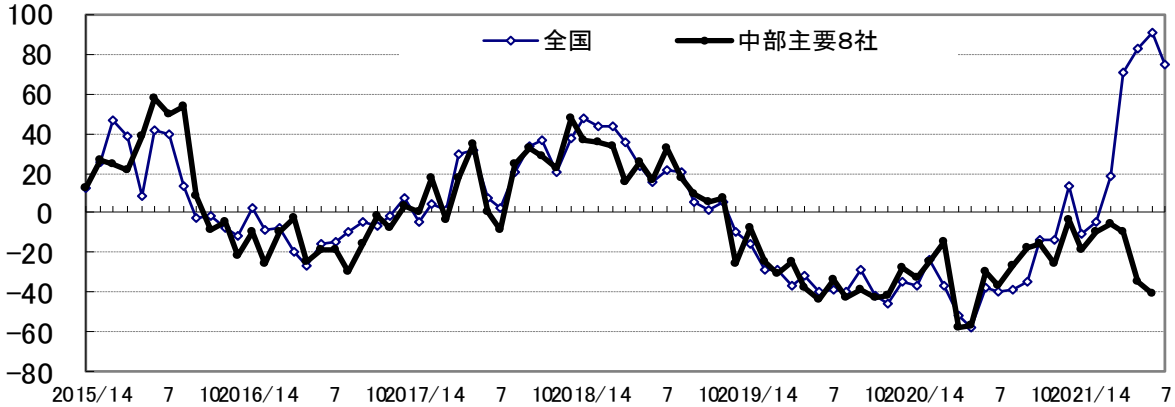
（資料）本会アンケート調査（9 月）

② 製造業・機械設備水準判断　（「不足」－「過剰」社数構成比）　９月２日



（資料）本会アンケート調査（9 月）

③ 工作機械受注　（内需、前年同月比、％）　８月１１日



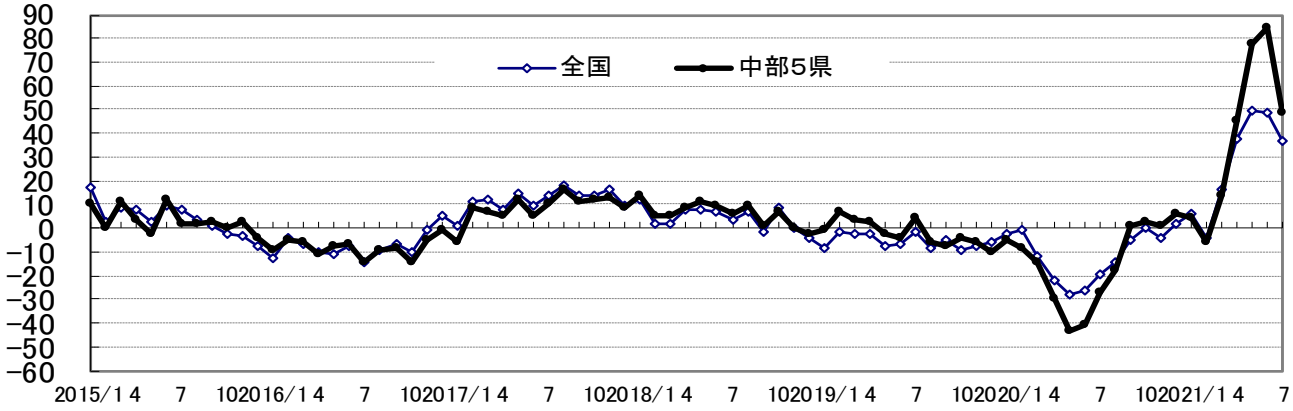
（資料）「金属工作機械受注状況」（中部経済産業局）(注)

「工作機械統計」（日本工作機械工業会）

(注) 中部経済産業局において数値内容について精査中のため、ご参考数値

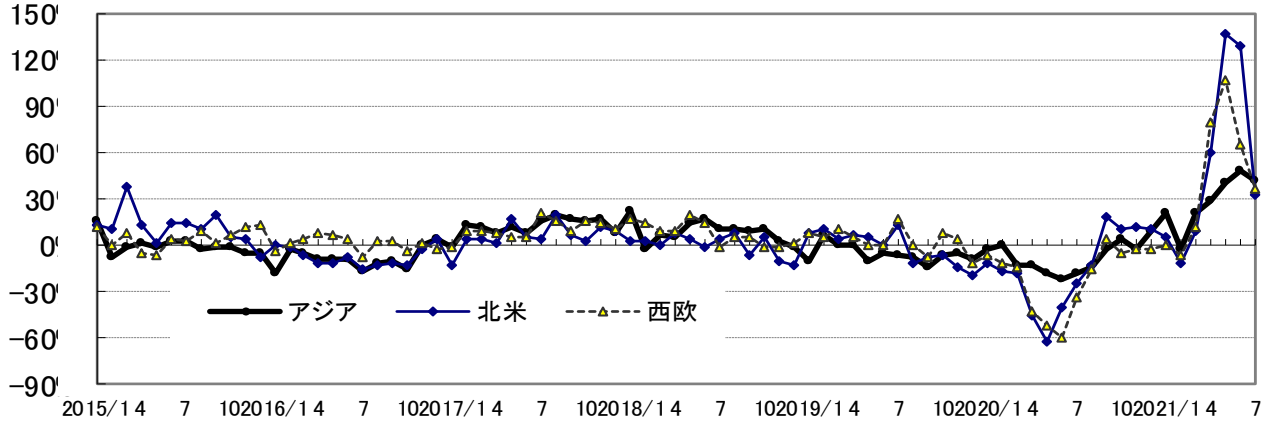
４．輸出入

① 通関輸出額　（対前年同月比、％）　　８月１９日



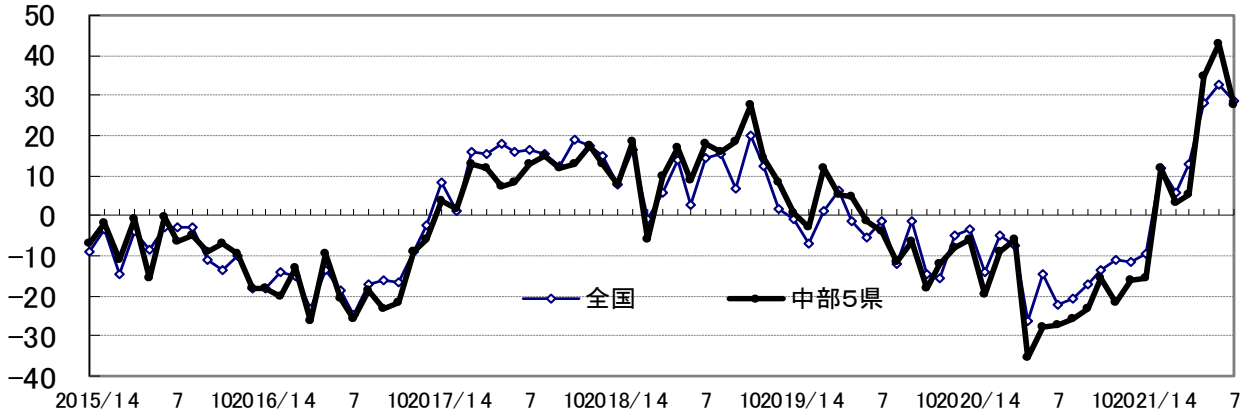
（資料）「管内貿易概況速報」（名古屋税関）
「貿易統計」（財務省）

② 通関輸出額 ≪相手先別≫　（中部５県、対前年同月比、％）　　８月１９日



（資料）「管内貿易概況速報」（名古屋税関）

③ 通関輸入額　（対前年同月比、％）　　８月１９日

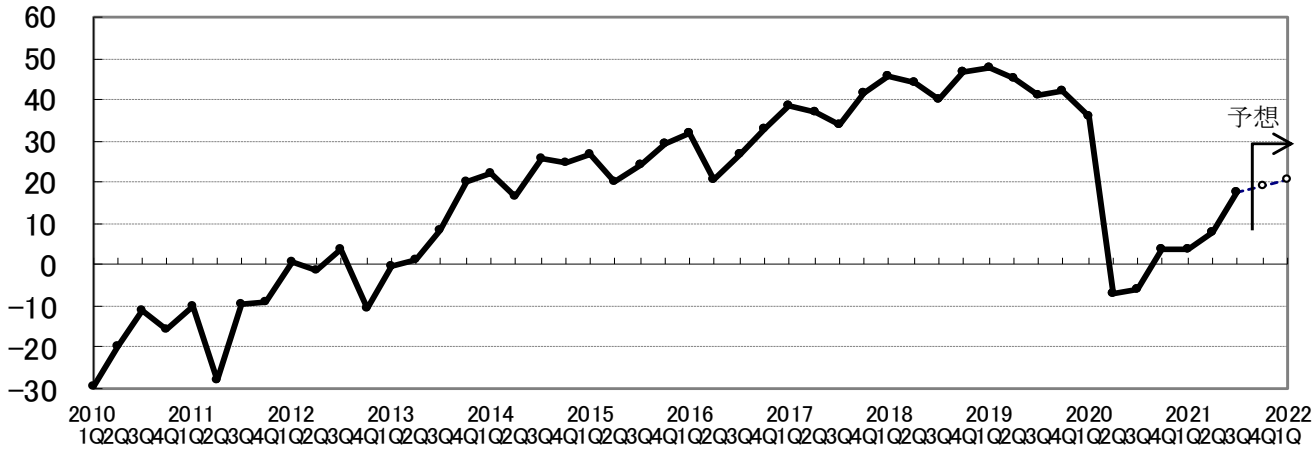


（資料）「管内貿易概況速報」（名古屋税関）
「貿易統計」（財務省）

５．雇用

① 雇用判断　（「不足」－「過剰」社数構成比）

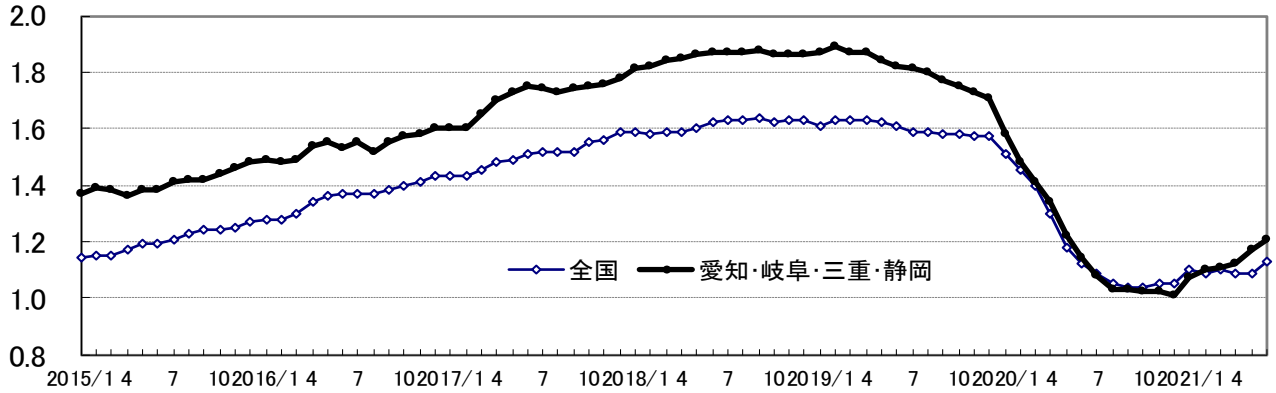
９月２日



（資料）本会アンケート調査（9 月）

② 有効求人倍率　（倍）

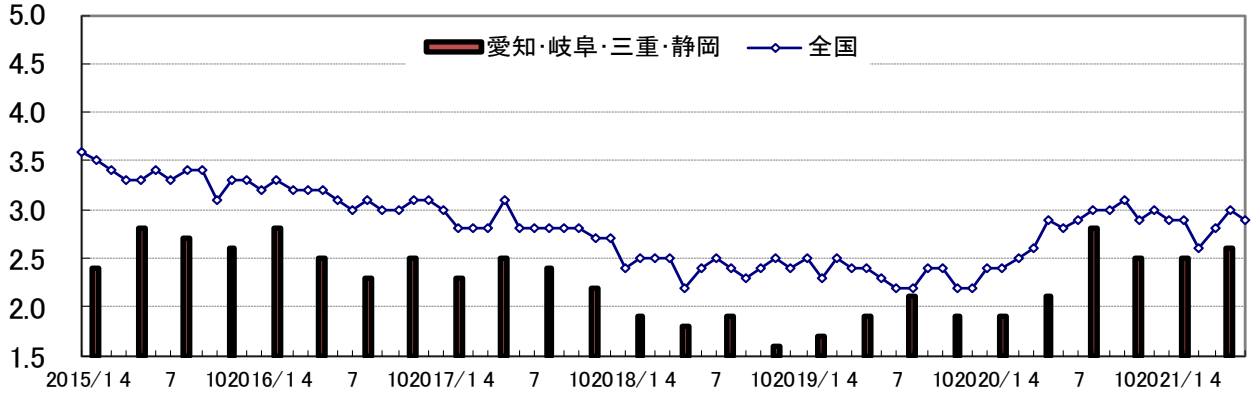
７月３０日



（資料）「一般職業紹介状況」（厚生労働省）

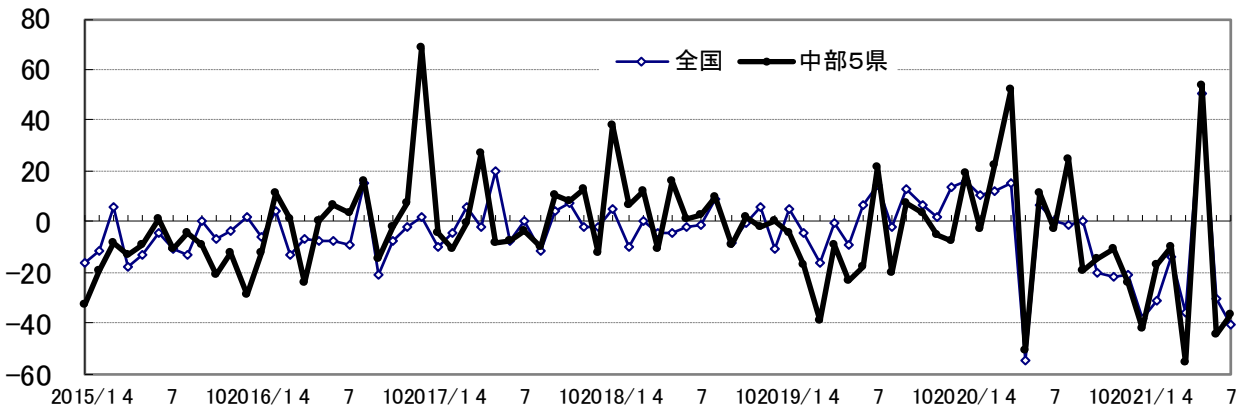
③ 完全失業率　（%）

７月３０日



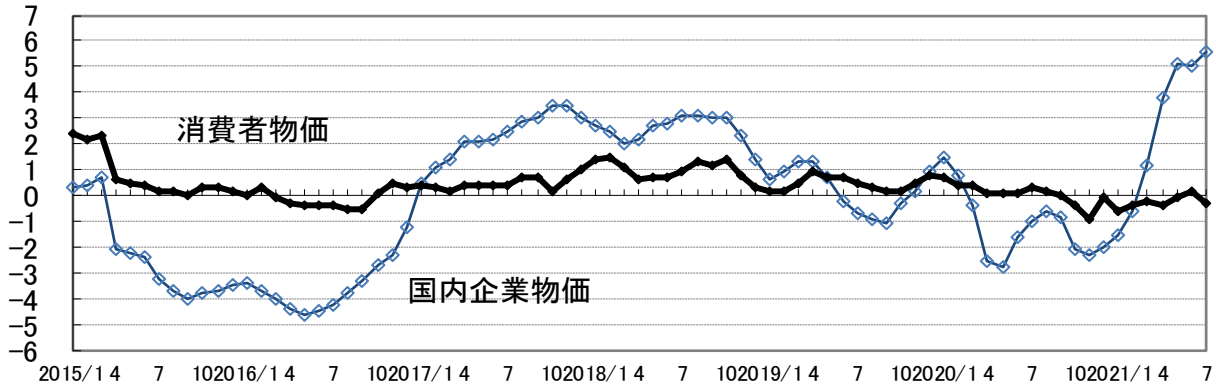
（資料）「労働力調査」（総務省）、東海は四半期データ

６．企業倒産件数　（前年同月比、％）　８月１０日



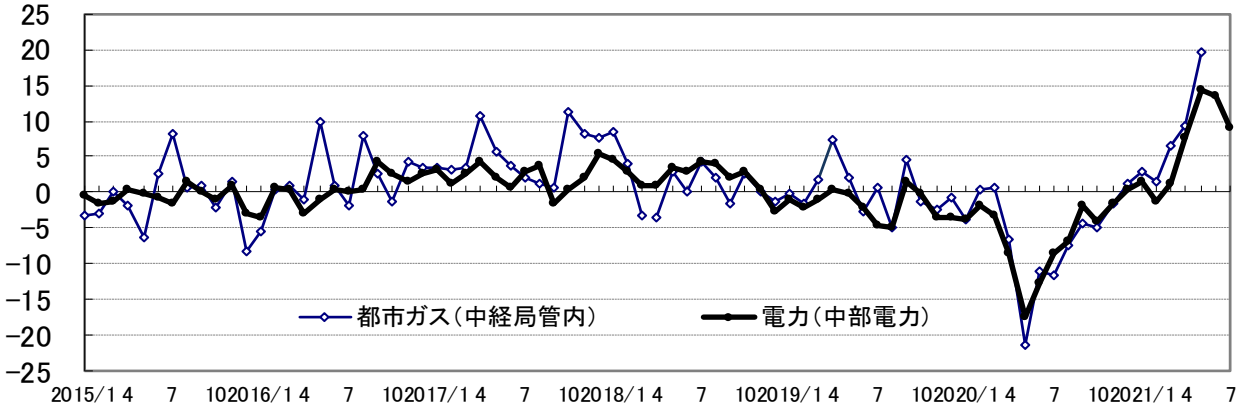
（資料）「中部地区の企業倒産動向」・「全国企業倒産状況」（東京商工リサーチ）

７．物価　（全国、前年同月比、％）　８月２０日



（資料）「消費者物価指数」（総務省統計局）、「企業物価指数」（日本銀行）

８．エネルギー需要　（前年同月比､％）　８月２３日



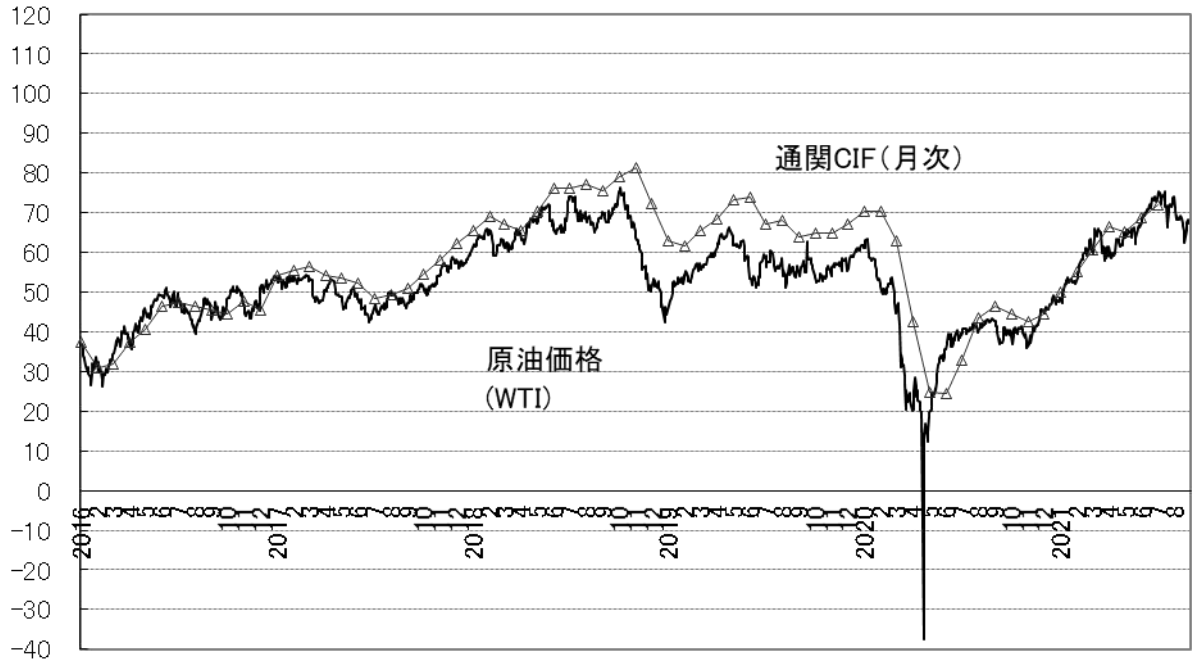
（資料）「電力」は高圧・特別高圧（中部電力）。

都市ガスは 2017 年 3 月まで「管内ガス統計」（中部経済産業局）　管内は愛知県･三重県・岐阜県･静岡県の一部。2017 年 4 月からは「ガス事業生産動態統計」（資源エネルギー庁）管内は愛知県・三重県・岐阜県・静岡県の一部、石川県・富山県であり、管内対象が異なるため、連続しない。

９．為替相場の推移　（日次、終値、円／ドル）　7 月平均 110.29 円／ドル

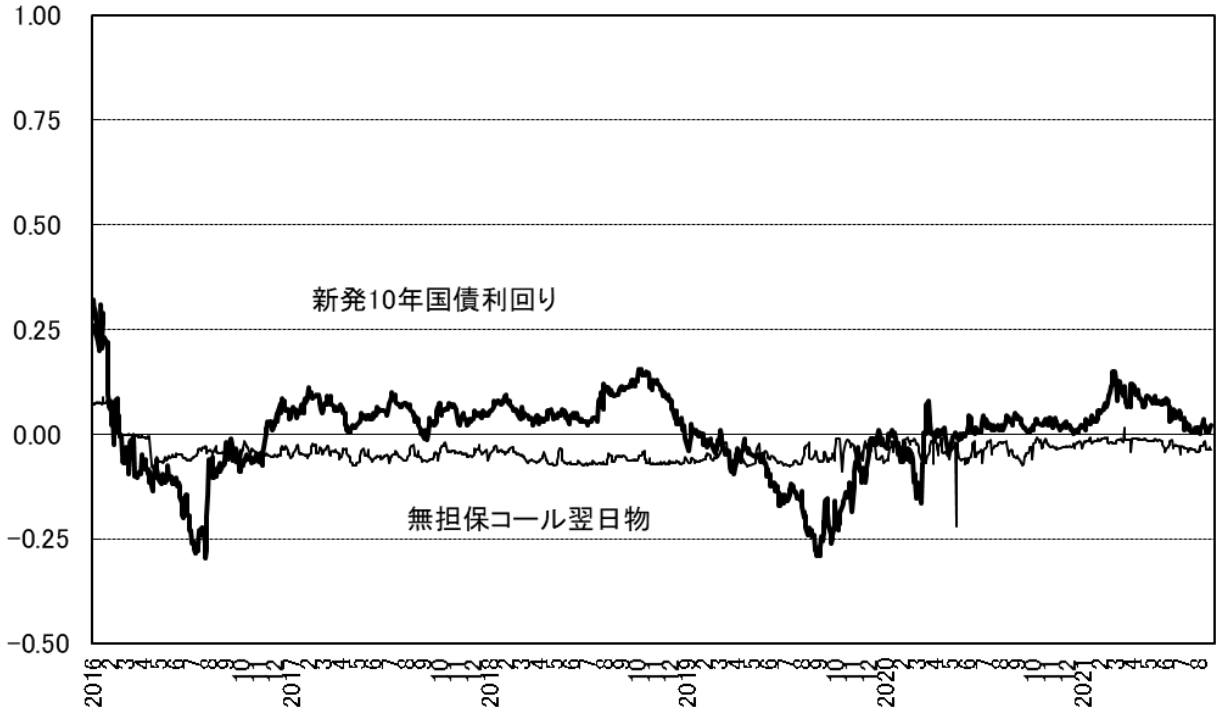
10．日経平均株価の推移　（日次、終値、円）　7 月平均 27,283.59 円

11. 原油価格の推移 (ﾄﾞﾙ/ﾊﾞﾚﾙ)



（注）原油価格（ＷＴＩ）で２０２０年４月に初めてマイナスが記録されている。

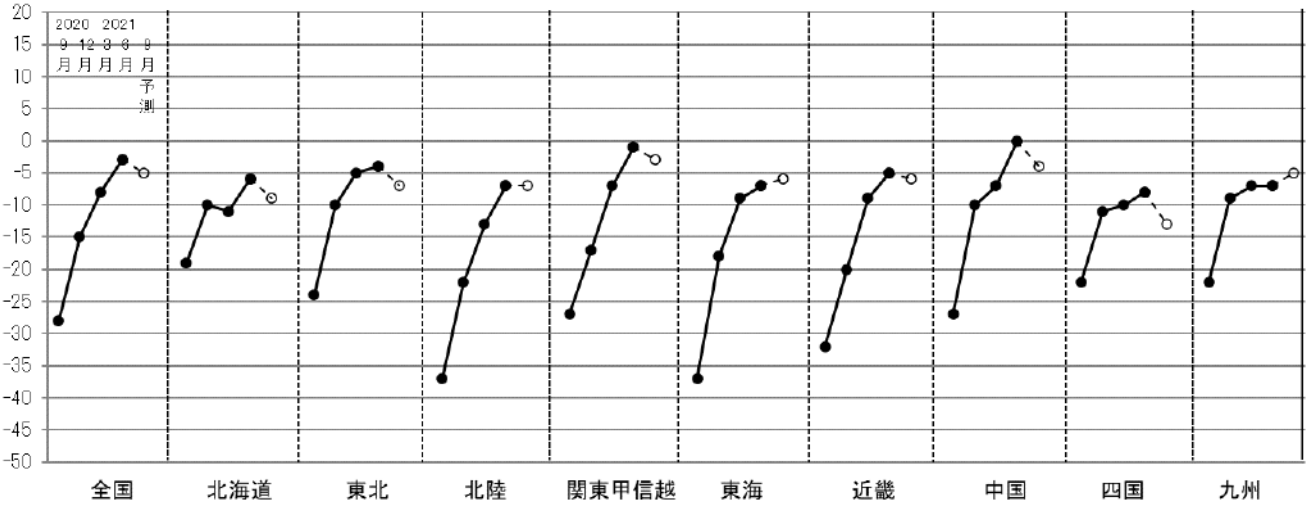
12. 長短金利の推移（日次、％）



（資料）９～１２．日本経済新聞「市場体温計」のデータを基に本会作成

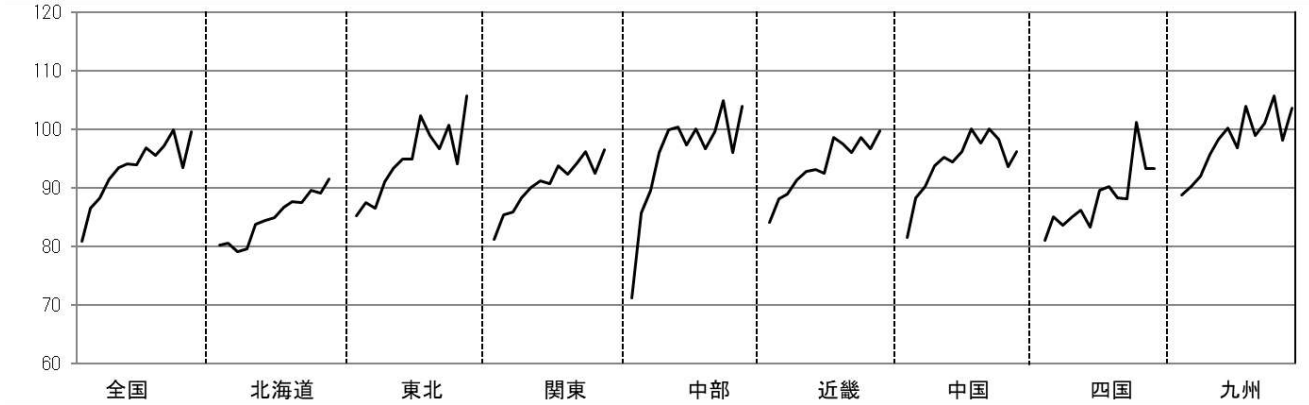
Ⅲ　国内各地域の概況

１．　地域別業況判断ＤＩ（日銀「短観」地域別業況判断ＤＩ（全産業）期間：2020 年 9 月～2021 年 9 月（予測））



【地域】東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島　北陸：富山、石川、福井　関東甲信越：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野
東海：岐阜、静岡、愛知、三重　近畿：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山　中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国：徳島、香川、愛媛、高知　九州：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

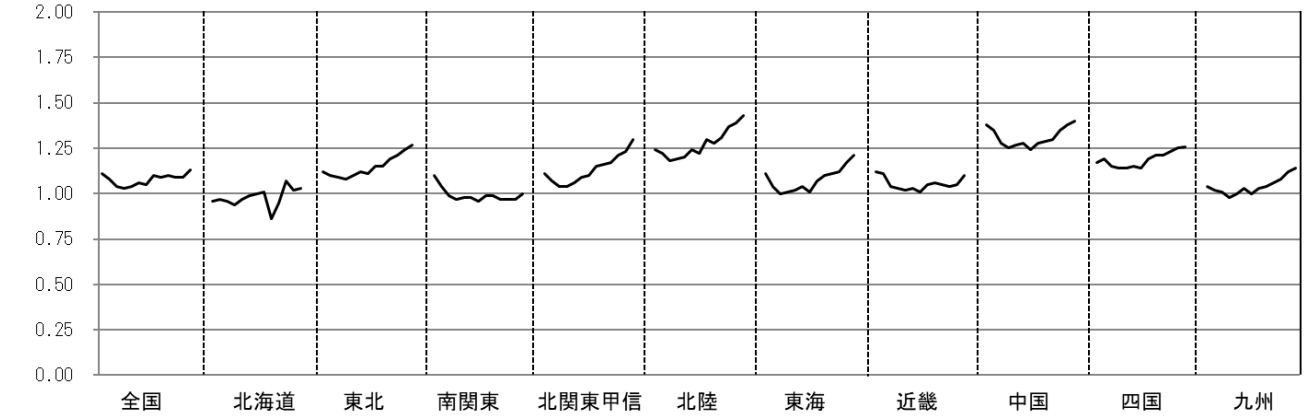
２．鉱工業生産指数　（期間：2020 年 6 月～2021 年 6 月）



（資料）鉱工業指数（経済産業省、各経済産業局）　2015 年＝100

【地域】東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島　関東：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡
中部：愛知、岐阜、三重、富山、石川　近畿：福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山　中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国：徳島、香川、愛媛、高知　九州：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

３．有効求人倍率　（期間：2020 年 6 月～2021 年 6 月）



（資料）「一般職業紹介状況」（厚生労働省）

【地域】東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島　南関東：埼玉、千葉、東京、神奈川　北関東甲信：茨城、栃木、群馬、山梨、長野
北陸：新潟、富山、石川、福井　東海：岐阜、静岡、愛知、三重　近畿：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口　四国：徳島、香川、愛媛、高知 九州：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

Ⅳ　中部圏各県の経済概況

１．景気動向と主なトピックス（2021 年 7 月－8 月）

①長野県

（１）景気動向

・ 長野県経済は、一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しの動きが続いている。

・ 生産活動は、持ち直している。

－半導体関連・電子部品等では、ＩＴ関連財や自動車向けを中心に、生産は増加している。

－自動車関連では、生産は持ち直しの動きが続いている。

－機械・同関連部品等において、半導体関連や自動車関連の需要増加等を受け、工作機械や計器の生産が回復している。海外需要の動向等を受け、成形機の生産が持ち直しているほか、バルブの生産も下げ止まっている。

－食料品は、飲料を中心に生産は弱い状況が続いている。

・ 個人消費は、サービス消費に弱い動きがみられるものの、持ち直しつつある。大型小売店は、一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては持ち直しの動きが続いている。サービス消費は、弱い動きとなっている。

・ 設備投資は一部に慎重な動きがみられるものの、計画ベースでは増加見込みである。

・ 雇用・所得は、持ち直しに向けた動きがみられている。

（２）主なトピックス

・ 阿智昼神観光局（長野県阿智村）で、AR（拡張現実）を使った星空鑑賞サービスを開始。(7/28)

・ 長野県、信州大学と NTT 東日本はデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進するための人材育成に共同で取り組むと発表。(8/2)

・ 長野県は、使途を環境関連に限定したグリーンボンド（環境債）を 10 月に 100 億円発行する。同県によるグリーンボンド発行は、2020 年 10 月に続き 2 度目。(8/12)

②岐阜県

（１）景気動向

・ 岐阜県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況が見られるものの、持ち直している。

・ 生産活動は、緩やかに回復しつつある。

－自動車関連においては、自動車部品では持ち直しの動きに一服感がみられ、

自動車は持ち直しの傾向にあることから、全体では持ち直しつつある。

－はん用・生産用・業務用機械は、金属工作機械は持ち直しており、油圧機器、給排水栓類は緩やかな回復の傾向にあることから、全体では緩やかに回復しつつある。

－窯業・土石では、セラミックフィルタは弱い動きとなっている。タイルはおおむね横ばいとなっている。

・ 個人消費は、感染拡大の影響により、一部に厳しい状況があるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる。

百貨店・スーパー販売額は、主力の飲食料品が堅調であるものの、衣料品の弱い動きが続いていることから、全体では持ち直しのテンポが緩やかになっている。乗用車販売台数では、新型車投入の効果等により持ち直している。

・ 設備投資は、計画段階では減少見込みとなっている。

・ 雇用は、一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている。

（２）主なトピックス

・ 岐阜県は、岐阜大学に感染症教育の寄付講座を開くと発表。感染症の診療や対応に優れた専門家を育て、医療の充実につなげる。(7/30)

・ 岐阜県は、2020 年度一般会計の決算見込みを発表。コロナ対策費がかさみ歳入が 19 年度に比べ 27%増の 1 兆 429 億円、歳出は 25%増の 1 兆 142 億円と、いずれも過去最高となった。(8/3)

・ 政府は、岐阜県など 8 道県に緊急事態宣言を追加発令することを決定。期間は 8/27～9/12 まで。(8/25)

③静岡県

（１）景気動向

・ 静岡県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に厳しい状況があるものの、持ち直しの動きが見られる。

・ 生産活動は、一部に弱さがみられるものの、着実に持ち直している。

－自動車関連は、四輪車は、国内外の需要が堅調である一方、半導体不足の影響により、減産の動きが続いている。オートバイは、新型車投入の効果などにより、輸出向けを中心に緩やかに回復しつつある。

－パルプ、紙、紙加工品は、おおむね横ばいとなっている。

－はん用・生産用・業務用機械工業は、海外受注が増加基調にあることから、持ち直している。

・ 個人消費は、感染拡大の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている。スーパー販売は内食需要が引き続き好調であることから、回復しつつある。ド

ラッグストア販売は、新規出店に加え、飲食料品が好調であることから、引き続き増加している。

・ 設備投資は、計画ベースでは増加見込みとなっている。
・ 雇用は、一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きが続いている。

（２）主なトピックス

・ 国土交通省 甲府河川国道事務所は、中部横断自動車道の山梨―静岡間（74.3キロメートル）が 8 月 29 日に全線開通することを発表。(7/21)
・ 静岡市など静岡県中部 7 市町の首長は、「しずおか中部連携中枢都市圏」の会議を開催。2026 年度に向けた新たな地域連携ビジョンを 21 年度内に策定することで合意した。(7/30)
・ 政府は、緊急事態宣言の対象地区に静岡県など 7 府県を追加することを発表。期間は 8/20～9/12 まで。(8/17)

④愛知県

（１）景気動向

・ 愛知県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きがみられる。
・ 生産活動は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直している。
  －自動車関連は、一部に弱い動きがみられるものの、需要は堅調に推移していることから、引き続き持ち直している。
  －はん用・生産用・業務用機械は、海外受注が増加していることから、緩やかに持ち直している。
・ 個人消費は、感染拡大の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている。スーパー販売は主力の飲食料品が内食需要を中心に堅調なことから、全体では堅調となっている。乗用車販売は、新型車効果等により持ち直している。
・ 設備投資は、計画ベースでは増加見込みとなっている。
・ 雇用は、輸送用機械など一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている。

（２）主なトピックス

・ 政府は、愛知県に新型コロナウイルスの「まん延防止等重点措置」を適用すると決定した。期間は 8 月 8 日～31 日。(8/5)
・ 全日本空輸（ANA）と日本航空（JAL）は、8/6～8/15 のお盆期間中の中部国際空港の利用実績を発表。国内線の搭乗率は前年より上昇したものの、新型コロナウイルス感染拡大前の 2019 年比でほぼ半分の水準にとどまった

（搭乗率は 2019 年度比 ANA▲36.2 ポイント、JAL▲47.7 ポイント）。(8/16)

・ 政府は、愛知県など 8 道県に緊急事態宣言を発令することを決定。期間は 8/27～9/12 まで。(8/25)

⑤三重県

（１）景気動向

・ 三重県経済は、一部に厳しい状況があるものの、持ち直している。

・ 生産活動は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直している。

－電子部品・デバイスは、半導体集積回路（メモリ）は、スマートフォン向けが持ち直していることから、増加している。液晶表示装置は、スマートフォン向けで弱い動きとなっている。

－自動車関連は、一部に弱い動きがみられるものの、需要は堅調に推移していることから、引き続き持ち直している。

－はん用・生産用・業務用機械は、海外受注が増加していることから、緩やかに持ち直している。

・ 個人消費は、感染症の影響により、持ち直しのテンポが緩やかになっている。百貨店・スーパー販売は、スーパーでは主力の飲食料品が内食需要を中心に堅調なことから、全体では堅調となっている。主要観光施設の入込客は、一部に持ち直しの動きがあるものの、厳しい状況が続いている。

・ 設備投資は、計画ベースでは増加見込みとなっており、持ち直しつつある。

・ 雇用は、一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きが続いている。

（２）主なトピックス

・ 三重県多気町で大規模リゾート施設が全面開業した。戸建て宿泊施設 6 棟と 155 室のホテルが営業開始。(7/20)

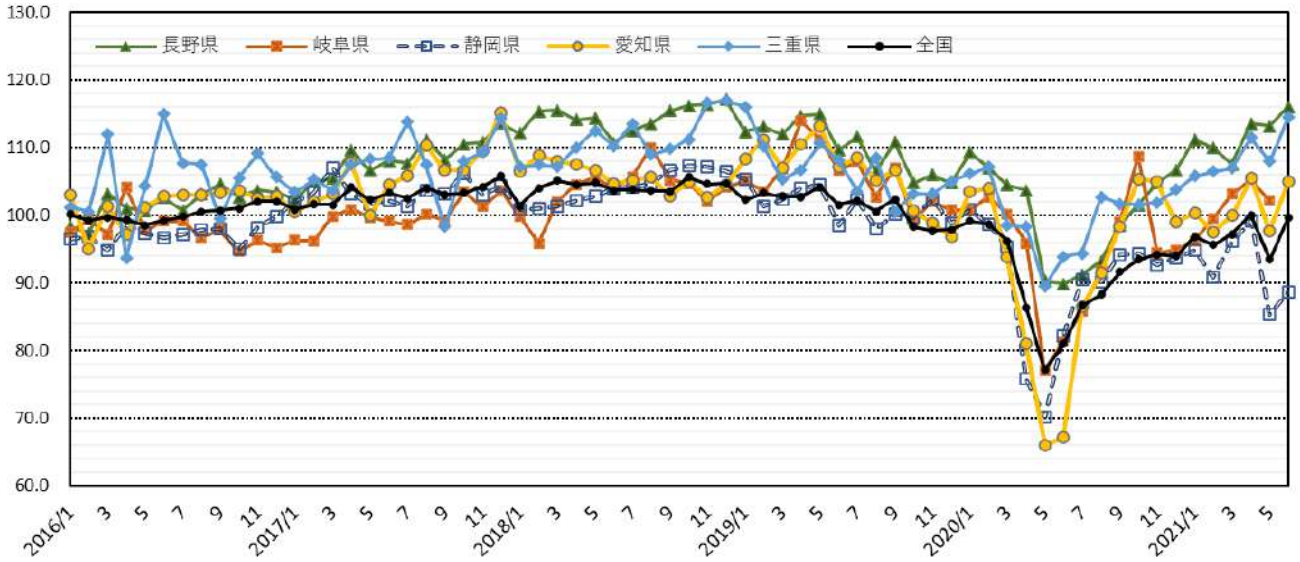
・ 政府は、三重県など 8 道県に緊急事態宣言を追加発令することを決定。期間は 8/27～9/12 まで。(8/25)

・ 三重県とスポーツ庁などは、第 76 回国民体育大会（三重とこわか国体、9 月 25 日～10 月 5 日）を中止することを合意。（翌 26 日に）日本スポーツ協会の国体委員会で正式決定。(8/25)

２．各県主要経済指標

① 鉱工業生産指数（2015 年＝100）

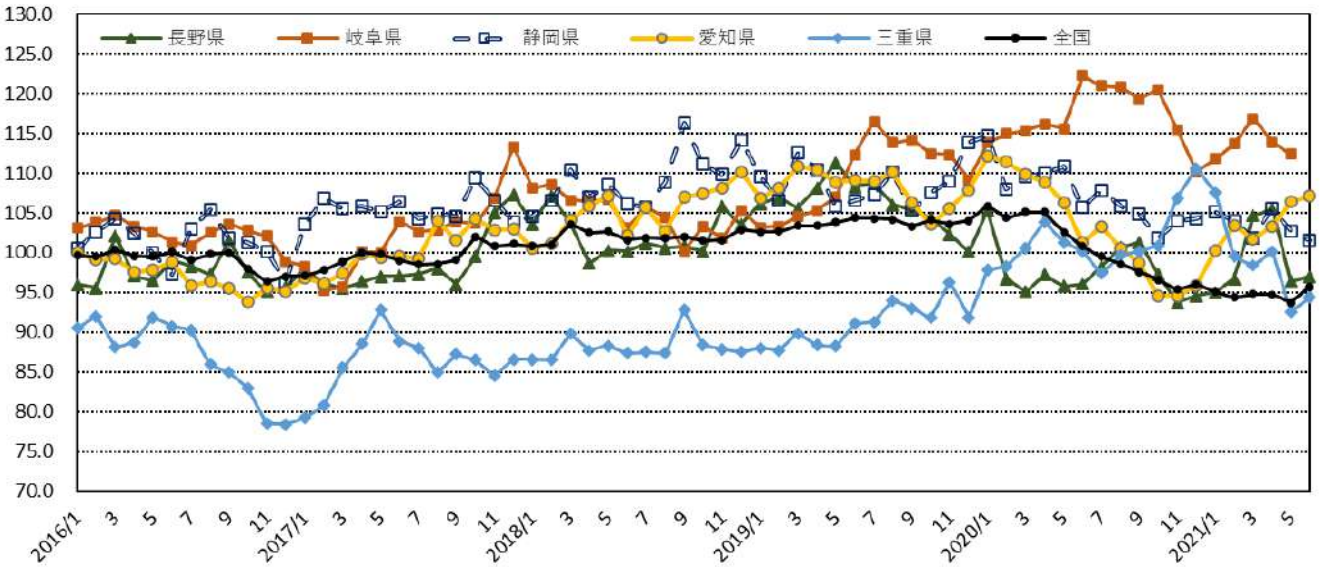
８月２７日



（資料）「鉱工業生産指数」（経済産業省）、各県 HP

② 鉱工業在庫指数（2015 年＝100）

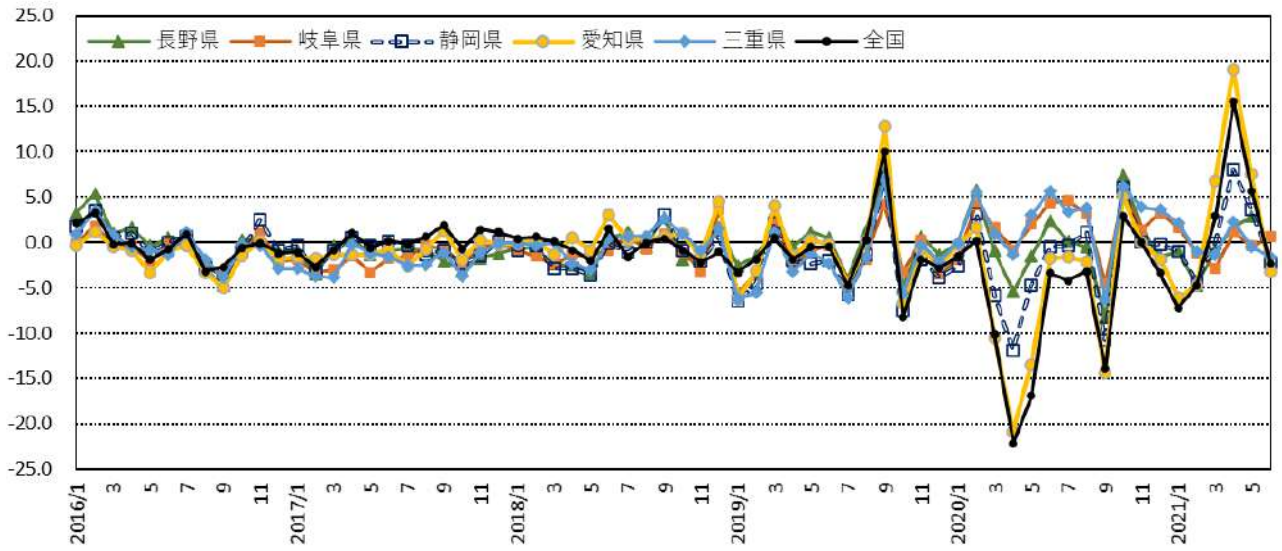
８月２７日



（資料）「鉱工業生産指数」（経済産業省）、各県 HP

③ 大型小売店販売額（既存店、前年同月比、%）

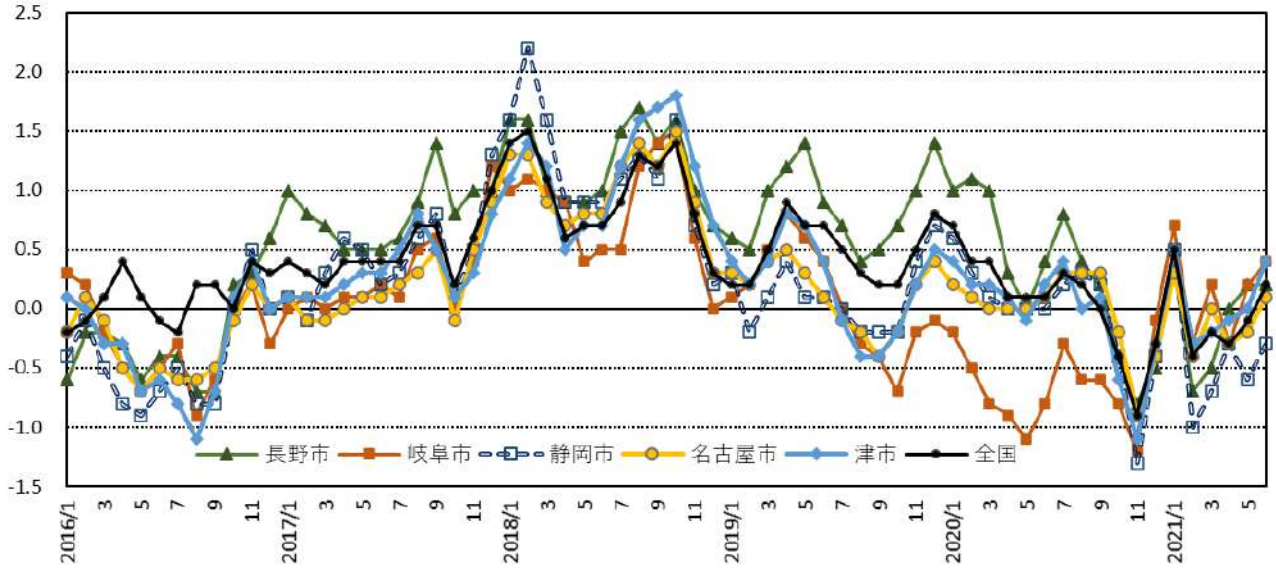
８月１６日



（資料）「商業動態統計調査月報」（経済産業省）

④ 消費者物価指数（前年同月比、%　2015 年＝100）

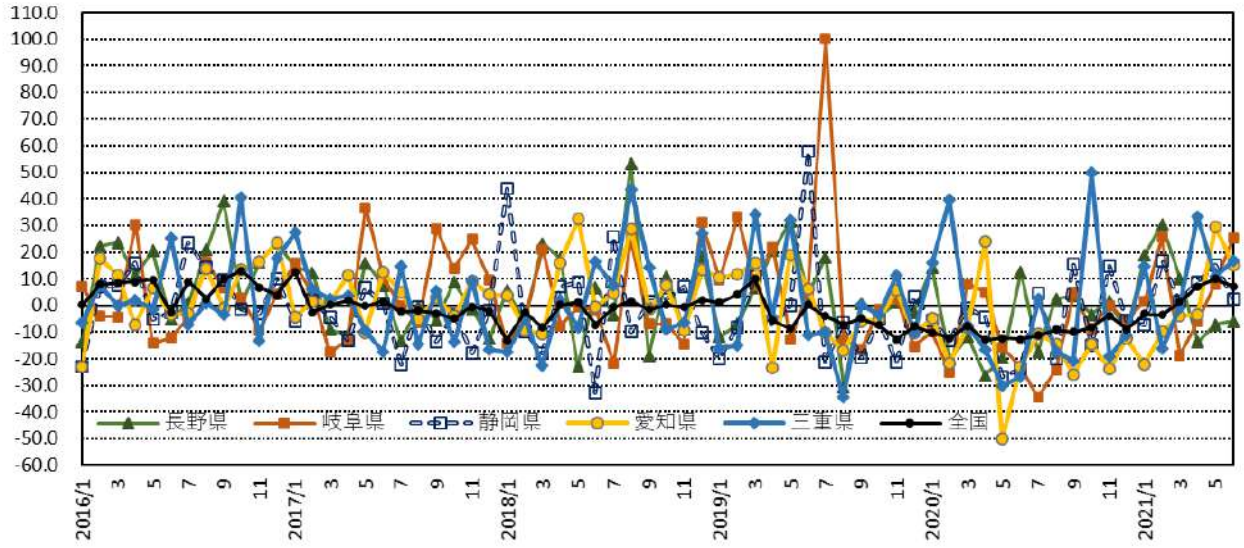
７月２０日



（資料）「消費者物価指数」（経済産業省）

⑤ 新設住宅着工戸数（前年同月比、%）

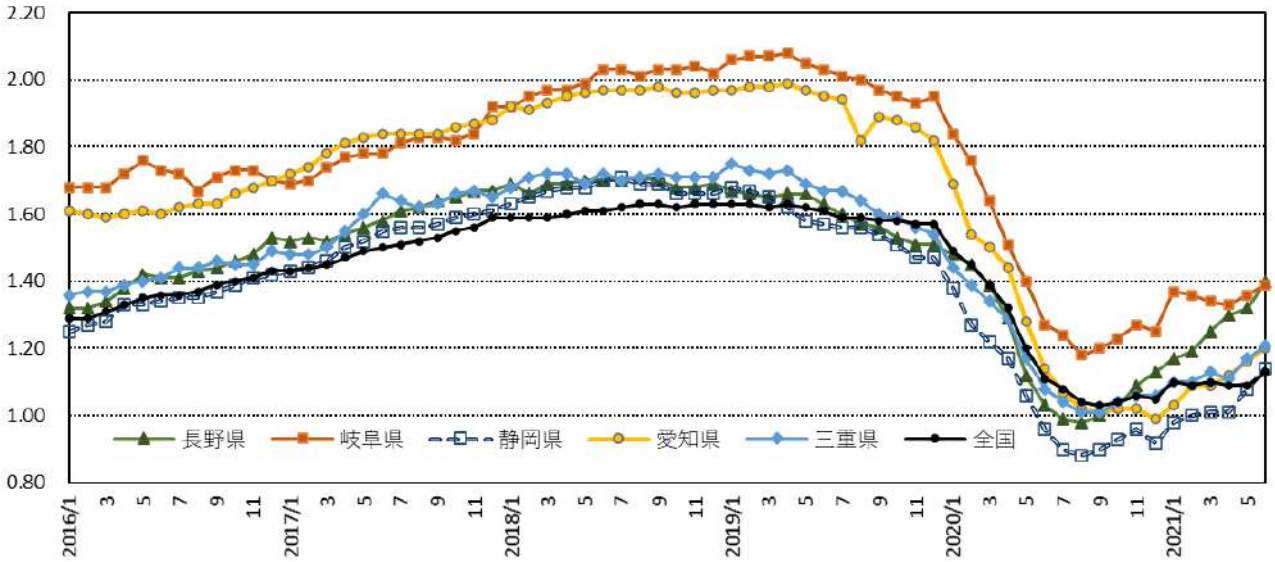
７月３０日



（資料）「建築着工統計調査報告」（国土交通省）

⑥ 有効求人倍率（倍）

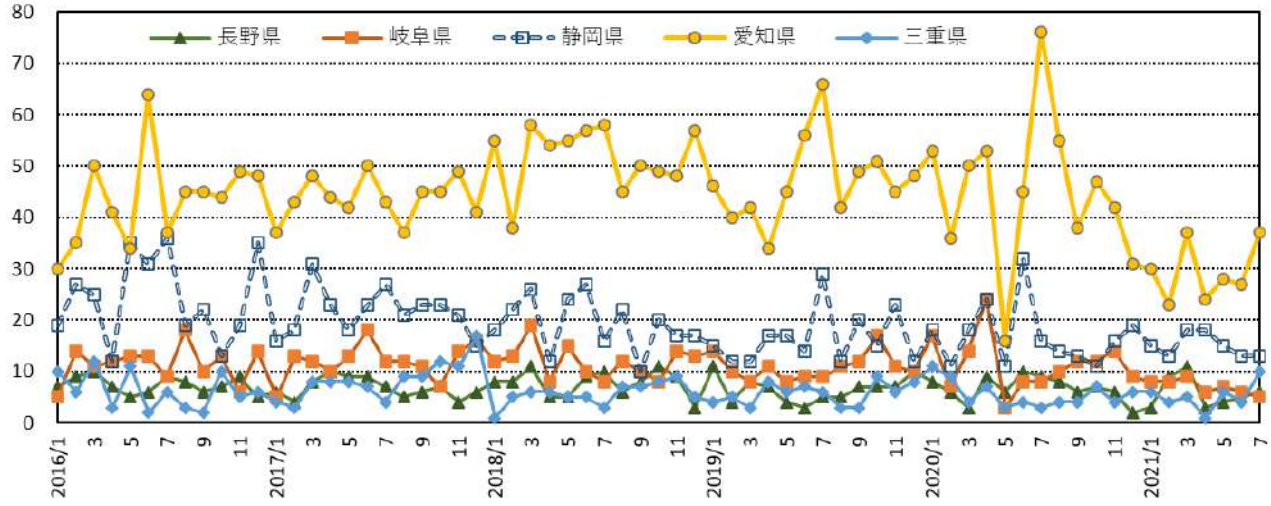
７月３０日



（資料）「一般職業紹介状況」（厚生労働省）

⑦ 企業倒産件数（件）

８月１０日



（資料）「全国企業倒産状況」（東京商工リサーチ）

⑧ 延べ宿泊者数（千人泊）

７月３０日

		2020年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年1月	2月	3月	4月	5月
全国	宿泊者数	7,785	14,241	21,578	26,149	26,021	32,413	34,501	27,864	17,289	17,634	27,993	22,444	22,444
中部圏	宿泊者数	1,027	1,965	3,052	4,124	3,873	4,623	4,895	4,059	2,489	2,426	3,992	3,219	3,154
	全国シェア（%）	13.2%	13.8%	14.1%	15.8%	14.9%	14.3%	14.2%	14.6%	14.4%	13.8%	14.3%	14.3%	14.1%
長野県	宿泊者数	155	395	671	1,038	1,010	1,241	1,052	796	584	654	951	583	693
	全国シェア（%）	2.0%	2.8%	3.1%	4.0%	3.9%	3.8%	3.0%	2.9%	3.4%	3.7%	3.4%	2.6%	3.1%
岐阜県	宿泊者数	83	187	264	325	368	388	504	348	241	224	358	285	276
	全国シェア（%）	1.1%	1.3%	1.2%	1.2%	1.4%	1.2%	1.5%	1.2%	1.4%	1.3%	1.3%	1.3%	1.2%
静岡県	宿泊者数	356	618	960	1,449	1,143	1,321	1,538	1,375	715	703	1,222	1,070	1,096
	全国シェア（%）	4.6%	4.3%	4.4%	5.5%	4.4%	4.1%	4.5%	4.9%	4.1%	4.0%	4.4%	4.8%	4.9%
愛知県	宿泊者数	310	535	777	817	902	1,094	1,141	1,011	663	588	1,002	932	770
	全国シェア（%）	4.0%	3.8%	3.6%	3.1%	3.5%	3.4%	3.3%	3.6%	3.8%	3.3%	3.6%	4.2%	3.4%
三重県	宿泊者数	124	231	381	495	450	580	660	529	286	258	459	349	319
	全国シェア（%）	1.6%	1.6%	1.8%	1.9%	1.7%	1.8%	1.9%	1.9%	1.7%	1.5%	1.6%	1.6%	1.4%

（資料）観光庁「宿泊旅行統計調査」

⑨ 外国人延べ宿泊者数（千人泊）

７月３０日

		2020年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年1月	2月	3月	4月	5月
全国	宿泊者数	203	129	179	226	219	185	266	434	504	458	207	264	225	242
中部圏	宿泊者数	12	8	12	22	23	15	19	22	38	41	24	24	18	23
	全国シェア（%）	6.0%	6.4%	6.9%	9.9%	10.7%	8.1%	7.2%	5.2%	7.6%	8.9%	11.8%	9.2%	7.9%	9.6%
長野県	宿泊者数	1	1	1	2	2	2	7	4	11	7	7	6	2	5
	全国シェア（%）	0.7%	0.7%	0.8%	0.7%	1.1%	1.2%	2.5%	1.0%	2.2%	1.6%	3.2%	2.4%	0.7%	1.9%
岐阜県	宿泊者数	1	0	1	0	1	1	1	3	1	6	2	2	1	1
	全国シェア（%）	0.5%	0.2%	0.4%	0.2%	0.4%	0.5%	0.3%	0.8%	0.3%	1.3%	0.7%	0.9%	0.5%	0.5%
静岡県	宿泊者数	4	4	4	5	6	6	4	6	9	6	5	5	5	6
	全国シェア（%）	2.0%	3.0%	2.5%	2.1%	2.7%	3.3%	1.5%	1.3%	1.8%	1.4%	2.6%	1.9%	2.3%	2.6%
愛知県	宿泊者数	4	2	4	7	6	5	6	8	14	17	9	10	9	10
	全国シェア（%）	2.0%	1.8%	2.3%	3.0%	2.6%	2.7%	2.3%	1.8%	2.8%	3.6%	4.1%	3.9%	4.1%	4.3%
三重県	宿泊者数	1	1	2	9	9	1	1	1	3	5	2	1	0	1
	全国シェア（%）	0.7%	0.7%	0.9%	3.8%	3.9%	0.4%	0.5%	0.3%	0.5%	1.0%	1.1%	0.2%	0.2%	0.3%

（資料）観光庁「宿泊旅行統計調査」

Ⅴ　海外主要経済動向

１．実質ＧＤＰ成長率（%）

		2018年	2019年	2019年				2020年				2021年	
				1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月
日　本	前期比年率	0.6	0.0	1.2	0.8	0.5	▲ 7.5	▲ 2.3	▲ 28.2	22.8	11.9	▲ 3.7	1.3
アメリカ	前期比年率	3.0	2.2	2.9	1.5	2.6	2.4	▲ 5.0	▲ 31.4	33.4	4.3	6.4	6.5
ユーロ圏	前期比年率	1.9	1.3	1.9	0.8	0.9	0.4	▲ 7.7	▲ 33.5	39.6	2.2	▲ 6.6	6.1
ドイツ	前期比年率	1.3	0.6	2.5	▲ 2.0	1.2	▲ 0.1	▲ 21.2	▲ 44.2	97.4	▲ 5.4	1.8	3.8
フランス	前期比年率	1.8	1.5	2.1	1.0	0.7	▲ 0.7	▲ 10.9	▲ 57.9	87.1	5.2	▲ 5.9	－
イギリス	前期比年率	1.3	1.4	2.2	0.6	2.0	0.1	▲ 14.2	▲ 38.8	60.3	▲ 2.7	▲ 2.5	8.0
中　国	前年同期比	6.7	6.0	6.5	6.3	6.0	5.9	2.9	1.4	▲ 7.8	▲ 3.5	▲ 1.8	－
韓　国	前期比年率	2.9	2.0	▲ 1.4	4.1	1.5	5.4	5.8	▲ 6.8	3.2	4.9	6.5	7.9
ブラジル	前年同期比	1.8	1.4	1.7	1.2	1.5	1.3	▲ 5.0	▲ 12.0	8.8	5.0	6.6	2.7
ロシア	前年同期比	2.8	2.0	3.2	1.3	1.2	2.6	2.9	3.0	▲ 24.4	▲ 7.4	0.5	－
インド	前年同期比	6.5	4.0	6.3	5.8	5.4	4.6	3.3	▲ 0.3	▲ 10.9	▲ 3.9	▲ 1.1	－

２．鉱工業生産（前年同月比、%）

	2018年	2019年	2020年						2021年					
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
日　本	1.1	▲ 3.0	▲ 15.9	▲ 14.0	▲ 9.1	▲ 3.4	▲ 4.1	▲ 2.9	▲ 5.3	▲ 2.0	3.4	15.8	21.1	22.6
アメリカ	3.9	0.8	▲ 6.7	▲ 6.6	▲ 7.0	▲ 4.9	▲ 4.9	▲ 3.4	▲ 1.8	▲ 5.2	1.3	17.7	―	―
ユーロ圏	0.8	▲ 1.3	▲ 6.9	▲ 7.0	▲ 6.5	▲ 3.7	▲ 0.6	▲ 0.1	0.3	▲ 1.8	11.7	39.4	20.5	―
ドイツ	1.0	▲ 4.3	▲ 11.0	▲ 10.8	▲ 8.3	▲ 4.1	▲ 3.6	▲ 1.0	▲ 3.1	▲ 6.6	5.5	33.8	20.2	―
フランス	0.6	0.6	▲ 8.7	▲ 8.2	▲ 6.8	▲ 4.5	▲ 5.3	▲ 3.2	0.2	▲ 6.3	14.0	45.3	21.1	―
イギリス	0.8	▲ 1.1	▲ 6.4	▲ 5.2	▲ 5.6	▲ 4.0	▲ 2.6	▲ 2.1	▲ 9.2	▲ 5.9	5.1	24.9	19.0	―
中　国	6.1	5.8	4.8	5.6	6.9	6.9	7.0	7.3	－	－	14.1	9.8	8.8	8.3
韓　国	1.5	0.3	▲ 2.9	▲ 3.7	7.3	▲ 2.8	0.1	2.6	7.8	0.9	4.6	12.2	14.9	11.9
ブラジル	1.0	▲ 1.1	▲ 2.6	▲ 2.4	3.8	0.4	2.5	8.3	2.4	0.3	10.5	34.7	24.1	―
ロシア	3.5	3.4	▲ 6.1	▲ 4.5	▲ 4.0	▲ 5.7	▲ 1.5	2.1	▲ 1.9	▲ 3.2	2.3	7.6	12.3	10.4
インド	5.2	0.7	▲ 10.5	▲ 7.1	1.0	4.5	▲ 1.6	2.2	▲ 0.9	▲ 3.2	24.1	134.6	29.3	―

３．失業率（%）

	2018年	2019年	2020年						2021年					
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
日　本	2.4	2.4	2.9	3.0	3.0	3.1	3.0	3.0	2.9	2.9	2.6	2.8	3.0	2.9
アメリカ	3.9	3.7	10.2	8.4	7.9	6.9	6.7	6.7	6.3	6.2	6.0	6.1	5.8	5.9
ユーロ圏	8.1	7.5	8.5	8.7	8.7	8.5	8.3	8.2	8.2	8.2	8.1	8.1	8.0	7.7
ドイツ	3.4	3.1	4.4	4.5	4.5	4.5	4.6	4.6	4.5	4.5	4.5	3.8	3.7	3.7
フランス	9.0	8.4	8.8	9.3	9.3	8.5	8.1	7.8	7.9	8.0	8.1	7.8	7.5	7.3
イギリス	4.1	3.8	4.5	4.8	4.9	5.0	5.1	5.0	4.9	4.8	4.8	4.8	―	―
韓　国	3.9	3.8	4.1	3.3	4.0	4.2	4.2	4.5	5.4	4.0	3.9	3.7	3.8	3.7
ブラジル	12.3	11.9	13.8	14.4	14.6	14.3	14.1	13.9	14.2	14.4	14.7	14.7	14.6	―
ロシア	4.8	4.6	6.3	6.4	6.3	6.3	6.1	5.9	5.8	5.7	5.4	5.2	4.9	4.8

（資料）１～３．外務省国際経済課「主要経済指標」

Ⅵ　トピックス

１．　最近の主な動き　＜7 月 14 日～8 月 25 日＞

・欧州連合（ＥＵ）欧州委員会は、温室効果ガス排出量の大幅削減に向けた包括案を公表。ハイブリッド車を含むガソリン車など内燃機関車の新車販売について 2035 年に事実上禁止する方針を打ち出した（7/14）

・アジア太平洋経済協力会議（APEC）の臨時首脳会議がオンラインで開催。菅首相は、新型コロナウイルスワクチンの公平な確保や、自由で公正な経済圏の拡大を説明（7/16）

・日銀は、金融政策決定会合において、脱炭素化に資する投融資を促す新たな資金供給制度の骨子素案を発表。投融資を行った金融機関に対し、金利０％で資金供給する。年内に実施予定（7/16）

・経済産業省は、国のエネルギー政策の方向性を定める「エネルギー基本計画」の改定案を公表。温室効果ガス排出削減に向け 2030 年度の電源構成を見直し、太陽光など再生可能エネルギーの比率を 36～38％、原子力を 20～22%とした（7/21）

・東京で第 32 回夏季オリンピック大会を開催。新型コロナウイルスの影響で近代五輪史上、初めて無観客で実施。日本のメダル獲得数は過去最多の計 58 個（金 27 個、銀 14 個、銅 17 個）となった（7/23～8/8）

・国際通貨基金（ＩＭＦ）は最新の世界経済見通しを発表。2021 年における日本の成長率は 2.8％となり、４月の前回予測から 0.5 ポイント低下した（7/27）

・政府は、埼玉、千葉、神奈川の首都圏 3 県と大阪府に緊急事態宣言を発令した。期間は 8/2～31 までとし、既に 8/22 までを対象期間に東京都と沖縄県に発令されていた同宣言も 8/31 まで延長（7/30）

・20 カ国・地域（G20）デジタル相会合がイタリアのトリエステで開催。持続可能な経済回復に向けたデジタル活用に関する共同宣言を採択した（8/5）

・2021 年 4～6 月の実質ＧＤＰ（1 次速報値）は前期比＋0.3%、年率換算で＋1.3%と２四半期ぶりのプラス成長（8/16）

・政府は、兵庫、福岡など 7 府県に緊急事態宣言を追加で発令することを決定。期間は 8/20～9/12 までとし､8/31 が期限の東京など 6 都府県の宣言も延長が決定(8/17)

・政府は、愛知、岐阜、三重など 8 道府県に緊急事態宣言と、高知など４県への「まん延防止等重点措置」の追加適用を決定。期間は 8/27～9/12 まで。今回の発令により、宣言対象地域は計 21 都道府県、重点措置の対象地域は計 12 県となる（8/25）

注：太字はⅦ特集で内容を紹介

２．今後の公表予定

① 注目経済指標、報告など（※公表予定日は発表元の都合により変更になる場合あり）

公表予定日	指標、報告など	発表元	市場予想、注目点など
9 月 8 日	4-6 月 GDP 速報(2 次速報)	内閣府	成長率の動向など
9 月 16 日	貿易統計（8 月分）	財務省	輸出の動向
9 月 21 日 9 月 22 日	日銀　金融政策決定会合	日本銀行	追加金融緩和の有無、政策動向など
9 月 30 日	鉱工業生産指数 （8 月速報値）	経済産業省	為替変動による影響など
9 月下旬	月例経済報告	内閣府	基調判断の動向など
10 月 1 日	日銀短観	日本銀行	業況判断など
10 月 1 日	有効求人倍率（8 月）	厚生労働省	人手不足の動向
10 月 1 日	失業率（8 月）	総務省	人手不足の動向

② 中部圏に関係する報告など

公表予定日	報告など	発表元
9 月上旬	法人企業景気予測調査	東海財務局
9 月中旬	最近の管内の経済動向	中部経済産業局

③海外経済指標、報告など

公表予定日	報告など	発表元
9 月 21 日 9 月 22 日	米国連邦公開市場委員会 （FOMC）	FRB（米連邦準備制度理事会）
9 月下旬	米国 GDP（4-6 月分確報値）	米国商務省
10 月 1 日	米国雇用統計	米国労働省

Ⅶ　特集

１．　2021 年 4-6 月期ＧＤＰについて（1 次速報値、8/16 発表）

○2021 年 4-6 月期の実質ＧＤＰ（１次速報）は前期比＋0.3%、年率換算で＋1.3%と、２四半期ぶりのプラス成長となった。

○民間エコノミストの予測平均値（８月のＥＳＰフォーキャスト：注）の前期比年率＋0.66%を上回る結果となった。

注：ＥＳＰフォーキャスト：民間エコノミスト 36 名の予測平均値、回答期間 7/30～8/6

○２四半期ぶりのプラス成長となったものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令されていた影響を受けて、個人消費の持ち直しは鈍く、小幅な増加に留まった。

○項目別にみると、個人消費は前期比＋0.8%と 2 四半期ぶりの増加となった。しかしながら、大都市圏を中心に 3 回目の緊急事態宣言が発令された影響により、サービス消費が抑制され、回復の勢いは鈍かった。

設備投資は、同＋1.7%と２四半期ぶりにプラスとなった。感染症の拡大を受け、これまで先送りされてきた設備投資の再開が要因であり、半導体製造装置などの生産用機械や、デジタル対応などへの投資があった。

輸出は、欧米や中国などの景気回復の影響により増加し、同＋2.9%と、４四半期連続のプラスとなった。

○ＧＤＰ成長率への寄与度を見ると、国内需要（内需）が 0.6%、外需（輸出－輸入）が▲0.3%。

○雇用者報酬は、実質で前年同期比+2.5%、名目は同+1.9%と、前期に比べて大きく増加した。

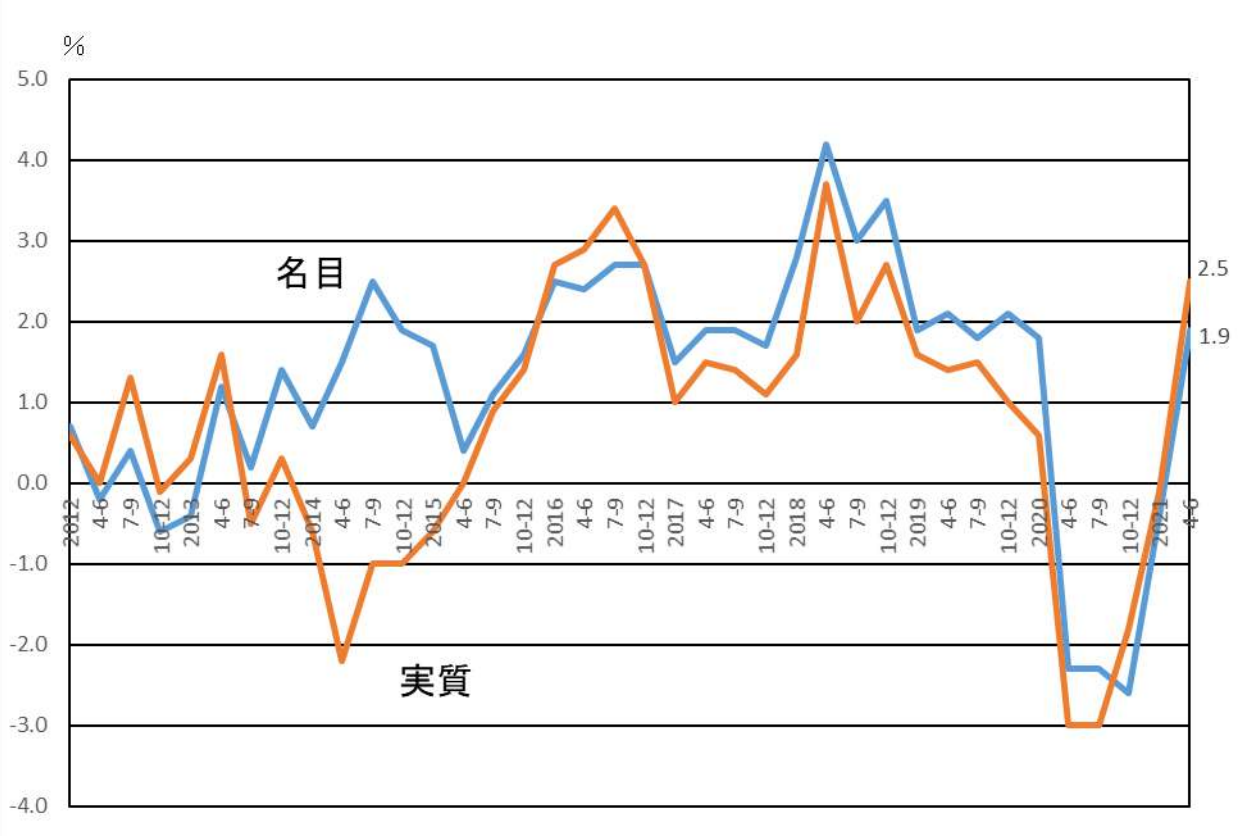
（図表 1）2021 年 4-6 月期の実質 GDP（前期比、%）

	実質 GDP	民間消費	民間住宅	民間設備	公共投資	輸出	輸入
今回	▲1.3	0.8	2.1	1.7	▲1.5	2.9	5.1
【参考】 2021/1-3	▲3.7	▲1.0	0.9	▲1.3	▲1.0	2.4	4.0

（図表 2）実質 GDP の推移（前期比、%）

期	2020/1-3	4-6 月	7-9 月	10-12 月	2021/1-3	4-6 月
実質 GDP	▲0.6	▲7.9	5.3	2.8	▲0.9	0.3

（図表３）雇用者報酬（前年同期比、%）



（備考）実質雇用者報酬は名目雇用者報酬を家計最終消費支出（除く持ち家の帰属家賃及び FISIM）デフレーターで除して算出した参考値。

２．　内閣府「年央試算」について（7/6　経済財政諮問会議）

内閣府は７月６日の経済財政諮問会議に「年央試算」（経済見通し）を示した。

我が国の景気の現状について、「新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか､輸出や生産を中心に持ち直しの動きが続いているものの、サービス消費など一部で弱さが増している。」としている。

今後については、「感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある」としている。

以上を踏まえ、2021 年度のＧＤＰ成長率は、実質で 3.7％程度、名目で 3.1％程度、と見込んでいる。

○主要経済指標（完全失業率以外は対前年度比変化率、単位：％）

	2020 年度 実績	2021 年度 政府経済見通し（1 月）	2021 年度 今回試算
実質ＧＤＰ	▲4.6	4.0	3.7
名目ＧＤＰ	▲3.9	4.4	3.1
完全失業率	2.9	2.7	2.7
鉱工業生産	▲9.5	9.4	13.4
消費者物価（総合）	▲0.2	0.4	0.1

３．　内閣府「中長期の財政試算」について（7/21　経済財政諮問会議）

内閣府は７月 21 日の経済財政諮問会議に中長期の財政試算を示した。

試算では、成長実現ケース（楽観）、ベースラインケース（慎重）の２通りのシナリオを提示しているが、経済成長率が 2020 年代前半に実質２％以上、名目で３％以上となる楽観的な成長実現ケースであっても、2025 年度時点で 2.9 兆円の赤字が残り、政府が目標とする 2025 年の基礎的財政収支の黒字化は困難な状況にある。

（１）経済に関するシナリオ

○成長実現ケース（楽観）

・デフレ脱却・経済再生に向けた経済財政政策の効果が過去の実績も踏まえたペースで発現

・潜在成長率の上昇とともに、2020 年代前半にかけて、経済成長率は実質２％以上、名目３％以上

・消費者物価上昇率は 2025 年度以降に２％程度に達すると見込まれる

○ベースラインケース（慎重）

・経済が足元の潜在成長率並みで将来にわたって推移

・中長期的に経済成長率は実質１％程度、名目１％台前半

・消費者物価上昇率は 0.7％程度で推移

（２）マクロ経済の姿（前年比、単位：％）

○成長実現ケース

	2019	2020	2021	2022	2023	2025	2027	2030
実質ＧＤＰ	▲0.5	▲4.6	3.7	2.2	2.8	2.2	2.0	1.8
名目ＧＤＰ	0.3	▲3.9	3.1	2.5	3.6	3.7	3.4	3.2
消費者物価	0.5	▲0.2	0.1	0.7	1.3	2.0	2.0	2.0

○ベースラインケース

	2019	2020	2021	2022	2023	2025	2027	2030
実質ＧＤＰ	▲0.5	▲4.6	3.7	2.2	2.0	1.5	0.9	0.8
名目ＧＤＰ	0.3	▲3.9	3.1	2.5	2.0	1.6	1.2	1.1
消費者物価	0.5	▲0.2	0.1	0.7	0.6	0.7	0.7	0.7

（３）基礎的財政収支（ＰＢ）の対名目ＧＤＰ比（国・地方）

○成長実現ケース（楽観）

・2025 年度時点で▲0.5％程度（▲2.9 兆円）

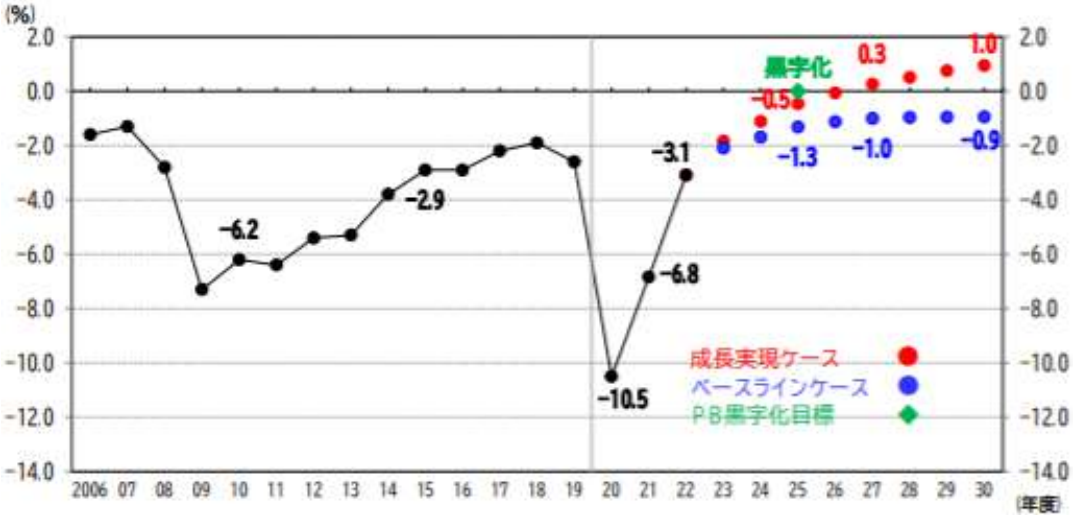
・前回試算（1 月）と比較して、＋4.4 兆円の改善

○ベースラインケース（慎重）

・2025 年度時点で▲1.3％程度（▲7.9 兆円）

・前回試算（1 月）と比較して、＋4.7 兆円の改善

国・地方の基礎的財政収支※（対ＧＤＰ比）



※復旧・復興対策の経費及び財源の金額を除いたベース

（出所）内閣府「中長期の経済財政に関する試算」

（４）公債等残高（国・地方）　　（単位：兆円、ＧＤＰ比は％）

○成長実現ケース

	2019	2020	2021	2022	2023	2025	2027	2030
残高	1,064.6	1,121.6	1,166.7	1,183.9	1,197.5	1,214.6	1,225.8	1,250.0
ＧＤＰ比	190.7	209.2	211.0	208.8	203.8	192.3	181.4	167.9

○ベースラインケース

	2019	2020	2021	2022	2023	2025	2027	2030
残高	1,064.6	1,121.6	1,166.7	1,183.9	1,199.2	1,224.9	1,246.3	1,284.6
ＧＤＰ比	190.7	209.2	211.0	208.8	207.3	204.6	202.9	202.4

(注)いずれも復旧・復興対策の経費及び財源の金額を除く

以　上

公表時間
9月10日（金）11時00分

2021 年 9 月 10 日
日本銀行名古屋支店

東海３県の金融経済動向
（２０２１年９月）

【概況】

東海３県の景気は、持ち直しの動きが一服している。

輸出と生産は足踏み状態となっている。個人消費は、飲食・宿泊サービス等で下押し圧力の強い状態にあるなか、持ち直しの動きが一服している。公共投資は高めの水準で推移している。設備投資は横ばい圏内となっている。住宅投資は持ち直している。

雇用・所得情勢には弱い動きがみられている。消費者物価（除く生鮮食品）は前年を下回っている。

金融環境をみると、東海３県の金融機関（国内銀行、信用金庫）の貸出は、前年を下回っている。貸出約定平均金利は引き続き低下傾向にある。

景気の先行きについては、持ち直しの動きに復することが期待されるが、そのペースは緩やかなものにとどまるとみられる。

東海３県とは、愛知県、岐阜県および三重県を指します。
本稿の内容について、商用目的で転載・複製を行う場合（引用は含まれません）は、予め日本銀行名古屋支店までご相談ください。引用・転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。なお、本稿は、日本銀行名古屋支店のホームページ（https://www3.boj.or.jp/nagoya/）でもご覧頂けます。

		現状判断	
		今回（21/9 月）	前回（21/7 月）
総括判断		東海３県の景気は、持ち直しの動きが一服している	東海３県の景気は、厳しい状態が続くなかでも、持ち直している
実体経済・物価	生産	足踏み状態となっている	増加基調にある
	輸出	足踏み状態となっている	増加基調にある
	設備投資	横ばい圏内となっている	横ばい圏内となっている
	雇用・所得	弱い動きがみられている	弱い動きがみられている
	個人消費	飲食・宿泊サービス等で下押し圧力の強い状態にあるなか、持ち直しの動きが一服している	全体としては持ち直し傾向にあるが、飲食・宿泊サービス等で下押し圧力の強い状態にある
	住宅投資	持ち直している	下げ止まっている
	公共投資	高めの水準で推移している	高めの水準で推移している
	物価	前年を下回っている	前年を上回っている
金融	貸出	前年を下回っている	運転資金需要を背景に、前年を上回っている
	貸出約定平均金利	引き続き低下傾向にある	引き続き低下傾向にある
	預金	前年を上回っている	前年を上回っている

以　上

東 海 3 県 の 金 融 経 済 指 標 （1）

―― p：速報値、r：訂正・改訂値

▽輸出入　（季節調整済前期比・前月比、%）

		20/4-6月	7-9月	10-12月	21/1-3月	4-6月	21/4月	5月	6月	7月	8月
実質輸出	東海３県＋長野県	-33.0	30.8	19.0	r -1.3	2.0	r -1.0	r -0.8	3.8	p 2.2	n.a.
	全国	-17.7	13.6	10.5	1.8	3.4	r 2.4	r -0.3	0.7	p 1.7	n.a.
実質輸入	東海３県＋長野県	-0.3	-7.3	5.7	r 6.2	2.7	r 4.5	r -3.1	1.9	p -9.5	n.a.
	全国	3.9	-6.3	4.7	1.8	3.7	9.1	r -3.4	1.6	p -2.4	n.a.

（注）輸出〈入〉の通関額を輸出〈入〉物価指数で各々デフレートし、指数化したもの。

（資料出所）名古屋税関、財務省、日本銀行、日本銀行名古屋支店

▽設備投資　（前年比、%）

			19年度実績	20年度実績	21年度計画
設備投資額［含むソフトウェア・研究開発投資額除く土地投資額］	東海３県	製造業	2.9	（ -4.1 ） -3.4	（ -0.3 ） 4.2
		非製造業	-0.3	（ 5.8 ） 0.7	（ 2.0 ） 8.0
		全産業	2.0	（ -1.4 ） -2.2	（ 0.4 ） 5.3
	全国	製造業	1.7	（ -4.6 ） -7.7	（ 3.3 ） 10.4
		非製造業	1.5	（ -5.5 ） -9.4	（ 1.2 ） 8.0
		全産業	1.6	（ -5.1 ） -8.5	（ 2.3 ） 9.3

（注）直近の計数は2021年６月調査。（　）内は2021年３月調査時点の計数。

（資料出所）日本銀行、日本銀行名古屋支店

▽個人消費　（前年同期比・同月比〈%〉、ただし消費者態度指数は原数値）

		20/4-6月	7-9月	10-12月	21/1-3月	4-6月	21/4月	5月	6月	7月	8月
百貨店・スーパー販売額（全店）	東海３県	-5.7	-3.0	1.4	-0.8	p 4.7	13.3	4.7	p -2.5	n.a.	n.a.
	全国	-11.4	-5.8	-1.2	-2.1	5.8	15.7	6.0	-2.2	p 1.3	n.a.
ドラッグストア販売額（全店）	東海３県	13.1	3.8	7.3	0.0	-0.9	-5.0	-0.8	3.1	p 3.3	n.a.
	全国	7.8	1.8	6.3	-2.8	-0.1	-2.8	r 1.9	0.8	p 2.2	n.a.
家電大型専門店販売額（全店）	東海３県	7.7	-9.3	21.1	9.0	-8.7	7.2	-1.5	-24.4	p -1.1	n.a.
	全国	9.1	-4.6	21.6	10.9	-4.1	14.5	0.7	-19.9	p -2.9	n.a.
乗用車販売台数（含軽）	東海３県	-34.7	-15.9	15.1	6.4	28.0	39.3	52.4	5.3	-4.8	n.a.
	全国	-32.9	-14.1	15.3	4.2	25.0	31.6	50.0	4.5	-6.5	n.a.
消費者態度指数（二人以上の世帯）	東海３県＋静岡県	24.1	30.5	32.7	33.5	35.3	34.5	34.2	37.3	37.7	37.0
	全国	24.6	30.5	32.9	33.3	35.5	34.8	34.2	37.6	37.5	36.6

（資料出所）中部経済産業局、経済産業省、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、内閣府、日本銀行名古屋支店

▽住宅投資　（季節調整済前期比・前月比、%）

		20/4-6月	7-9月	10-12月	21/1-3月	4-6月	21/4月	5月	6月	7月	8月
新設住宅着工戸数	東海３県	-13.4	-0.8	6.1	-0.3	6.7	8.4	-17.0	8.5	13.8	n.a.
	全国	-4.8	0.6	-1.0	3.1	5.5	0.3	-0.9	-1.0	6.9	n.a.

（資料出所）国土交通省、日本銀行名古屋支店

▽公共投資　（季節調整済前期比・前月比、%）

		20/4-6月	7-9月	10-12月	21/1-3月	4-6月	21/4月	5月	6月	7月	8月
公共工事請負金額	東海３県	-6.5	8.6	-6.4	8.3	0.1	-24.9	42.0	-7.1	-13.7	n.a.
	全国	0.2	3.5	-7.9	1.8	2.1	-8.0	17.7	-4.1	-9.1	n.a.

（注）公共工事請負金額は、東海３県を工事場所とした公共工事に対応する請負金額。

（資料出所）北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱、日本銀行、日本銀行名古屋支店

東海３県の金融経済指標　（2）

▽生産　　（季節調整済前期比・前月比、%）

		20/4-6月	7-9月	10-12月	21/1-3月	4-6月	21/4月	5月	6月	7月	8月
鉱工業生産	東海３県	r -27.5	r 24.0	r 11.3	r -1.1	2.6	r 4.6	-12.3	12.7	n.a.	n.a.
	全国	-16.8	9.0	5.7	2.9	1.1	2.9	r -6.5	6.5	p -1.5	n.a.

（注）鉱工業生産は2015年基準。

（資料出所）中部経済産業局、経済産業省

▽雇用・所得　　（前年同期比・同月比<%>、ただし完全失業率は季節調整済<%>、有効求人倍率は季節調整済<倍>）

		20/4-6月	7-9月	10-12月	21/1-3月	4-6月	21/4月	5月	6月	7月	8月
完全失業率	東海３県＋静岡県	2.2	2.6	2.6	2.6	2.6	－	－	－	－	－
	全国	2.7	3.0	3.0	2.8	2.9	2.8	3.0	2.9	2.8	n.a.
有効求人倍率	東海３県	1.32	1.08	1.04	1.12	1.22	1.17	1.24	1.25	1.28	n.a.
	全国	1.20	1.06	1.04	1.10	1.10	1.09	1.09	1.13	1.15	n.a.
雇用者所得	東海３県	-1.9	-2.3	-1.9	-2.4	-0.9	0.7	0.9	-3.2	n.a.	n.a.
	全国	-0.9	-0.6	-1.5	0.3	2.5	2.6	3.8	1.6	p 2.5	n.a.
常用労働者数	東海３県	-0.6	-0.3	-0.3	-0.8	-0.0	0.1	0.2	-0.4	n.a.	n.a.
	全国	0.9	0.6	0.7	0.6	1.5	1.2	1.8	1.6	p 1.5	n.a.
一人当たり名目賃金	東海３県	-1.3	-2.0	-1.5	-1.6	-0.9	0.6	0.7	-2.8	n.a.	n.a.
	全国	-1.7	-1.2	-2.1	-0.3	1.0	1.4	1.9	0.1	p 1.0	n.a.

（注）雇用者所得は、常用労働者数と一人当たり名目賃金を乗じて算出したもの。常用労働者数、一人当たり名目賃金は、事業所規模５人以上ベース。

（資料出所）総務省、愛知労働局、岐阜労働局、三重労働局、厚生労働省、愛知県、岐阜県、三重県、日本銀行名古屋支店

▽物価　　（前年同期比・同月比、%）

		20/4-6月	7-9月	10-12月	21/1-3月	4-6月	21/4月	5月	6月	7月	8月
消費者物価（除く生鮮食品）	東海３県＋静岡県	-0.6	-0.5	-1.0	r -0.5	-0.5	r -0.7	r -0.4	-0.4	-0.1	n.a.
	全国	-0.1	-0.2	-0.9	r -0.5	-0.6	r -0.9	r -0.6	-0.5	-0.2	n.a.

（注）消費者物価は2020年基準。ただし、2020年12月以前は2015年基準。

（資料出所）総務省、日本銀行名古屋支店

▽企業の業況感　　（「良い」－「悪い」回答社数構成比、%ﾎﾟｲﾝﾄ）

		20/6月	9月	12月	21/3月	6月		3月→6月変化幅	9月まで（予測）	6月→9月変化幅
東海３県	製造業	-52	-45	-16	-3	（ -9 ）	0	3	0	0
	非製造業	-29	-31	-19	-17	（ -17 ）	-17	0	-15	2
	全産業	-41	-38	-18	-9	（ -13 ）	-8	1	-7	1
全国	製造業	-39	-37	-20	-6	（ -7 ）	2	8	0	-2
	非製造業	-25	-21	-11	-9	（ -12 ）	-7	2	-9	-2
	全産業	-31	-28	-15	-8	（ -10 ）	-3	5	-5	-2

（注）直近の計数は2021年６月調査。（　）内は2021年３月調査時点の予測。

（資料出所）日本銀行、日本銀行名古屋支店

（脚注）実質輸出（入）、新設住宅着工戸数、公共工事請負金額、有効求人倍率の東海地区の計数については、日本銀行名古屋支店において X-12-ARIMA を用いた季節調整を実施。

東海３県の金融経済指標　（３）

▽貸出（末残）　（前年比、％、直近残高は億円）

	20/3月	6月	9月	12月	21/3月	21/5月	6月	7月	8月	直近残高
東海３県店舗ベース	1.8	13.6	15.2	14.5	11.6	3.1	-1.0	-1.2	n.a.	421,938
都市銀行等	-3.8	37.7	42.5	39.6	26.4	-4.6	-17.3	-15.7	n.a.	87,048
地域銀行	4.7	8.9	9.6	9.5	8.8	6.1	4.9	4.0	n.a.	218,417
信用金庫	0.7	5.1	6.3	6.5	6.4	5.0	3.4	2.2	n.a.	116,473

▽貸出約定平均金利　（%）

		20/3月	6月	9月	12月	21/3月	21/5月	6月	7月	8月
新規	地元地域銀行	0.752	0.980	0.869	0.769	0.868	0.760	0.774	0.808	n.a.
新規	地元信用金庫	1.092	1.238	1.225	1.213	1.178	1.114	1.157	1.207	n.a.
ストック	地元地域銀行	0.761	0.756	0.755	0.747	0.749	0.745	0.741	0.738	n.a.
ストック	地元信用金庫	1.124	1.116	1.114	1.107	1.105	1.101	1.096	1.094	n.a.

▽預金（末残）　（前年比、％、直近残高は億円）

	20/3月	6月	9月	12月	21/3月	21/5月	6月	7月	8月	直近残高
東海３県店舗ベース	2.2	7.5	8.2	8.1	8.2	4.5	3.4	4.1	n.a.	877,276
都市銀行等	3.9	11.6	11.2	9.6	9.2	2.6	1.8	4.2	n.a.	326,968
地域銀行	1.1	6.1	7.8	8.6	9.2	6.3	4.7	4.7	n.a.	305,557
信用金庫	1.4	4.0	5.0	5.6	5.8	5.1	3.9	3.3	n.a.	244,750
一般預金	2.4	8.0	9.3	8.9	9.0	4.8	3.8	4.8	n.a.	606,455
一般法人	2.5	14.9	17.2	16.0	14.0	2.9	2.1	5.3	n.a.	208,487
個人	2.4	4.6	5.5	5.5	6.5	5.8	4.7	4.5	n.a.	397,967
公金預金	-0.5	27.1	20.4	17.8	12.3	-13.3	-10.6	-4.5	n.a.	20,161

（注）1. 貸出・預金の「東海３県店舗ベース」は、国内銀行（銀行本体の設立根拠が国内法に準拠している銀行＜ゆうちょ銀行除く＞）の東海３県（愛知、岐阜、三重の３県）内店舗と、東海３県内に本店を置く信用金庫の合計（末残ベース）。銀行勘定のみ集計（オフショア勘定を除く）。

2. 貸出の「東海３県店舗ベース」は、中央政府向けを含まない。

3. 預金の「一般預金」、「公金預金」は、国内銀行の東海３県店舗ベース。

4. 貸出約定平均金利の「地元地域銀行」は、東海３県に本店を置く、地方銀行、第二地方銀行の貸出金利を貸出金残高で加重平均したもの。新規は、当該月中において実行した貸出（書替継続を含む）にかかるものをいい、銀行勘定の円貨貸出のうち、当座貸越、金融機関向け貸出、銀行裏書手形、手形割引市場関係分を除いたもの。ストックは、銀行勘定の円貨貸出のうち、金融機関向け貸出、銀行裏書手形、手形割引市場関係分を除いたもの。

5. 貸出約定平均金利の「地元信用金庫」は、東海３県に本店を置く信用金庫の貸出金利を貸出金残高で加重平均したもの。新規は、当該月中において実行した貸出（書替継続を含む）にかかるものをいい、当座貸越を除いたもの。ストックは、貸出金（割引手形、手形貸付、証書貸付、当座貸越）にかかるもの。

（資料出所）日本銀行、日本銀行名古屋支店、全国信用金庫協会

東海３県の金融経済指標　（4）

▽倒産（件数）　（前年同期比・同月比、%）

	20/4-6月	7-9月	10-12月	21/1-3月	4-6月	21/5月	6月	7月	8月
東海３県	-11.4	4.5	-16.1	-35.3	-33.1	86.4	-35.1	-40.2	-40.6
全国	-11.4	-7.4	-20.8	-28.2	-18.9	50.3	-30.6	-39.7	-30.1

（資料出所）東京商工リサーチ、日本銀行名古屋支店

▽銀行券受払高　（億円）

	20/4-6月	7-9月	10-12月	21/1-3月	4-6月	21/5月	6月	7月	8月
銀行券受入高	10,120	11,725	11,077	12,294	11,359	3,988	3,773	3,523	3,695
銀行券支払高	12,617	10,996	15,538	9,483	11,576	2,730	3,922	3,837	3,888
銀行券受（－）払超高	2,496	-728	4,460	-2,810	216	-1,258	148	313	192

（注）1.「銀行券受払高」は、東海３県において本行が取引先金融機関や官庁、個人等に対して銀行券を受払いした額。
2.「銀行券受（－）払超高」は、銀行券支払高から銀行券受入高を引いたもの。マイナス表示は受入超を、無表示は支払超を表す。

（資料出所）日本銀行、日本銀行名古屋支店

三重県電線・ケーブル製造業最低賃金

年 次 別 決 定 状 況

	平成２２年	平成２３年	平成２４年	平成２５年	平成２６年	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	令和元年	令和２年
	時間額	時間額	時間額	時間額	時間額	時間額	時間額	時間額	時間額	時間額	時間額
決定金額(円)	796	801	808	820	833	848	864	881	900	920	921
引上額(円)	8	5	7	12	13	15	16	17	19	20	1
引上率(%)	1.02	0.63	0.87	1.49	1.59	1.80	1.89	1.97	2.16	2.22	0.11
対地賃格差	111.5	111.7	111.6	111.3	110.6	110.0	108.7	107.4	106.4	105.4	105.4
影響率	3.8	3.7	3.8	8.1	18.8	11.3	4.3	22.2	2.1	0.0	0.1
第１・20分位数	800	900	895	785	780	800	880	800	900	1,030	1,012
第１・10分位数	900	900	932	870	800	830	978	820	945	1,085	1,072
第１・4分位数	1,004	1,019	1,098	1,022	869	1,043	1,045	860	1,020	1,227	1,412
中位数	1,133	1,283	1,271	1,411	1,032	1,151	1,195	1,208	1,252	1,466	1,819
申出書受理日	22. 7. 5	23. 6. 30	24. 6. 13	25. 6. 12	26. 6. 19	27. 7. 6	28. 7. 8	29. 7. 3	30. 6. 25	元. 6. 25	2. 7. 9
a 申出(合意)労働者数	1,101	1,090	1,032	1,009	1,054	1,041	1,031	1,060	1,114	1,100	1,035
b 適用労働者数	1,929	1,926	1,387	1,321	1,736	1,600	2,187	2,035	2,026	3,131	2,949
a／b(%)	57.1	56.6	74.4	76.4	60.7	65.1	47.1	52.1	55.0	35.1	35.1
必要性諮問日	22. 7. 30	23. 7. 29	24. 7. 27	25. 8. 8	26. 7. 31	27. 7. 31	28. 7. 12	29. 7. 13	30. 7. 18	元. 7. 16	2. 7. 16
決定諮問日	22. 9. 9	23. 8. 23	24. 8. 6	25. 9. 9	26. 8. 5	27. 8. 5	28. 8. 5	29. 8. 7	30. 8. 6	元. 8. 5	2. 8. 5
専結報告日	22. 11. 1	23. 10. 20	24. 10. 17	25. 10. 21	26. 10. 14	27. 10. 20	28. 10. 21	29. 10. 16	30. 10. 17	元. 10. 18	2. 10. 19
官報公示日	22. 12. 9	23. 11. 22	24. 11. 27	25. 12. 5	26. 11. 20	27. 11. 20	28. 11. 22	29. 11. 20	30. 11. 20	元. 11. 21	2. 11. 20
効力発生日	23. 1. 8 法定発効	23. 12. 22 法定発効	24. 12. 27 法定発効	26. 1. 4 法定発効	26. 12. 20 法定発効	27. 12. 20 法定発効	28. 12. 22 法定発効	29. 12. 20 法定発効	30. 12. 20 法定発効	元. 12. 21 法定発効	2. 12. 21 指定日発効

事業所番号＿＿＿＿＿＿（下記所在地・名称の記載に支障がある場合は封筒のナンバリング番号をご記入ください。）

（電線・ケーブル）製造業最低賃金の金額改正の必要性についての参考人意見聴取書

三重労働局賃金室扱い FAX 059－226－2117　　三重労働局賃金室

参考人職氏名	職　名	[redacted]	氏　名	[redacted]
1 事業の概要	事業所の名称・代表者氏名 [redacted]		所在地・電話番号	[redacted]
	事業の概要（主な製品名等） バインド線		日本標準産業分類	番号 E234 名称 電線・ケーブル製造業
	企業の労働者数	男 2 名 女 3 名	（内60歳以上及び18歳未満）	男　名 女 2 名
2 経営事情	① 貴社の現況はいかがですか。　昨年に比べて □良い ・ ☑悪い （理由 売上が大幅に下がっている ）			
	② 今後の見通しはいかがですか。 □期待できる ・ ☑期待できない （理由 コロナ後の市場が縮小している ）			
3 賃金に関する事項	① 労働者の賃金は他社に比べてどう思われますか。　□高い ・ ☑普通 ・ □低い			
	② 今年の賃金は引き上げられましたか □引き上げた ・ ☑据え置いた ・ □引き下げた ・ □引上げ予定 ・ □その他 （理由 ）			
	③ 貴社の賃金が他社に影響を及ぼしていると思いますか。 □思う ・ ☑思わない （理由 ）			
4 産業別最低賃金の金額に関する事項	① 特定（産業別）最低賃金の金額改正は必要と思われますか。 □思う ・ ☑思わない 〔理由 〕			
5 その他最低賃金についての意見等	① 貴事業所が属する産業の適正と思われる最低賃金額はいくらが望ましいと思われますか。　850 円 （理由 ）			

6 低賃金労働者の実態（18歳未満又は65歳以上の者は除く）

	性別		年齢		経験年数	職種	日額又は時間額
A	男	(女)	75	歳	33 年 月	加工	（日・時） 860 円
B	男	(女)	69	歳	27 年 月	加工	（日・時） 880 円
C	男	女		歳	年 月		（日・時） 円

※ 各欄をご記入いただき、2－①、2－②、3－②、3－③、4－①は該当する□にレ印をつけ、理由もそれぞれにご記入をお願いします。6には、貴社で最も賃金の低い方から3人の賃金等についてご記入をお願いします。　ご協力ありがとうございました。

事業所番号＿＿＿＿＿（下記所在地・名称の記載に支障がある場合は封筒のナンバリング番号をご記入ください。）

（電線・ケーブル）製造業最低賃金の金額改正の必要性についての参考人意見聴取書

三重労働局賃金室扱い FAX 059－226－2117　　三重労働局賃金室

参考人職氏名	職　名 [redacted]	氏　名	[redacted]
1 事業の概要	事業所の名称・代表者氏名 [redacted]	所在地・電話番号	[redacted]
	事業の概要（主な製品名等） ケーブル	日本標準産業分類	番号 E234 名称 電線・ケーブル製造業
	企業の労働者数 男 80 名 女 22 名	（内60歳以上及び18歳未満）	男 15 名 女 4 名
2 経営事情	① 貴社の現況はいかがですか。 昨年に比べて □良い ・ ☑悪い （理由 銅及びコンパウンドの価格の高騰 ）		
	② 今後の見通しはいかがですか。 ☑期待できる ・ □期待できない （理由 一時に比べ受注が増えている ）		
3 賃金に関する事項	① 労働者の賃金は他社に比べてどう思われますか。 □高い ・ ☑普通 ・ □低い		
	② 今年の賃金は引き上げられましたか □引き上げた ・ □据え置いた ・ □引き下げた ・ □引上げ予定 ・ ☑その他 （理由 6月末決算の結果による ）		
	③ 貴社の賃金が他社に影響を及ぼしていると思いますか。 □思う ・ ☑思わない （理由 賃金に関係なく製造に勤しんでいる ）		
4 産業別最低賃金の金額に関する事項	① 特定（産業別）最低賃金の金額改正は必要と思われますか。 ☑思う ・ □思わない 〔理由 最低賃金を参考に新入社員の賃金を決定 〕		
5 その他最低賃金についての意見等	① 貴事業所が属する産業の適正と思われる最低賃金額はいくらが望ましいと思われますか。 ＿＿＿＿円 （理由 ）		

6 低賃金労働者の実態（18歳未満又は65歳以上の者は除く）

	性別		年齢		経験年数	職種	日額又は時間額
A	(男)	女	23	歳	1年8月	巻替工	(日)・時) 9090円
B	(男)	女	24	歳	1年4月	出荷	(日)・時) 8636円
C	男	(女)	40	歳	1年1月	事務職	(日)・時) 7727円

※ 各欄をご記入いただき、2－①、2－②、3－②、3－③、4－①は該当する□にレ印をつけ、理由もそれぞれにご記入をお願いします。6には、貴社で最も賃金の低い方から3人の賃金等についてご記入をお願いします。 ご協力ありがとうございました。

事業所番号＿＿＿＿＿＿（下記所在地・名称の記載に支障がある場合は封筒のナンバリング番号をご記入ください。）

（電線・ケーブル）製造業最低賃金の金額改正の必要性についての参考人意見聴取書

三重労働局賃金室扱い FAX 059－226－2117　　三重労働局賃金室

参考人職氏名	職　名	[redacted]	氏　名	[redacted]
1 事業の概要	事業所の名称・代表者氏名	[redacted]	所在地・電話番号	[redacted]
	事業の概要（主な製品名等） エナメル線や絶縁電線等の製造		日本標準産業分類	番号 E234 名称 電線・ケーブル製造業
	企業の労働者数	男 164 名 女 7 名	（内60歳以上及び18歳未満）	男 2 名 女 0 名
2 経営事情	① 貴社の現況はいかがですか。　昨年に比べて ☑良い ・ □悪い （理由 昨年は新型コロナによる受注減少で一斉休業をおこなうなど厳しかったため ）			
	② 今後の見通しはいかがですか。 ☑期待できる ・ □期待できない （理由 主要顧客である自動車メーカーの電動化が追い風になると期待しているため）			
3 賃金に関する事項	① 労働者の賃金は他社に比べてどう思われますか。　☑高い ・ □普通 ・ □低い			
	② 今年の賃金は引き上げられましたか ☑引き上げた ・ □据え置いた ・ □引き下げた ・ □引上げ予定 ・ □その他 （理由 新卒入社者の初任給を改善しているため ）			
	③ 貴社の賃金が他社に影響を及ぼしていると思いますか。 □思う ・ ☑思わない （理由 昨年10月にできたばかりの企業に影響力があるとは思えないため ）			
4 産業別最低賃金の金額に関する事項	① 特定（産業別）最低賃金の金額改正は必要と思われますか。 □思う ・ ☑思わない 〔理由 特定とする狙いがよくわからないため〕			
5 その他最低賃金についての意見等	① 貴事業所が属する産業の適正と思われる最低賃金額はいくらが望ましいと思われますか。　900～950 円 （理由 足元の水準で適正と考えているため ）			

6 低賃金労働者の実態（18歳未満又は65歳以上の者は除く）

	性別		年齢		経験年数	職種	日額又は時間額
A	(男)	女	18	歳	0年3月	製造	（日・(時)） 1,079 円
B	(男)	女	18	歳	0年3月	保守保全	（日・(時)） 1,079 円
C	(男)	女	21	歳	0年8月	製造	（日・(時)） 1,085 円

※ 各欄をご記入いただき、2－①、2－②、3－②、3－③、4－①は該当する□にレ印をつけ、理由もそれぞれにご記入をお願いします。6には、貴社で最も賃金の低い方から3人の賃金等についてご記入をお願いします。　ご協力ありがとうございました。

事業所番号＿＿＿＿＿（下記所在地・名称の記載に支障がある場合は封筒のナンバリング番号をご記入ください。）

（電線・ケーブル）製造業最低賃金の金額改正の必要性についての参考人意見聴取書

三重労働局賃金室扱い FAX 059－226－2117 三重労働局賃金室

参考人職氏名	職　名 [redacted]		氏　名	[redacted]
1 事業の概要	事業所の名称・代表者氏名 [redacted]		所在地・電話番号	[redacted]
	事業の概要（主な製品名等） 太陽光発電用ケーブル キャブタイヤコード制御用ケーブル		日本標準産業分類	番号 E234 名称 電線・ケーブル製造業
	企業の労働者数	男 54 名 女 13 名	（内60歳以上及び18歳未満）	男 16 名 女 3 名
2 経営事情	① 貴社の現況はいかがですか。 昨年に比べて □良い ・ ☑悪い （理由 昨年同期比では売上減 ）			
	② 今後の見通しはいかがですか。 □期待できる ・ □期待できない （理由 コロナから回復傾向にあり期待 ）			
3 賃金に関する事項	① 労働者の賃金は他社に比べてどう思われますか。		□高い ・ ☑普通 ・ □低い	
	② 今年の賃金は引き上げられましたか □引き上げた ・ □据え置いた ・ □引き下げた ・ □引上げ予定 ・ ☑その他 （理由 一律ではなく査定評価による ）			
	③ 貴社の賃金が他社に影響を及ぼしていると思いますか。 □思う ・ □思わない （理由 分らない ）			
4 産業別最低賃金の金額に関する事項	① 特定（産業別）最低賃金の金額改正は必要と思われますか。 ☑思う ・ □思わない ［理由 ］			
5 その他最低賃金についての意見等	① 貴事業所が属する産業の適正と思われる最低賃金額はいくらが望ましいと思われますか。 950 円 （理由 ）			

6 低賃金労働者の実態（18歳未満又は65歳以上の者は除く）

	性別		年齢		経験年数	職種	日額又は時間額
A	男	(女)	61	歳	11年8月	事務職	（日・(時)） 950 円
B	男	(女)	49	歳	4年11月	〃	（日・(時)） 950 円
C	男	(女)	51	歳	2年0月	現場作業員	（日・(時)） 950 円

※ 各欄をご記入いただき、2－①、2－②、3－②、3－③、4－①は該当する□にレ印をつけ、理由もそれぞれにご記入をお願いします。6には、貴社で最も賃金の低い方から3人の賃金等についてご記入をお願いします。 ご協力ありがとうございました。

事業所番号＿＿＿＿＿（下記所在地・名称の記載に支障がある場合は封筒のナンバリング番号をご記入ください。）

（電線・ケーブル）製造業最低賃金の金額改正の必要性についての参考人意見聴取書

三重労働局賃金室扱い FAX 059－226－2117　　三重労働局賃金室

参考人職氏名	職　名	[redacted]	氏　名	[redacted]
1 事業の概要	事業所の名称・代表者氏名	[redacted]	所在地・電話番号	[redacted]
	事業の概要（主な製品名等） 巻線の製造		日本標準産業分類	番号 E234 名称 電線・ケーブル製造業
	企業の労働者数	男 158 名 女 31 名	（内60歳以上及び18歳未満）	男 11 名 女 7 名
2 経営事情	① 貴社の現況はいかがですか。　昨年に比べて □良い ・ ☑悪い （理由 半導体不足・銅価高騰により足元は厳しい。）			
	② 今後の見通しはいかがですか。 ☑期待できる ・ □期待できない （理由 上記の悪化要因が改善すれば回復に向かう見込）			
3 賃金に関する事項	① 労働者の賃金は他社に比べてどう思われますか。　□高い ・ □普通 ・ ☑低い			
	② 今年の賃金は引き上げられましたか □引き上げた ・ ☑据え置いた ・ □引き下げた ・ □引上げ予定 ・ □その他 （理由 昨年に比べ業績が厳しいため）			
	③ 貴社の賃金が他社に影響を及ぼしていると思いますか。 □思う ・ ☑思わない （理由）			
4 産業別最低賃金の金額に関する事項	① 特定（産業別）最低賃金の金額改正は必要と思われますか。 □思う ・ ☑思わない 〔理由 現状が妥当と考えるため〕			
5 その他最低賃金についての意見等	① 貴事業所が属する産業の適正と思われる最低賃金額はいくらが望ましいと思われますか。　物価上昇を考慮したアップのみ 円 （理由 銅価高騰など材料費がアップする中で、人件費は据え置きたい。）			

6 低賃金労働者の実態（18歳未満又は65歳以上の者は除く）

	性別		年齢		経験年数	職種	日額又は時間額
A	(男)	女	22	歳	4年2月	事務職	（日・(時)）1,000 円
B	男	(女)	56	歳	2年4月	事務職	（日・(時)）1,000 円
C	男	(女)	41	歳	6年10月	事務職	（日・(時)）1,060 円

※ 各欄をご記入いただき、2－①、2－②、3－②、3－③、4－①は該当する□にレ印をつけ、理由もそれぞれにご記入をお願いします。6には、貴社で最も賃金の低い方から3人の賃金等についてご記入をお願いします。　ご協力ありがとうございました。

事業所番号＿＿＿＿＿＿（下記所在地・名称の記載に支障がある場合は封筒のナンバリング番号をご記入ください。）

（電線・ケーブル）製造業最低賃金の金額改正の必要性についての参考人意見聴取書

三重労働局賃金室扱い FAX 059－226－2117

三重労働局賃金室

参考人職氏名	職　名	[redacted]	氏　名	[redacted]
1 事業の概要	事業所の名称・代表者氏名	[redacted]	所在地・電話番号	[redacted]
	事業の概要（主な製品名等） 光ファイバ製造		日本標準産業分類	番号 E234 名称 電線・ケーブル製造業
	企業の労働者数	男 179 名 女 17 名	（内60歳以上及び18歳未満）	男 3 名 女 1 名
2 経営事情	① 貴社の現況はいかがですか。 昨年に比べて ☑良い ・ □悪い （理由 事業再生フェーズのさなか）			
	② 今後の見通しはいかがですか。 ☑期待できる ・ □期待できない （理由 固定資産減損、事業構造改善効果）			
3 賃金に関する事項	① 労働者の賃金は他社に比べてどう思われますか。	□高い ・ ☑普通 ・ □低い		
	② 今年の賃金は引き上げられましたか □引き上げた ・ ☑据え置いた ・ □引き下げた ・ □引上げ予定 ・ □その他 （理由 ）			
	③ 貴社の賃金が他社に影響を及ぼしていると思いますか。 □思う ・ ☑思わない （理由 ）			
4 産業別最低賃金の金額に関する事項	① 特定（産業別）最低賃金の金額改正は必要と思われますか。 ☑思う ・ □思わない ［理由 電線ケーブル産業の活性化、人財確保 ］			
5 その他最低賃金についての意見等	① 貴事業所が属する産業の適正と思われる最低賃金額はいくらが望ましいと思われますか。 1,013 円 （理由 地賃最高額（東京）と同額、 ）			

6 低賃金労働者の実態（18歳未満又は65歳以上の者は除く）

	性別		年齢	経験年数	職種	日額又は時間額
A	男	女	歳	年 月		（日・時） 円
B	男	女	歳	年 月		（日・時） 円
C	男	女	歳	年 月		（日・時） 円

日給
時給
該当者なし

※ 各欄をご記入いただき、2－①、2－②、3－②、3－③、4－①は該当する□にレ印をつけ、理由もそれぞれにご記入をお願いします。6には、貴社で最も賃金の低い方から3人の賃金等についてご記入をお願いします。 ご協力ありがとうございました。

基 発 第 １ ２ ０ ６ ０ ０ １ 号
平 成 １ ４ 年 １ ２ 月 ６ 日

都道府県労働局長 殿

厚生労働省労働基準局長
（公印省略）

中央最低賃金審議会産業別最低賃金制度全員協議会報告について

平成14年12月6日に開催された第8回中央最低賃金審議会において、中央最低賃金審議会産業別最低賃金制度全員協議会から別添のとおり報告が行われた。中央最低賃金審議会においては、同報告を全会一致で了承し、各地方最低賃金審議会に通知することとしたので、貴職から地方最低賃金審議会に本報告を伝達されたい。

なお、地方最低賃金審議会の各側委員にその写しを手交されたい。

中央最低賃金審議会産業別最低賃金制度全員協議会報告

平成14年12月6日

本全員協議会は、平成13年4月20日に中央最低賃金審議会から付託を受け、同年5月29日から平成14年12月6日までの間、計12回にわたり鋭意審議を重ねた結果、全会一致で別添のとおり報告を取りまとめた。

本全員協議会は、地方最低賃金審議会がその自主性を発揮しつつ、今般の結論に沿った改善を行うことを期待する。

（別添）

産業別最低賃金制度の改善について

1　基本的な考え方

産業別最低賃金については、「現行産業別最低賃金の廃止及び新産業別最低賃金への転換等について（昭和61年2月14日中央最低賃金審議会答申）」（以下「昭和61年答申」という。）に基づき、旧産業別最低賃金から現行の産業別最低賃金への転換がなされ、その後、「中央最低賃金審議会「公正競争ケース」検討小委員会報告（平成4年5月15日中央最低賃金審議会了承）」及び「中央最低賃金審議会産業別最低賃金に関する全員協議会報告（平成10年12月10日中央最低賃金審議会了承）」（以下「平成10年報告」という。）等により逐次改善されてきたところである。

一方、我が国の経済社会は、長引く景気の低迷、国際競争の激化、産業の空洞化、サービス産業化の動きが進展する中で産業構造が変化するとともに、パートタイム労働者、派遣労働者等の増加など雇用形態や就業形態も多様化し、産業別最低賃金を取り巻く環境は大きく変化しているところである。

こうした中で、平成10年報告において、「産業別最低賃金制度のあり方については今後時機を見てさらなる議論を深め、審議していくことが適当である」とされたことを踏まえ、使用者側からの問題提起により、平成13年4月に中央最低賃金審議会に産業別最低賃金制度全員協議会が設置され、同年5月から産業別最低賃金制度の在り方について累次にわたり審議を行ってきたところである。

審議においては、使用者側は廃止論を主張する一方、労働者側が継承・発展論を主張し、付記にあるように労使の意見には大きな隔たりがあった。

しかしながら、産業別最低賃金が現実に制度として存在し、実際に関係者から運用面の課題に関する様々な指摘があることを踏まえると、労使それぞれの立場はあるものの、産業別最低賃金制度を改善することは重要であることから、産業別最低賃金設定の趣旨である関係労使のイニシアティブ発揮を中心とした改善の在り方について検討を行った結果、今般の結論に達したものである。

今後、法改正を伴う事項も含めた産業別最低賃金制度の在り方については、時機を見て新たに検討の場を設け、中長期的な視点から更なる議論を深めることが適当である。

2　関係労使のイニシアティブの一層の発揮を中心とした改善

産業別最低賃金は、関係労使のイニシアティブにより地域別最低賃金より金額水準の高い最低賃金を必要と認めたものについて設定することを基本としていることから、関係労使のイニシアティブをより発揮させるという観点を中心に、以下の改善が図られることが必要である。地方最低賃金審議会においては、関係労使がイニシアティブを十分に発揮することにより、一層円滑な審議と運用がなされることを期待するものである。

(1)　関係労使のイニシアティブ発揮による改善

①　関係労使当事者間の意思疎通

産業別最低賃金の決定、改正又は廃止(以下「決定等」という。)に関する申出について、関係労使が双方の意向を了知しておくことは、その後の円滑な審議にとって重要であるため、当該申出の意向表明後速やかに、関係労使当事者間の意思疎通を図ることとする。この場合の意思疎通としては、関係労使当事者間において話合いを持つことが望ましい。

なお、関係労使当事者とは、主として、労働協約締結当事者の使用者(使用者団体を含む。)又は労働組合、都道府県内における当該産業の関係労使団体などを指すものである。

②　関係労使の参加による必要性審議

産業別最低賃金の決定等の必要性の有無に関する調査審議(以下「必要性審議」という。)について、従来どおりの方法で行うか、当該産業の労使が入った場で行うかを、地方最低賃金審議会において、地域、産業の実情を踏まえつつ、検討することとする。

なお、必要性審議において、当該産業別最低賃金が適用される中小企業を含めた関係労使が参加することにより、より実質的な審議が行われることを期待するものである。

③　金額審議における全会一致の議決に向けた努力

関係労使のイニシアティブ発揮により設定されるという産業別最低賃金の性格から、産業別最低賃金の決定又は改正の金額に関する調査審議については、全会一致の議決に至るよう努力することが望ましい。

④　関係労使の自主的な努力による周知及び履行確保

産業別最低賃金の周知及び履行確保について、関係労使のイニシアティブ発揮により設定されるという産業別最低賃金の性格にかんがみ、行政の役割とあいまって、当該産業別最低賃金が適用される関係労使がその自主的な努力により、産業別最低賃金の周知及び履行確保に努めることが望ましい。

(2)　その他の改善

①　労働協約ケースによる申出に向けた努力

平成10年報告を踏まえ、関係労使の努力により労働協約ケースが増加してきているところであるが、今後においても平成10年報告の再確認を通じ、公正競争ケースから労働協約ケースによる申出に向けて一層努めることとする。

なお、公正競争ケースによる申出において、申出者は平成10年報告を踏まえ、賃金格差の存在を疎明するための資料の一層の充実を図ることとする。

②　適用労働者数の要件

「新しい産業別最低賃金の運用方針(昭和57年1月14日中央最低賃金審議会答申)」において、新しい産業別最低賃金については「相当数の労働者に当該最低賃金の適用が見込まれるものでなければならない」とされていること、また、昭和61年答申における新産業別最低賃金への転換に係る経過措置として「「相当数の労働者」の範囲については、地方最低賃金審議会において、原則として1,000人程度を基準として、地域の実情に応じ決定するものとする」とされてい

ることを考慮し、産業別最低賃金における「相当数の労働者」の範囲についても、原則として1,000人程度とし、地域、産業の実情を踏まえ、1,000人程度を下回ったものについては、申出を受けて、地方最低賃金審議会において、廃止等について調査審議を行うこととする。

③　適用労働者数等の通知

産業別最低賃金の決定等に関する申出の意向表明があった場合には、適用労働者数等を労使双方で確認できるようにするため、当該申出の意向表明後速やかに、最低賃金審議会事務局から当該産業別最低賃金の基幹的労働者である適用労働者数等を明示し、関係労使に通知することとする。

④　産業別最低賃金の表示単位期間の時間額単独方式の検討

地域別最低賃金の表示単位期間については、平成14年度からすべての都道府県で時間額単独方式に移行したところであり、産業別最低賃金の表示単位期間の時間額単独方式への移行についても、地方最低賃金審議会において、地域、産業の実情を踏まえつつ、検討することとする。

3　付記事項

今回の検討の過程で、労使各側からの主要な意見を次のとおり付記する。

(1)　使用者側意見

産業別最低賃金は、「労働条件の向上又は公正競争の確保の観点から、その産業の基幹的労働者につき地域別最低賃金より高い最低賃金を必要と認めるときに設定」するものとされているが、「労働条件の向上」については、我が国の賃金水準は先進諸国の中でトップクラスであり、第三者の関与の下に継続すべき理由は乏しい。また、「公正競争の確保」についても経済のグローバル化が進展する中、国内における事業の公正競争の確保はほとんど意味を失っており、「基幹的労働者」について普通の労働者以上の最低賃金を設定することは地域別最低賃金がある以上、最低賃金法第1条に照らしてそぐわない。

とりわけ、経済のグローバル化による産業空洞化が進む中で、産業別最低賃金が数多く設定されている「ものづくり産業」は、極めて厳しい状況にあり、国内における公正競争の確保の意義が薄らいでいるとともに、早急に産業別最低賃金を含めた既存のシステムを見直す構造改革を行わないと世界の中で取り残される状況にある。また、雇用・失業情勢への影響も極めて大きい。もはや産業別最低賃金は企業内労使以外の場で決定すべき必要性が高いものとして維持する時代ではない。

さらに、地域別最低賃金において賃金の低廉な労働者の最低額は保障されており、産業別最低賃金は屋上屋を重ねるものであるとともに、セーフティネットの確保については、地域別最低賃金のみで最低保障を決める方が分かりやすい。したがって、産業別最低賃金制度は廃止すべきである。また、制度が廃止されない段階においては、地域、産業の実情を踏まえ、必要性の乏しい個別の産業別最低賃金については廃止、その他については引下げ又は凍結を含め柔軟に対応すべきである。

(2)　労働者側意見

地域別最低賃金はすべての労働者に適用される賃金の最低基準を、産業別最低賃金は産業別の基幹的労働者に適用される賃金の最低基準をそれぞれ決定するものであり、二つの制度が相互に補完しあいながら存在することで、最低賃金の実効性を高め賃金の下落の防止を図るとともに、賃金格差の是正を果たす役割を担っている。特に、最低賃金の対象者の賃金水準は、先進諸国の中でも決して十分ではないことを認識すべきである。

また、産業間格差がある以上、産業ごとの賃金実態を踏まえたセーフティネットとして産業

別最低賃金の設定の意義があるほか、産業別最低賃金は、労働組合の組織化の進んでいない産業の中小企業の労働者にもその適用が及ぶなど、団体交渉の補完的な役割を果たしており、賃金の低廉な労働者の労働条件の向上に寄与しているところである。

さらに、経済のグローバル化の進展の下、国内における企業間競争は激化し、企業はコスト削減策の一つとして賃金引下げを始めとする人件費削減を行っており、賃金の下落の動きが拡大するとともに、パートタイム労働者等の増加などにみられるように、雇用形態が多様化しており、働き方の多様化に対応した公正処遇を確保する必要がある。特に、一般労働者とパートタイム労働者等との賃金格差が拡大しており、賃金の不当な引下げを防止し、事業の公正競争の確保を図る観点から、産業別最低賃金の機能強化が求められる。

このため、産業別最低賃金として現行申出要件を維持し、今後は介護・福祉や医療の分野、交通運輸分野など第三次産業分野へ拡大するとともに、労働力の流動化や雇用形態・就労形態の多様化に対応できるよう、現行制度の機能強化の視点に立って、産業別最低賃金を更に発展させるべきである。

令和３年最低賃金に関する基礎調査の概要

１　調査の目的

この調査は、三重地方最低賃金審議会における最低賃金の決定及び改正の審議に資するため、低賃金労働者の賃金実態を的確に把握することを目的に行ったものである。

２　調査地域

三重県の管轄区域

３　調査対象産業及び事業所規模

（１）	Ｅ	製造業	1～ 99 人
		（特定最賃業種については、100 人以上も一部実施）	
（２）	Ｇ	情報通信業のうち新聞業、出版業	1～ 99 人
（３）	Ｉ	卸売・小売業	1～ 29 人
（４）	Ｍ	飲食店、宿泊業	1～ 29 人
（５）	Ｎ	生活関連サービス業、娯楽業	1～ 29 人
（６）	Ｐ	医療、福祉	1～ 29 人
（７）	Ｒ	サービス業（他に分類されないもの）	1～ 29 人

４　調査対象事業所数及び労働者数

上記の事業所の内から一定の方法により抽出した 1,743 事業所に対して「調査票」を送付し、提出のあった事業所のうち、事業廃止等を除く 810 事業所を調査した。

労働者は、令和 3 年 6 月 1 日現在、当該事業所に雇用されている全労働者を調査した。但し、労働者 30～99 人の事業所については、その 2 分の 1、100 人～299 人の事業所については、5 分の 1、300 人以上の事業所については、6 分の 1 の労働者を抽出し調査した。

５　調査事項

（１）事業所に関する事項

名称、所在地、主な生産品名又は事業の内容、労働者数について、令和 3 年 6 月 1 日現在の実態を調査した。

（２）労働者に関する事項

性、就業形態、年齢、勤続年数、職種又は仕事の内容、基本給の賃金形態、基本給額、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、その他の手当、月間所定労働日数及び一日の所定労働時間数を調査した。

なお、基本給額については、6 月 1 日現在の基本給単価を、諸手当については、6 月分賃金計算期間を満稼動したものとした額を調査した。

６　調査の実施期間

令和３年５月 10 日から同年６月４日まで。

７　調査の方法

（１）調査票

最低賃金に関する基礎調査票（別紙「様式」）によって行った。

（２）調査票の作成及び提出

通信により調査を行った。

① 本省委託業者より調査対象事業所の事業主に対し、（１）の調査票を郵送。

② 調査票の配布を受けた事業主は、調査票に記入し三重労働局に提出若しくは、オンラインにより回答。

（３）集計

提出された調査票を三重労働局において審査を行った上で、業者に業務委託し集計を行った。

統計法に基づく一般統計調査

※都道府県番号	※市区町村番号	※事業所番号	※産業分類番号 大	中	小	細	※事業所規模番号	※対象区分

枚目

最低賃金に関する実態調査

最低賃金に関する基礎調査票

（令和３年６月）

厚 生 労 働 省 秘

政府統計

この調査票に記入された事項については、統計以外の目的に使ったり、他に漏らしたりすることはありません。

連絡先 TEL	－ －
主要な生産品の名称又は事業の内容（主要とは総売上高の最も多いものをいいます。）	
記入担当者	
法人番号	

注）個人事業主の場合、法人番号欄は記入不要です。

［記入上の注意］

1. ※欄は記入しないでください。
2. 令和３年６月１日現在（ただし、２の(8)～(14)については実績ではなく、令和３年６月分の見込み）の状況を記入して下さい。
3. 記入にあたっては、黒又は青のボールペンを使って、［　　］（太線）の中について記入して下さい。
   イ．数字はすべて1,2,3,・・・・・・の算用数字を使ってください。
   ロ．○で囲む場合は、いずれか１つの数字を①のように○で囲んでください。
   （注Ⅰ） 労働者には以下の者を除きます。ただし、ロ又はハの者でも、一般の労働者と同じように勤務し、同じ給与規則によって給与を受けている場合は労働者に含めます。
   イ．事業主、社長　ロ．理事、取締役などの役員　ハ．家族従業員
   （注Ⅱ） ２の(13)について、例えば土曜日など１日の所定労働時間数の半分だけ働く場合は0.5日と数えてください。

1. 事業所に関する事項（注）

事業所の労働者数(注Ⅰ)（臨時、パートを含む）令和３年６月１日現在	男	女	計
	人	人	人

2. 労働者に関する事項

（上記１の労働者全員について記入してください。ただし、**労働者数が30人以上の事業所では、**労働者名簿などから、特定の職種等の労働者にかたよらないように、１人おきに選んで、記入してください。）

(1) 一連番号（10人目以降は十の位を記入してください。）	(2) 労働者番号（番号、記号、氏名（イニシャル）等どの方法でも結構ですが、後に内容についてお尋ねすることがありますのでそのときに分かるようにしておいてください。）	(3) 性 男	女	(4) 就業形態（「パート」とは一般の労働者に比べ所定労働時間又は所定労働日数が少ない者です。） 一般	パート	(5) 年齢（6月1日現在）歳	(6) 勤続年数 3月未満	3月以上～6月未満	6月以上～1年未満	1年以上～2年未満	2年以上～3年未満	3年以上～	(7) 職種又は仕事の内容（「※対象区分」が２の事業所のみ記入してください。例えば、プレス工、溶接工、金属検査工、清掃片付け、洗浄、選別、はんだ付けなどと具体的に記入してください。なお、技能習得中の場合は（技能習得中）と記入してください。）	※職種コード	(8) 基本給の賃金形態及び６月の基本給額（・賃金形態が月給なら月額を、日給なら日額を、時間給なら時間額を、記入してください。・実績でなく、欠勤することなく働いた場合（出来高制の場合は通常の能率で働いた場合）に支払われるべき金額を記入してください。） 月給	日給	時間給	万	千	百	十	円	6月分の諸手当（月額）6月の所定労働日数を満稼働した場合に支払われるべき手当の月額を記入してください。 (9) 精皆勤手当 支給がない場合は0を記入してください。	(10) 通勤手当 支給がない場合は0を記入してください。	(11) 家族手当 支給がない場合は0を記入してください。	(12) その他の手当（ただし、賞与、時間外手当、早出手当、深夜手当、休日手当、宿日直手当等は除きます。）支給がない場合は0を記入してください。	(13)（注Ⅱ）月間所定労働日数 月の所定労働日数を記入してください。休日労働は含めないで下さい。	(14) 1日の所定労働時間数（休憩時間を除く。） 時間	分	※事務処理欄
1		1	2	1	2		1	2	3	4	5	6			1	2	3																			
2		1	2	1	2		1	2	3	4	5	6			1	2	3																			
3		1	2	1	2		1	2	3	4	5	6			1	2	3																			
4		1	2	1	2		1	2	3	4	5	6			1	2	3																			
5		1	2	1	2		1	2	3	4	5	6			1	2	3																			
6		1	2	1	2		1	2	3	4	5	6			1	2	3																			
7		1	2	1	2		1	2	3	4	5	6			1	2	3																			
8		1	2	1	2		1	2	3	4	5	6			1	2	3																			
9		1	2	1	2		1	2	3	4	5	6			1	2	3																			
0		1	2	1	2		1	2	3	4	5	6			1	2	3																			

（注）２枚目以降については、「1. 事業所に関する事項」欄は記入する必要はありません。

令和３年最低賃金に関する基礎調査
調査区分別母集団数、調査数及び調査率表

調　査　区　分	母集団数		調　査　数		調　査　率	
産業分類・分類項目	事業所数	労働者数	事業所数	労働者数	事業所数	労働者数
地域別最低賃金適用業種計 （下記４産別業種以外）	39,330	408,910	715	7,991	1.8%	2.0%
E211 ガラス・同製品製造業	39	1,953	23	323	59.0%	16.5%
E234 電線・ケーブル製造業	13	3,446	8	265	61.5%	7.7%
E28.29.30 電気機械器具製造業	456	36,285	35	843	7.7%	2.3%
E311.313.315.319(3191を除く) 輸送用機械器具製造業	478	36,023	29	740	6.1%	2.1%
計	40,316	486,617	810	10,162		

＊地域別最低賃金適用業種のうち製造業、新聞業・出版業は、労働者数１～99人、それ以外は、１～29人の事業所を対象として抽出調査を実施したもの。

＊特定（産業別）最低賃金適用業種については、労働者100人以上も含め、規模別母集団事業所数に比例配分の上、調査対象事業所を抽出し実施したもの。

総括表（1）（産業・就業形態別の賃金額階級別、規模別、地域別、年齢別表）

03年　　総括表（1）　　産業：（全て）電線・ケーブル製造業　　就業形態：（全て）　　産別適用除外除く

時間当り所定内賃金額（３手当を除く）	合計	規模別			年齢別					
		１～９人	１０～２９人	３０～人	１７歳以下	１８～１９歳	２０～５４歳	５５～５９歳	６０～６４歳	６５歳以上
計	3,438	25		3,413		98	3,085	204	51	
円 - 909										
910 - 910										
911 - 911										
912 - 912										
913 - 913										
914 - 914										
915 - 915										
916 - 916										
917 - 917										
918 - 918										
919 - 919										
920 - 920										
921 - 921										
922 - 922										
923 - 923										
924 - 924										
925 - 925										
926 - 926										
927 - 927										

928 - 928										
929 - 929										
930 - 930										
931 - 931										
932 - 932										
933 - 933										
934 - 934										
935 - 935										
936 - 936										
937 - 937										
938 - 938										
939 939										
940 940										
941 941										
942 942										
943 943										
944 944										
945 945										
946 946										
947 947										
948 948										
949 949										
	5			5			5			

950	950	(0.1)			(0.1)			(0.2)			
951	951	5 (0.1)			5 (0.1)			5 (0.2)			
952	952	5 (0.1)			5 (0.1)			5 (0.2)			
953	953	5 (0.1)			5 (0.1)			5 (0.2)			
954	954	5 (0.1)			5 (0.1)			5 (0.2)			
955	955	5 (0.1)			5 (0.1)			5 (0.2)			
956	956	5 (0.1)			5 (0.1)			5 (0.2)			
957	957	5 (0.1)			5 (0.1)			5 (0.2)			
958	958	5 (0.1)			5 (0.1)			5 (0.2)			
959	959	5 (0.1)			5 (0.1)			5 (0.2)			
960	960	7 (0.2)			7 (0.2)			5 (0.2)		2 (4.7)	
961	961	7 (0.2)			7 (0.2)			5 (0.2)		2 (4.7)	
962	962	7 (0.2)			7 (0.2)			5 (0.2)		2 (4.7)	
963	963	7 (0.2)			7 (0.2)			5 (0.2)		2 (4.7)	
964	964	7 (0.2)			7 (0.2)			5 (0.2)		2 (4.7)	
965	965	7 (0.2)			7 (0.2)			5 (0.2)		2 (4.7)	
966	966	7 (0.2)			7 (0.2)			5 (0.2)		2 (4.7)	
967	967	10 (0.3)			10 (0.3)			7 (0.2)		2 (4.7)	
968	968	10 (0.3)			10 (0.3)			7 (0.2)		2 (4.7)	
969	969	10 (0.3)			10 (0.3)			7 (0.2)		2 (4.7)	
970	970	10 (0.3)			10 (0.3)			7 (0.2)		2 (4.7)	
971	979	12 (0.4)			12 (0.4)			10 (0.3)		2 (4.7)	
980	989	12 (0.4)			12 (0.4)			10 (0.3)		2 (4.7)	

990	999	17 (0.5)			17 (0.5)		2 (2.5)	12 (0.4)		2 (4.7)	
1000	1009	19 (0.6)			19 (0.6)		2 (2.5)	15 (0.5)		2 (4.7)	
1010	1019	46 (1.3)			46 (1.3)		2 (2.5)	41 (1.3)		2 (4.7)	
1020	1029	48 (1.4)	2 (8.0)		46 (1.3)		2 (2.5)	43 (1.4)		2 (4.7)	
1030	1039	67 (2.0)	2 (8.0)		65 (1.9)		2 (2.5)	62 (2.0)		2 (4.7)	
1040	1049	110 (3.2)	2 (8.0)		108 (3.2)		2 (2.5)	105 (3.4)		2 (4.7)	
1050	1059	110 (3.2)	2 (8.0)		108 (3.2)		2 (2.5)	105 (3.4)		2 (4.7)	
1060	1069	113 (3.3)	2 (8.0)		111 (3.2)		2 (2.5)	108 (3.5)		2 (4.7)	
1070	1079	115 (3.3)	2 (8.0)		113 (3.3)		2 (2.5)	110 (3.6)		2 (4.7)	
1080	1089	137 (4.0)	2 (8.0)		135 (3.9)		2 (2.5)	132 (4.3)		2 (4.7)	
1090	1099	161 (4.7)	2 (8.0)		159 (4.6)		2 (2.5)	156 (5.1)		2 (4.7)	
1100	1199	254 (7.4)	4 (16.0)		250 (7.3)		2 (2.5)	247 (8.0)		5 (9.5)	
1200	1299	344 (10.0)	5 (20.0)		339 (9.9)		2 (2.5)	336 (10.9)		5 (9.5)	
1300	1399	470 (13.7)	7 (28.0)		463 (13.6)		22 (22.0)	441 (14.3)	2 (1.2)	5 (9.5)	
1400	1499	864 (25.1)	11 (44.0)		853 (25.0)		98 (100.0)	757 (24.5)	2 (1.2)	7 (14.2)	
1500		3,438 (100.0)	25 (100.0)		3,413 (100.0)			3,085 (100.0)	204 (100.0)	51 (100.0)	
月平均賃金額		296,430	286,986		296,500		173,970	294,312	377,017	338,126	
時間当平均賃金額		2,103	1,631		2,106		1,394	2,075	2,906	1,954	
月一人当たり労働時間数		145	176		145		125	146	132	173	
第１・２０分位数		1,119	1,023		1,119		1,371	1,096	2,095	1,100	
第１・１０分位数		1,303	1,136		1,303		1,371	1,242	2,095	1,474	
第１・４分位数		1,499	1,387		1,499		1,412	1,501	2,444	1,762	
中位数		1,937	1,596		1,937		1,412	1,911	2,742	1,762	
四分位偏差係数		0.2469	0.1594		0.2470		0.0002	0.2376	0.1502	0.1758	

【上段】　累積労働者数　　【下段】　累積構成比

総括表（１）（産業・就業形態別の賃金額階級別、規模別、地域別、年齢別表）

03年　　総括表（１）　　産業：（全て）電線・ケーブル製造業　　就業形態：一般　　産別適用除外除く

時間当り所定内賃金額（３手当を除く）	合計	規模別			年齢別					
		１～９人	１０～２９人	３０～人	１７歳以下	１８～１９歳	２０～５４歳	５５～５９歳	６０～６４歳	６５歳以上
計	3,431	25		3,406		98	3,080	204	49	
円 - 909										
910 - 910										
911 - 911										
912 - 912										
913 - 913										
914 - 914										
915 - 915										
916 - 916										
917 - 917										
918 - 918										
919 - 919										
920 - 920										
921 - 921										
922 - 922										
923 - 923										
924 - 924										
925 - 925										
926 - 926										
927 - 927										

928 - 928										
929 - 929										
930 - 930										
931 - 931										
932 - 932										
933 - 933										
934 - 934										
935 - 935										
936 - 936										
937 - 937										
938 - 938										
939 939										
940 940										
941 941										
942 942										
943 943										
944 944										
945 945										
946 946										
947 947										
948 948										
949 949										
950 950										

951	951										
952	952										
953	953										
954	954										
955	955										
956	956										
957	957										
958	958										
959	959										
960	960	2 (0.1)			2 (0.1)					2 (5.0)	
961	961	2 (0.1)			2 (0.1)					2 (5.0)	
962	962	2 (0.1)			2 (0.1)					2 (5.0)	
963	963	2 (0.1)			2 (0.1)					2 (5.0)	
964	964	2 (0.1)			2 (0.1)					2 (5.0)	
965	965	2 (0.1)			2 (0.1)					2 (5.0)	
966	966	2 (0.1)			2 (0.1)					2 (5.0)	
967	967	5 (0.1)			5 (0.1)			2 (0.1)		2 (5.0)	
968	968	5 (0.1)			5 (0.1)			2 (0.1)		2 (5.0)	
969	969	5 (0.1)			5 (0.1)			2 (0.1)		2 (5.0)	
970	970	5 (0.1)			5 (0.1)			2 (0.1)		2 (5.0)	
971	979	7 (0.2)			7 (0.2)			5 (0.2)		2 (5.0)	
980	989	7 (0.2)			7 (0.2)			5 (0.2)		2 (5.0)	
990	999	12 (0.4)			12 (0.4)		2 (2.5)	7 (0.2)		2 (5.0)	
		15			15		2	10		2	

1000	1009	(0.4)			(0.4)		(2.5)	(0.3)		(5.0)	
1010	1019	41 (1.2)			41 (1.2)		2 (2.5)	36 (1.2)		2 (5.0)	
1020	1029	43 (1.3)	2 (8.0)		41 (1.2)		2 (2.5)	38 (1.2)		2 (5.0)	
1030	1039	62 (1.8)	2 (8.0)		60 (1.8)		2 (2.5)	57 (1.9)		2 (5.0)	
1040	1049	105 (3.1)	2 (8.0)		103 (3.0)		2 (2.5)	100 (3.3)		2 (5.0)	
1050	1059	105 (3.1)	2 (8.0)		103 (3.0)		2 (2.5)	100 (3.3)		2 (5.0)	
1060	1069	108 (3.1)	2 (8.0)		106 (3.1)		2 (2.5)	103 (3.3)		2 (5.0)	
1070	1079	110 (3.2)	2 (8.0)		108 (3.2)		2 (2.5)	105 (3.4)		2 (5.0)	
1080	1089	132 (3.8)	2 (8.0)		130 (3.8)		2 (2.5)	127 (4.1)		2 (5.0)	
1090	1099	156 (4.5)	2 (8.0)		154 (4.5)		2 (2.5)	151 (4.9)		2 (5.0)	
1100	1199	247 (7.2)	4 (16.0)		243 (7.1)		2 (2.5)	242 (7.8)		2 (5.0)	
1200	1299	336 (9.8)	5 (20.0)		331 (9.7)		2 (2.5)	331 (10.8)		2 (5.0)	
1300	1399	463 (13.5)	7 (28.0)		456 (13.4)		22 (22.0)	436 (14.2)	2 (1.2)	2 (5.0)	
1400	1499	857 (25.0)	11 (44.0)		846 (24.8)		98 (100.0)	752 (24.4)	2 (1.2)	5 (9.9)	
1500		3,431 (100.0)	25 (100.0)		3,406 (100.0)			3,080 (100.0)	204 (100.0)	49 (100.0)	
月平均賃金額 時間当平均賃金額 月一人当たり労働時間数 第1・20分位数 第1・10分位数 第1・4分位数 中位数 四分位偏差係数											

【上段】　累積労働者数　　【下段】　累積構成比

総括表（1）（産業・就業形態別の賃金額階級別、規模別、地域別、年齢別表）

03年　　総括表（1）　　産業：（全て）電線・ケーブル製造業　　就業形態：パート　　産別適用除外除く

時間当り所定内賃金額（３手当を除く）	合計	規模別			年齢別					
		１～９人	１０～２９人	３０～人	１７歳以下	１８～１９歳	２０～５４歳	５５～５９歳	６０～６４歳	６５歳以上
計	7			7			5		2	
円 - 909										
910 - 910										
911 - 911										
912 - 912										
913 - 913										
914 - 914										
915 - 915										
916 - 916										
917 - 917										
918 - 918										
919 - 919										
920 - 920										
921 - 921										
922 - 922										
923 - 923										
924 - 924										
925 - 925										
926 - 926										
927 - 927										

928 -	928										
929 -	929										
930 -	930										
931 -	931										
932 -	932										
933 -	933										
934 -	934										
935 -	935										
936 -	936										
937 -	937										
938 -	938										
939	939										
940	940										
941	941										
942	942										
943	943										
944	944										
945	945										
946	946										
947	947										
948	948										
949	949										
		5			5			5			
950	950	(66.7)			(66.7)			(100.0)			
		5			5						

951	951	(66.7)			(66.7)						
952	952	5 (66.7)			5 (66.7)						
953	953	5 (66.7)			5 (66.7)						
954	954	5 (66.7)			5 (66.7)						
955	955	5 (66.7)			5 (66.7)						
956	956	5 (66.7)			5 (66.7)						
957	957	5 (66.7)			5 (66.7)						
958	958	5 (66.7)			5 (66.7)						
959	959	5 (66.7)			5 (66.7)						
960	960	5 (66.7)			5 (66.7)						
961	961	5 (66.7)			5 (66.7)						
962	962	5 (66.7)			5 (66.7)						
963	963	5 (66.7)			5 (66.7)						
964	964	5 (66.7)			5 (66.7)						
965	965	5 (66.7)			5 (66.7)						
966	966	5 (66.7)			5 (66.7)						
967	967	5 (66.7)			5 (66.7)						
968	968	5 (66.7)			5 (66.7)						
969	969	5 (66.7)			5 (66.7)						
970	970	5 (66.7)			5 (66.7)						
971	979	5 (66.7)			5 (66.7)						
980	989	5 (66.7)			5 (66.7)						
990	999	5 (66.7)			5 (66.7)						
		5			5						

1000	1009	(66.7)			(66.7)						
1010	1019	5 (66.7)			5 (66.7)						
1020	1029	5 (66.7)			5 (66.7)						
1030	1039	5 (66.7)			5 (66.7)						
1040	1049	5 (66.7)			5 (66.7)						
1050	1059	5 (66.7)			5 (66.7)						
1060	1069	5 (66.7)			5 (66.7)						
1070	1079	5 (66.7)			5 (66.7)						
1080	1089	5 (66.7)			5 (66.7)						
1090	1099	5 (66.7)			5 (66.7)						
1100	1199	7 (100.0)			7 (100.0)					2 (100.0)	
1200	1299										
1300	1399										
1400	1499										
1500											
月平均賃金額 時間当平均賃金額 月一人当たり労働時間数 第１・２０分位数 第１・１０分位数 第１・４分位数 中位数 四分位偏差係数											

【上段】　累積労働者数　　【下段】　累積構成比

03年　　総括表（２）　　産業：電線・ケーブル製造業　　就業形態：（全て）　　産別適用除外除く

時間当り所定内賃金額（３手当を除く）	合計	男							女						
		男性計	１７歳以下	１８～１９歳	２０～５４歳	５５～５９歳	６０～６４歳	６５歳以上	女性計	１７歳以下	１８～１９歳	２０～５４歳	５５～５９歳	６０～６４歳	６５歳以上
計	3,438	3,161		79	2,830	204	49		277		19	255		2	
円 - 909															
910 - 910															
911 - 911															
912 - 912															
913 - 913															
914 - 914															
915 - 915															
916 - 916															
917 - 917															
918 - 918															
919 - 919															
920 - 920															
921 - 921															
922 - 922															
923 - 923															
924 - 924															
925 - 925															
926 - 926															
927 - 927															
928 - 928															
929 - 929															
930 - 930															
931 - 931															
932 - 932															
933 - 933															
934 - 934															

935 - 935															
936 - 936															
937 - 937															
938 - 938															
939 939															
940 940															
941 941															
942 942															
943 943															
944 944															
945 945															
946 946															
947 947															
948 948															
949 949															
	5								5			5			
950 950	(0.1)								(1.8)			(1.9)			
	5								5			5			
951 951	(0.1)								(1.8)			(1.9)			
	5								5			5			
952 952	(0.1)								(1.8)			(1.9)			
	5								5			5			
953 953	(0.1)								(1.8)			(1.9)			
	5								5			5			
954 954	(0.1)								(1.8)			(1.9)			
	5								5			5			
955 955	(0.1)								(1.8)			(1.9)			
	5								5			5			
956 956	(0.1)								(1.8)			(1.9)			
	5								5			5			
957 957	(0.1)								(1.8)			(1.9)			
	5								5			5			
958 958	(0.1)								(1.8)			(1.9)			
	5								5			5			
959 959	(0.1)								(1.8)			(1.9)			
	7								7			5		2	
960 960	(0.2)								(2.6)			(1.9)		(100.0)	
	7								7			5			
961 961	(0.2)								(2.6)			(1.9)			
	7								7			5			
962 962	(0.2)								(2.6)			(1.9)			
	7								7			5			
963 963	(0.2)								(2.6)			(1.9)			

964	964	7 (0.2)								7 (2.6)			5 (1.9)			
965	965	7 (0.2)								7 (2.6)			5 (1.9)			
966	966	7 (0.2)								7 (2.6)			5 (1.9)			
967	967	10 (0.3)	2 (0.1)			2 (0.1)				7 (2.6)			5 (1.9)			
968	968	10 (0.3)	2 (0.1)			2 (0.1)				7 (2.6)			5 (1.9)			
969	969	10 (0.3)	2 (0.1)			2 (0.1)				7 (2.6)			5 (1.9)			
970	970	10 (0.3)	2 (0.1)			2 (0.1)				7 (2.6)			5 (1.9)			
971	979	12 (0.4)	2 (0.1)			2 (0.1)				10 (3.5)			7 (2.9)			
980	989	12 (0.4)	2 (0.1)			2 (0.1)				10 (3.5)			7 (2.9)			
990	999	17 (0.5)	7 (0.2)		2 (3.1)	5 (0.2)				10 (3.5)			7 (2.9)			
1,000	1,009	19 (0.6)	10 (0.3)		2 (3.1)	7 (0.3)				10 (3.5)			7 (2.9)			
1,010	1,019	46 (1.3)	36 (1.1)		2 (3.1)	34 (1.2)				10 (3.5)			7 (2.9)			
1,020	1,029	48 (1.4)	36 (1.1)		2 (3.1)	34 (1.2)				12 (4.2)			9 (3.6)			
1,030	1,039	67 (2.0)	55 (1.8)		2 (3.1)	53 (1.9)				12 (4.2)			9 (3.6)			
1,040	1,049	110 (3.2)	98 (3.1)		2 (3.1)	96 (3.4)				12 (4.2)			9 (3.6)			
1,050	1,059	110 (3.2)	98 (3.1)		2 (3.1)	96 (3.4)				12 (4.2)			9 (3.6)			
1,060	1,069	113 (3.3)	98 (3.1)		2 (3.1)	96 (3.4)				14 (5.1)			12 (4.6)			
1,070	1,079	115 (3.3)	101 (3.2)		2 (3.1)	98 (3.5)				14 (5.1)			12 (4.6)			
1,080	1,089	137 (4.0)	101 (3.2)		2 (3.1)	98 (3.5)				36 (12.9)			33 (13.1)			
1,090	1,099	161 (4.7)	125 (4.0)		2 (3.1)	122 (4.3)				36 (12.9)			33 (13.1)			
1,100	1,199	254 (7.4)	217 (6.9)		2 (3.1)	212 (7.5)		2 (5.0)		37 (13.3)			34 (13.4)			
1,200	1,299	344 (10.0)	307 (9.7)		2 (3.1)	302 (10.7)		2 (5.0)		37 (13.3)			34 (13.4)			
1,300	1,399	470 (13.7)	412 (13.0)		22 (27.3)	386 (13.6)	2 (1.2)	2 (5.0)		58 (20.9)			55 (21.7)			
1,400	1,499	864 (25.1)	727 (23.0)		79 (100.0)	640 (22.6)	2 (1.2)	5 (9.9)		138 (49.8)		19 (100.0)	116 (45.6)			
1,500		3,438 (100.0)	3,161 (100.0)			2,830 (100.0)	204 (100.0)	49 (100.0)		277 (100.0)			255 (100.0)			
月平均賃金額		296,430	298,320		173,699	295,315	377,017	345,759		274,844		175,088	283,190		184,320	
時間当平均賃金額		2,103	2,129		1,389	2,096	2,906	2,004		1,807		1,412	1,845		960	
月一人当たり労働時間数		145	144		125	145	132	172		158		124	161		192	
第１・２０分位数		1,119	1,158		1,371	1,119	2,095	1,474		1,064		1,412	1,083		960	
第１・１０分位数		1,303	1,303		1,371	1,280	2,095	1,762		1,084		1,412	1,084		960	
第１・４分位数		1,499	1,531		1,371	1,531	2,444	1,762		1,404		1,412	1,404		960	
中位数		1,937	1,956		1,412	1,946	2,742	1,766		1,594		1,412	1,594		960	
四分位偏差係数		0.2469	0.2511		0.0148	0.2372	0.1502	0.1754		0.1288		0.0003	0.1289		0.0004	

【上段】　累積労働者数　　【下段】　累積構成比

03年　　総括表（２）　　産業：電線・ケーブル製造業　　就業形態：一般　　産別適用除外除く

時間当り所定内賃金額（３手当を除く）	合計	男							女						
		男性計	１７歳以下	１８～１９歳	２０～５４歳	５５～５９歳	６０～６４歳	６５歳以上	女性計	１７歳以下	１８～１９歳	２０～５４歳	５５～５９歳	６０～６４歳	６５歳以上
計	3,431	3,159		79	2,830	204	47		272		19	250		2	
円 - 909															
910 - 910															
911 - 911															
912 - 912															
913 - 913															
914 - 914															
915 - 915															
916 - 916															
917 - 917															
918 - 918															
919 - 919															
920 - 920															
921 - 921															
922 - 922															
923 - 923															
924 - 924															
925 - 925															
926 - 926															
927 - 927															
928 - 928															
929 - 929															
930 - 930															
931 - 931															
932 - 932															
933 - 933															

934 - 934															
935 - 935															
936 - 936															
937 - 937															
938 - 938															
939 939															
940 940															
941 941															
942 942															
943 943															
944 944															
945 945															
946 946															
947 947															
948 948															
949 949															
950 950															
951 951															
952 952															
953 953															
954 954															
955 955															
956 956															
957 957															
958 958															
959 959															
	2								2					2	
960 960	(0.1)								(0.9)					(100.0)	
961 961	2 (0.1)								2 (0.9)						

962	962	2 (0.1)								2 (0.9)						
963	963	2 (0.1)								2 (0.9)						
964	964	2 (0.1)								2 (0.9)						
965	965	2 (0.1)								2 (0.9)						
966	966	2 (0.1)								2 (0.9)						
967	967	5 (0.1)	2 (0.1)			2 (0.1)				2 (0.9)						
968	968	5 (0.1)	2 (0.1)			2 (0.1)				2 (0.9)						
969	969	5 (0.1)	2 (0.1)			2 (0.1)				2 (0.9)						
970	970	5 (0.1)	2 (0.1)			2 (0.1)				2 (0.9)						
971	979	7 (0.2)	2 (0.1)			2 (0.1)				5 (1.8)			2 (1.0)			
980	989	7 (0.2)	2 (0.1)			2 (0.1)				5 (1.8)			2 (1.0)			
990	999	12 (0.4)	7 (0.2)		2 (3.1)	5 (0.2)				5 (1.8)			2 (1.0)			
1,000	1,009	15 (0.4)	10 (0.3)		2 (3.1)	7 (0.3)				5 (1.8)			2 (1.0)			
1,010	1,019	41 (1.2)	36 (1.1)		2 (3.1)	34 (1.2)				5 (1.8)			2 (1.0)			
1,020	1,029	43 (1.3)	36 (1.1)		2 (3.1)	34 (1.2)				7 (2.5)			4 (1.8)			
1,030	1,039	62 (1.8)	55 (1.8)		2 (3.1)	53 (1.9)				7 (2.5)			4 (1.8)			
1,040	1,049	105 (3.1)	98 (3.1)		2 (3.1)	96 (3.4)				7 (2.5)			4 (1.8)			
1,050	1,059	105 (3.1)	98 (3.1)		2 (3.1)	96 (3.4)				7 (2.5)			4 (1.8)			
1,060	1,069	108 (3.1)	98 (3.1)		2 (3.1)	96 (3.4)				9 (3.4)			7 (2.7)			
1,070	1,079	110 (3.2)	101 (3.2)		2 (3.1)	98 (3.5)				9 (3.4)			7 (2.7)			
1,080	1,089	132 (3.8)	101 (3.2)		2 (3.1)	98 (3.5)				31 (11.4)			28 (11.4)			
1,090	1,099	156 (4.5)	125 (4.0)		2 (3.1)	122 (4.3)				31 (11.4)			28 (11.4)			
1,100	1,199	247 (7.2)	215 (6.8)		2 (3.1)	212 (7.5)				32 (11.7)			29 (11.8)			
1,200	1,299	336 (9.8)	304 (9.6)		2 (3.1)	302 (10.7)				32 (11.7)			29 (11.8)			
1,300	1,399	463 (13.5)	410 (13.0)		22 (27.3)	386 (13.6)	2 (1.2)			53 (19.5)			51 (20.2)			
1,400	1,499	857 (25.0)	724 (22.9)		79 (100.0)	640 (22.6)	2 (1.2)	2 (5.2)		133 (48.9)		19 (100.0)	111 (44.5)			
1,500		3,431 (100.0)	3,159 (100.0)			2,830 (100.0)	204 (100.0)	47 (100.0)		272 (100.0)			250 (100.0)			
月平均賃金額 時間当平均賃金額 月一人当たり労働時間数																

第１・２０分位数 第１・１０分位数 第１・　４分位数 中　　位　　数 四分位偏差係数															

【上段】　累積労働者数　　【下段】　累積構成比

03年　　総括表（２）　　産業：電線・ケーブル製造業　　就業形態：パート　　産別適用除外除く

時間当り所定内賃金額（３手当を除く）	合計	男							女						
		男性計	１７歳以下	１８～１９歳	２０～５４歳	５５～５９歳	６０～６４歳	６５歳以上	女性計	１７歳以下	１８～１９歳	２０～５４歳	５５～５９歳	６０～６４歳	６５歳以上
計	7	2					2		5			5			
円 - 909															
910 - 910															
911 - 911															
912 - 912															
913 - 913															
914 - 914															
915 - 915															
916 - 916															
917 - 917															
918 - 918															
919 - 919															
920 - 920															
921 - 921															
922 - 922															
923 - 923															
924 - 924															
925 - 925															
926 - 926															
927 - 927															
928 - 928															
929 - 929															
930 - 930															
931 - 931															
932 - 932															
933 - 933															

934 - 934															
935 - 935															
936 - 936															
937 - 937															
938 - 938															
939 939															
940 940															
941 941															
942 942															
943 943															
944 944															
945 945															
946 946															
947 947															
948 948															
949 949															
950 950	5 (66.7)								5 (100.0)			5 (100.0)			
951 951	5 (66.7)														
952 952	5 (66.7)														
953 953	5 (66.7)														
954 954	5 (66.7)														
955 955	5 (66.7)														
956 956	5 (66.7)														
957 957	5 (66.7)														
958 958	5 (66.7)														
959 959	5 (66.7)														
960 960	5 (66.7)														
961 961	5 (66.7)														

962	962	5 (66.7)														
963	963	5 (66.7)														
964	964	5 (66.7)														
965	965	5 (66.7)														
966	966	5 (66.7)														
967	967	5 (66.7)														
968	968	5 (66.7)														
969	969	5 (66.7)														
970	970	5 (66.7)														
971	979	5 (66.7)														
980	989	5 (66.7)														
990	999	5 (66.7)														
1,000	1,009	5 (66.7)														
1,010	1,019	5 (66.7)														
1,020	1,029	5 (66.7)														
1,030	1,039	5 (66.7)														
1,040	1,049	5 (66.7)														
1,050	1,059	5 (66.7)														
1,060	1,069	5 (66.7)														
1,070	1,079	5 (66.7)														
1,080	1,089	5 (66.7)														
1,090	1,099	5 (66.7)														
1,100	1,199	7 (100.0)	2 (100.0)					2 (100.0)								
1,200	1,299															
1,300	1,399															
1,400	1,499															
1,500																
月平均賃金額 時間当平均賃金額 月一人当たり労働時間数																

第１・２０分位数 第１・１０分位数 第１・　４分位数 中　　位　　数 四分位偏差係数															

【上段】　累積労働者数　　【下段】　累積構成比